



Netcommunity SYSTEM

RACSLA

取扱説明書【応用編】

Netcommunity SYSTEM RACSLA をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

目次

目次	2
----	---

1 機能の設定を行う

設定画面について	7
システムデータ一覧	9

2 より便利に使う

(発信/着信)

外線を1つのボタンに集約するには(SKボタン)	42
-------------------------	----

電話番号ごとに外線ボタンを分けるには (NKボタン)	43
-------------------------------	----

内線ホットライン(DKボタン)を使うには	44
DKボタンを設定する	44

外線発信番号で捕捉する回線の 優先順位を変更するには	46
外線発信番号で捕捉する回線の優先順位を 変更する	46

相手に通知する電話番号を変えるには	47
外線ボタンごとに変える	47
電話機グループごとに変える	48
電話機ごとに変える	49

特定の電話番号への発信を規制するには	50
発信規制する電話番号を設定する	50
削除ダイヤルを設定する	51

指定した電話機だけ着信音を鳴らすには	52
着信音を鳴らす電話機を変更する	52

相手の方がかけてきた電話番号ごとに 着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)	54
電話機1台にのみ着信させる(個別着信)	54
着信音を鳴らす電話機を設定する	56
着信点滅するボタンを分ける	58

電話をかけてきた相手によって着信先を変えるには (発信番号ダイヤルイン)	59
---	----

電話機1台にのみ着信させる(個別着信)	59
着信音を鳴らす電話機を設定する	60

緊急着信鳴動の対象電話番号を設定するには	61
緊急番号を設定する	61

緊急番号からの着信時に SIP端末を鳴動させるには	62
緊急番号からの着信時にSIP端末も 鳴動させる	62

ハンドセットをあげるだけで外線を捕捉するには	63
オフフック外線自動捕捉を設定する	63

着信音が鳴っていない着信に オフフック自動応答しないようにするには	64
非鳴動着信自動応答をしないように設定する	64

特定の相手からの着信を自動で折り返し発信するには (オートコールバック)	65
相手の方の電話番号を設定する	66
自動折り返し発信で通話する	67
コールバック機能が動作する条件を変更する	68

ディスプレイの「着信あり」表示を 出さないようにするには	69
「着信あり」表示を出す条件を設定する	69

着信音を変更するには	70
内線呼出音を変更する	70
外線着信音を変更する	71
ダイヤルイン番号ごとに着信音を設定する	72
電話をかけてきた相手ごとに着信音を 設定する	73

お話し中の電話機を呼び出せるように するには(通話中着信)	74
通話中着信できるように設定する	74

電話機の呼び出し方式を変えるには(音声呼出)	75
内線呼出方式を変更する	75
音声で呼び出す	76

発信時に事業者識別番号を自動的に付与するには	78
------------------------	----

発信時に事業者識別番号を自動的に付与する... 78

(保留/転送)

パーク保留を使うには..... 80
電話を取りつぐ(パーク保留)..... 80

外線での通話を別の外線へ転送するには
(外線転送)..... 82
外線転送できるように設定する..... 82

保留音を変更するには..... 83
保留音を変更する..... 83

保留忘れを防止するには(長時間保留警報)..... 84
保留警報音を鳴らすまでの時間を設定する..... 84
保留警報音が鳴り続ける時間を設定する..... 85
停止した保留警報音を再び鳴らすまでの時間を
設定する..... 86

(電話機能)

共通電話帳を使うには..... 87
共通電話帳を登録/編集/削除する..... 87
グループ名を変える..... 89
電話帳データをすべて消去する..... 90
電話帳データをパソコンにダウンロードする
(エクスポート)..... 91
電話帳データをパソコンで編集する..... 92
パソコンにある電話帳データを書き込む
(インポート)..... 96

電話機にフレキシブルボタンを設定するには..... 97
回線ボタン配置パターンを作成する..... 97
作成した配置パターンを使用する
電話機グループを設定する..... 100
電話機グループごとのボタン配置パターンを
変更する..... 101

Webブラウザでワンタッチボタンを
登録するには..... 102
ワンタッチボタンを登録する..... 102

電話機のフレキシブルボタンの設定内容を
確認するには..... 104

フレキシブルボタンの設定内容を確認する.... 104

使用する内線番号を追加/変更/削除するには.. 105
内線番号を追加する..... 105
内線番号を変更する..... 106
内線番号を削除する..... 107

電話機グループを変更するには..... 108
グループごとに所属する内線を変更する..... 108
電話機グループ名を変更する..... 109

電話機の内線番号を変更するには..... 110
電話機の内線番号を変更する..... 110

内線番号自動割付を変更するには..... 111
内線番号自動割付機能の有効/無効を
変更する..... 111
自動割付対象にする内線番号を変更する..... 112

電話機ごとに名前を設定するには..... 113
内線名称を設定する..... 113

電話機のログインパスワードを設定するには..... 114
パスワードを設定する..... 114

管理者電話機を変更するには..... 115
管理者電話機を変更する..... 115

ダイヤルを押ししたときの確認音を
出さないようにするには..... 116
キータッチトーンを設定する..... 116

ユーザ状態を便利に使うには
(基本編「ユーザ状態をセットするには」の応用)
..... 117
他の電話機のユーザ状態を確認する..... 117
ユーザ状態の名称を変更する..... 118
状態ごとに転送先を設定する(状態別転送).... 119

システムモードを使うには(昼/夜モード切替).. 121
曜日や時刻を指定し、自動で切り替える
(自動切替)..... 121
ボタン操作で随時切り替える(手動切替)..... 123

契約チャネル数を変更したときは..... 124
契約チャネル数を設定する..... 124

目次

契約したダイヤルイン番号を設定するには	125
ダイヤルイン番号を自動で設定する.....	125
ダイヤルイン番号を手動で設定する.....	126

(ネットワーク)

接続するフレッツ回線の種別を変更するには	127
アクセスサービス種別を設定する	127
インターネット接続を設定するには.....	128
インターネット接続を設定する	128
フレッツ・VPN接続を設定するには	129
フレッツ・VPN接続をLAN型で接続する.....	129
フレッツ・VPN接続を端末型で接続する.....	131
フレッツ・スクウェア/ フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続を 設定するには.....	132
PPPoE接続設定 ユーザ名/パスワードを 設定する	132
リモートマネジメントを利用するには.....	133
本商品のIPアドレスを変更するには	134
本商品のIPアドレスを変更する	134
DHCPサーバ機能の設定を変更するには	135
DHCPサーバ機能を無効にする.....	135
DHCPサーバのIPアドレスの割り付け範囲を 変更する	136
他の機器(ルータ)を使って インターネットに接続するには.....	137
DNSサーバIPアドレスを設定する.....	137
デフォルトルートを設定する	138
ポートフォワードを設定するには.....	139
ポートフォワード先を設定する	139
ルーティングを設定するには	140
スタティックIPルーティングを設定する.....	140
ステルスモードを設定するには	141
ステルスモードの使用有無を設定する.....	141

フィルタリング設定をするには	142
フィルタリングを設定する	142

(その他)

無線アクセスポイントの設定を行うには.....	144
無線アクセスポイントのIPアドレスを 固定IPアドレスに変える.....	144
無線関連の基本設定を変更する	145
登録されたMACアドレスのみ無線接続を 許可する.....	147
CTU (加入者網終端装置)のLAN側から PPPoE接続を有効にするには	148
CTU (加入者網終端装置)のLAN側から PPPoE接続を有効にする.....	148

3 ゲートウェイボックスを使う

アナログゲートウェイボックスの 外線を利用するには.....	150
アナログ回線の契約電話番号を設定する.....	150
アナログ回線の外線ダイヤル種別を設定する	151
アナログゲートウェイボックスの 外線設定をするには.....	152
アナログ回線でモデムダイヤルイン契約の 設定をする	152
アナログ回線で「ナンバー・ディスプレイ」契約の 設定をする	153
ISDNゲートウェイボックスの外線を利用するには	154
ISDN回線の契約電話番号を設定する.....	154
ISDN回線のダイヤルイン番号を設定する.....	155
i・ナンバーを設定するには	156
i・ナンバー契約を設定する	156
受信したサブアドレスの内線へ個別着信させるには (ISDNのみ).....	157
着サブアドレスダイヤルインを設定する.....	157

相手に通知する電話番号を変えるには.....	158	変更せずに設置場所を変更する.....	172
アナログゲートウェイボックスの		設定内容を確認するには.....	173
単体電話機を利用するには.....	159	設定内容を確認する.....	173
単体電話機の接続設定を行う.....	159	設定データをバックアップ／リストアするには..	174
単体電話機にナンバー・ディスプレイ、		設定データをバックアップする.....	174
ネーム・ディスプレイ対応機器を接続する		設定データをリストアする.....	175
設定を行う.....	160	お買い求め時の設定に戻すには.....	176
FAX電話機を接続する.....	161	IPアドレスのみ初期化する.....	176
FAX G2/G3指定発信するには.....	162	すべての設定データを初期化する.....	176
FAX発信として電話をかけるには.....	162	内蔵無線アクセスポイントを初期化する.....	177
FAX指定(G2/G3)の着信を		バージョンを確認するには.....	178
FAXに着信させるには.....	163	バージョンを確認する.....	178
アナログゲートウェイボックスを利用した		ファームウェアを更新するには.....	179
通話音質を変えるには.....	164	ファームウェア自動更新設定を変更する.....	179
内線電話機からアナログ回線を利用した		ファームウェア更新(自動／手動)をする.....	180
通話が気になる場合.....	164	IP多機能電話機の操作により更新する.....	181
単体電話機からの通話で単体電話機の声が		ローカルファイルを使って	
聞きにくい場合.....	165	ファームウェア更新を行う.....	184
4 運用方法／メンテナンス		電話機や無線端末の接続状況を確認するには.....	185
再起動するには.....	166	内線電話機の接続状況を確認する.....	185
本商品を再起動する.....	166	無線端末の接続状況を確認する.....	186
無線アクセスポイント、無線ステーションを		ゲートウェイボックスの接続状況を	
再起動する.....	167	確認するには.....	187
アナログゲートウェイボックス、		ゲートウェイボックスの接続状況を	
ISDNゲートウェイボックスを再起動する		確認する.....	187
.....	168	ログ情報(動作履歴)を確認するには.....	188
システムの日時を変更するには.....	169	全動作履歴を表示する.....	188
IP多機能電話機の操作で変更する.....	169	電話関連動作履歴を表示する.....	189
Webブラウザで変更する.....	169	本商品のIPアドレスがわからなくなった場合には	
Webブラウザのログインパスワードを		190
変更するには.....	170	IPアドレス割付状態(DHCP状態)を	
パスワードを変更する.....	170	確認するには.....	191
設置場所が変更になった場合は.....	171	DHCP サーバ(IPv4)による	
設置エリア(NTT東日本／NTT西日本)を		IPアドレス割付状態を確認する.....	191
変更する.....	171	DHCP サーバ(IPv6)による	
設置エリア(NTT東日本／NTT西日本)を		IPアドレス割付状態を確認する.....	192

目次

ネットワーク情報を確認するには.....	193	初期化スイッチによりゲートウェイボックスの 設定を初期化するには.....	214
LAN / WANの接続状態を確認する	193	IP多機能電話機を接続するには	215
パケット統計情報を確認する	194	内線番号を指定してログインする	215
ネットワーク詳細情報を確認する	195	IPコードレス電話機を接続するには	216
システム情報をファイルとして パソコンに保存するには	196	無線アクセスポイントを接続するには	217
システム情報をダウンロードする	196	無線アクセスポイントで 自動バージョンアップするには.....	218
WAN側ネットワークを手動操作で 接続/切断するには	197	RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントと 設定自動同期をするには	219
WAN側ネットワークを接続/切断する	197	RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントとの 設定自動同期機能を停止するには.....	220
WAN側のIPアドレスを再取得するには	198	WLAN携帯電話機を接続するには.....	221
WAN側のIPアドレスを再取得する	198	WLAN携帯電話機でプレゼンス機能を 利用するには.....	222
ひかり電話を手動操作で接続するには	199	WLAN携帯電話機にプレゼンスサーバの 設定を行う	222
手動操作で接続する.....	199	WLAN携帯電話機ご利用時について.....	224
他の機器の接続確認を行うには	200		
PINGを送信する.....	200		
パケットモニタを行うには	201		
ファイルにしてパソコンにダウンロードする	201		

5 機器を増設する

ゲートウェイボックスを接続するには.....	203
接続できるゲートウェイボックス	203
アナログゲートウェイボックスの 各部の名称とはたらき	204
ISDNゲートウェイボックスの各部の 名称とはたらき	206
DHCPでの運用中に固定IPアドレスで 動作させるには	208
DHCPサーバのない環境で固定IPアドレスに 変更して動作させるには	209
接続するゲートウェイボックスを 変更する場合は	211
ゲートウェイボックスのブラウザに アクセスするには.....	212
ゲートウェイボックスを一時的に 固定IPで動作させる場合は	213

6 ご参考に

機能一覧	225
発信	225
着信・応答	226
通話	227
保留・転送	227
表示	228
ネットワーク	228
無線	229
保守・運用	229
用語の説明	230
索引	233
搭載されているソフトウェアの著作権と 使用許諾に関する情報	235

設定画面について

取扱説明書【基本編】に記載された機能よりも詳細な機能を使う場合は、Webブラウザでシステムデータを設定します。

設定画面は、接続して最初に表示されるトップページのほかに「電話機能」、「ネットワーク」、「電話帳」、「メンテナンス」のページによって構成されています。

各ページにはそれぞれ項目があり、それらをクリックしてデータ設定やメンテナンスを行います。

■データ設定画面



お知らせ

- 「かんたん設定を始める」ボタンが表示されたときは、かんたん設定を先に行ってください。かんたん設定が完了していない場合、詳細なデータ設定を行うことはできません。
- トップページから先に進むにはユーザIDとパスワードの入力が必要です。ユーザ名は「admin」です。パスワードは、お買い求め時は「admin」に設定されています。
- 本商品のシステムデータ設定は、複数のパソコンから同時に操作することはできません。
- 他のパソコンでログインしているとき、強制ログアウトさせて新たにログインすることもできます。
- 他のパソコンでログインしていないときでも、前回のログアウトが正常に完了していなかった場合はトップページに「他者ログイン中」と表示されることがあります。この場合、強制ログアウトさせて新たにログインしてください。
- 多重起動したWebブラウザで同時にアクセスしないでください。複数ウィンドウやタブで設定画面に多重アクセスすると、ログアウト状態になってしまう場合や正しく設定できない場合があります。
- 接続するパソコンに必要なネットワークやWebブラウザの設定については、基本編「7. ご参考に」→「データ設定を行う」を参照してください。

設定画面について

■データ設定時のご注意

●電話機などを使っているときは、設定を変更しないでください

お話ししている電話機があるときにシステムデータを変更すると、通話が切断される場合があります。また、設定した直後、一時的に電話機や外線が使えなくなる場合があります。

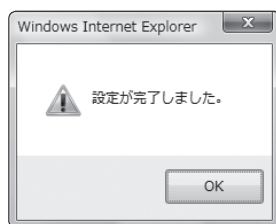
●Webブラウザの画面更新機能や[戻る]は使用しないでください

Webブラウザの「最新の情報に更新」は使用しないでください。
また、前の画面に戻りたいときは、設定画面の「戻る」「編集中止」などのボタンをクリックしてください。

●必ず「設定」ボタンまたは「完了」ボタンをクリックしてください

変更したシステムデータは、「設定」ボタンまたは「完了」ボタンをクリックして本商品に反映します。
「次へ」ボタンや「編集完了」ボタンをクリックして画面が切り替わった場合でも、「設定」ボタンまたは「完了」ボタンをクリックするまでは本商品に反映しません。
また、パソコンの [Enter] キーは押さないでください。

「設定」ボタンまたは「完了」ボタンをクリックしたときにこの画面が表示される場合があります。



●設定が終わったら、「保存」が必要です

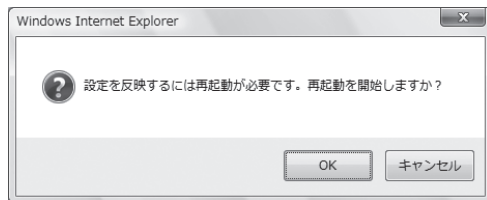
設定が終わったシステムデータは、保存する必要があります。
保存せずに再起動や電源の入れ直しをすると、設定前のデータ（最後に保存したときのデータ）に戻ってしまいます。
保存していないデータがあるときはデータ保存ボタンが点滅してお知らせします。設定が完了してデータ保存ボタンが点滅しているときは、クリックして保存を行ってください。

STOP お願い

●保存処理中は、本商品の電源を切らないでください。

●すぐに反映されないシステムデータもあります

設定データは「設定」ボタンをクリックすると本商品に反映されますが、本商品の再起動が必要なものもあります。
再起動が必要な場合は、データ保存ボタンをクリックしたときにお知らせします。



この画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、本商品を再起動してください。

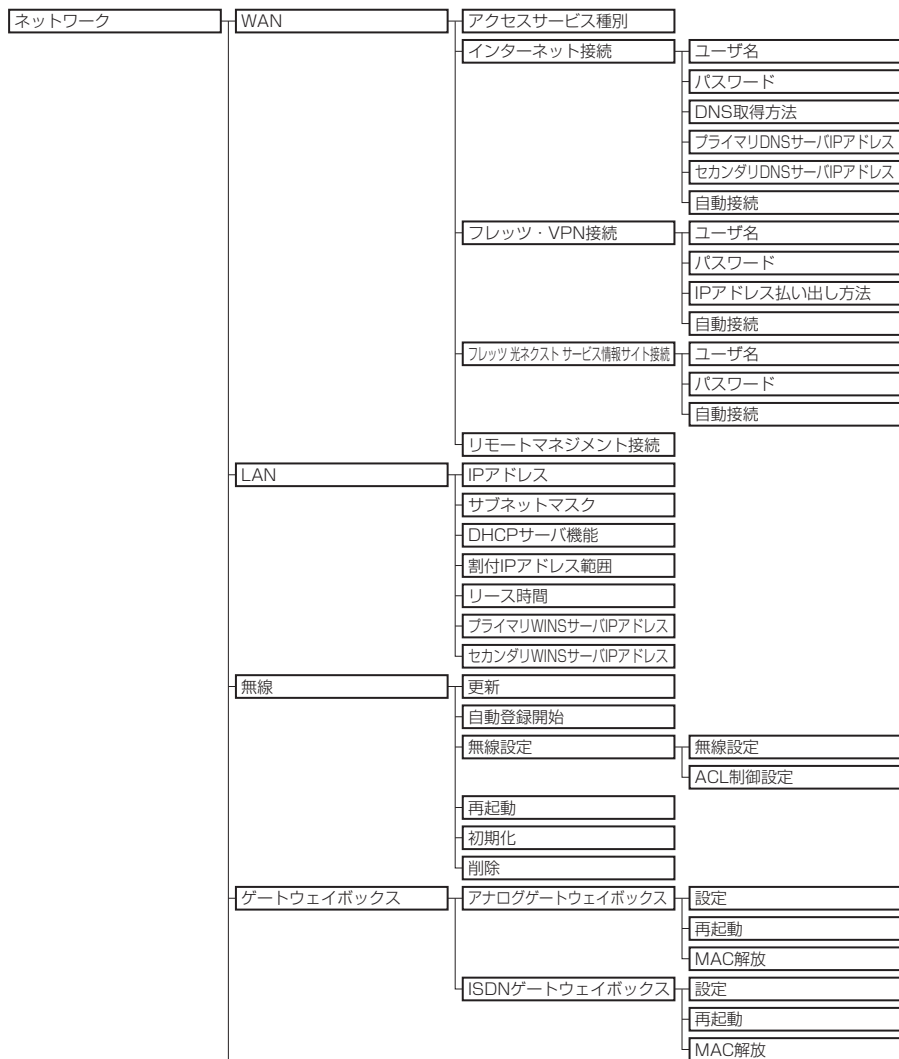
システムデータ一覧

■システムデータ構成

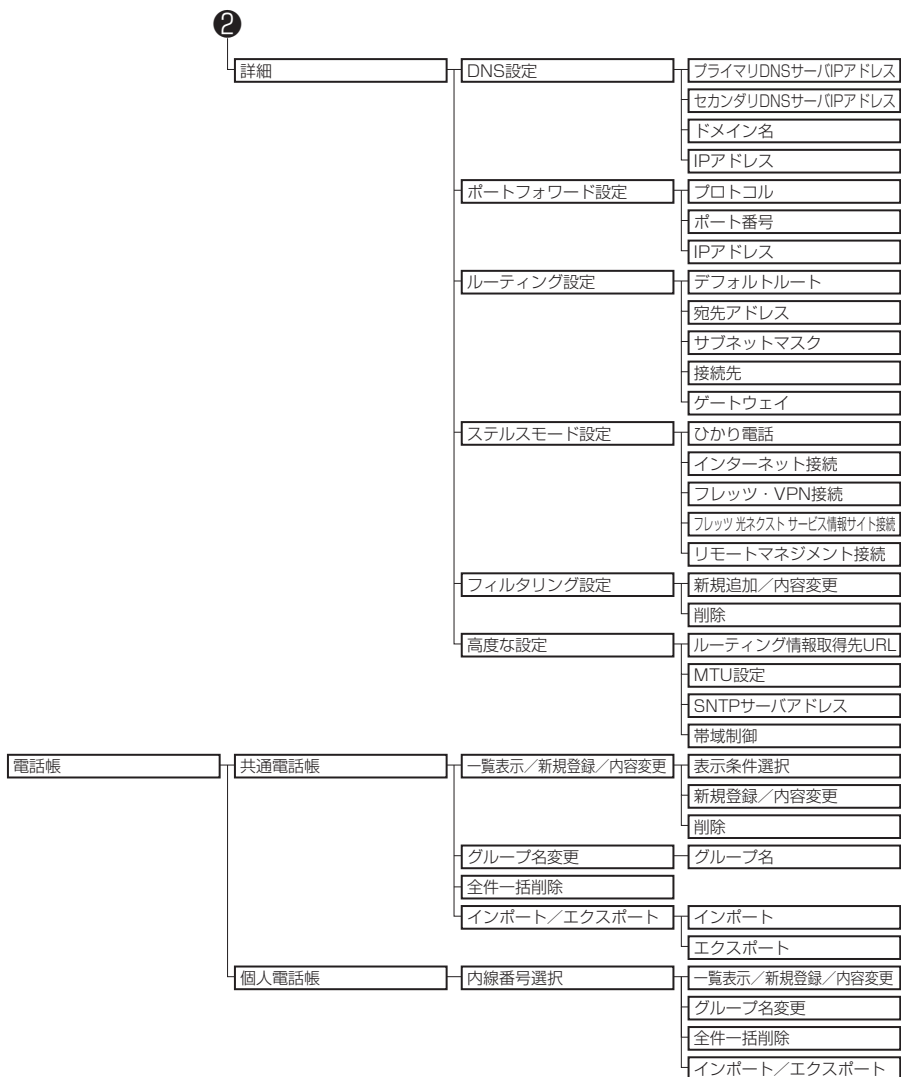
電話機能	外線	電話回線設定	ひかり電話設定	
			アナログ回線設定	
			ISDN回線設定	
	内線	内線番号	内線番号	内線番号
			内線名称	内線名称
			電話機種別	電話機種別
			オフフック外線自動捕捉	オフフック外線自動捕捉
			非鳴動着信自動応答	非鳴動着信自動応答
			管理者電話機	内線番号自動割付
			新規追加	内線名称
		詳細設定	電話機動作設定	電話機動作設定
			フレキシブルボタン設定	フレキシブルボタン設定
			状態別転送設定	状態別転送設定
	削除			
	グループ	すべてのグループをまとめて設定する	電話機グループ名称	電話機グループ名称
			回線ボタン配置パターン	回線ボタン配置パターン
			グループ別発信者番号通知	グループ別発信者番号通知
			電話番号 (ひかり電話)	電話番号 (ひかり電話)
			電話番号 (ISDN回線)	電話番号 (ISDN回線)
		電話機グループごとに設定する	電話機グループ名称	電話機グループ名称
回線ボタン配置パターン			回線ボタン配置パターン	
グループ別発信者番号通知			グループ別発信者番号通知	
電話番号 (ひかり電話)			電話番号 (ひかり電話)	
電話番号 (ISDN回線)			電話番号 (ISDN回線)	
所属内線番号	所属内線番号			
着信鳴動	着信鳴動設定/着番号ダイヤルイン設定	ひかり電話着信鳴動設定	ひかり電話着信鳴動設定	
		アナログ回線1着信鳴動設定	アナログ回線1着信鳴動設定	
		アナログ回線2着信鳴動設定	アナログ回線2着信鳴動設定	
		ISDN回線着信鳴動設定	ISDN回線着信鳴動設定	
	発番号ダイヤルイン設定	新規追加/内容変更	新規追加/内容変更	
削除	削除	削除		
ISDN回線着サブアドレスダイヤルイン設定	対象内線電話機指定	対象内線電話機指定		
回線ボタン	回線ボタン配置パターン選択	回線ボタン配置パターン名称	回線ボタン配置パターン名称	
		使用グループ選択	使用グループ選択	
		回線ボタン配置パターン(IP多機能電話機)	回線ボタン配置パターン(IP多機能電話機)	
		回線ボタン配置パターン(IPコードレス電話機)	回線ボタン配置パターン(IPコードレス電話機)	
		回線ボタン配置パターン(SIP端末)	回線ボタン配置パターン(SIP端末)	
		回線ボタン配置パターン(単体電話機)	回線ボタン配置パターン(単体電話機)	

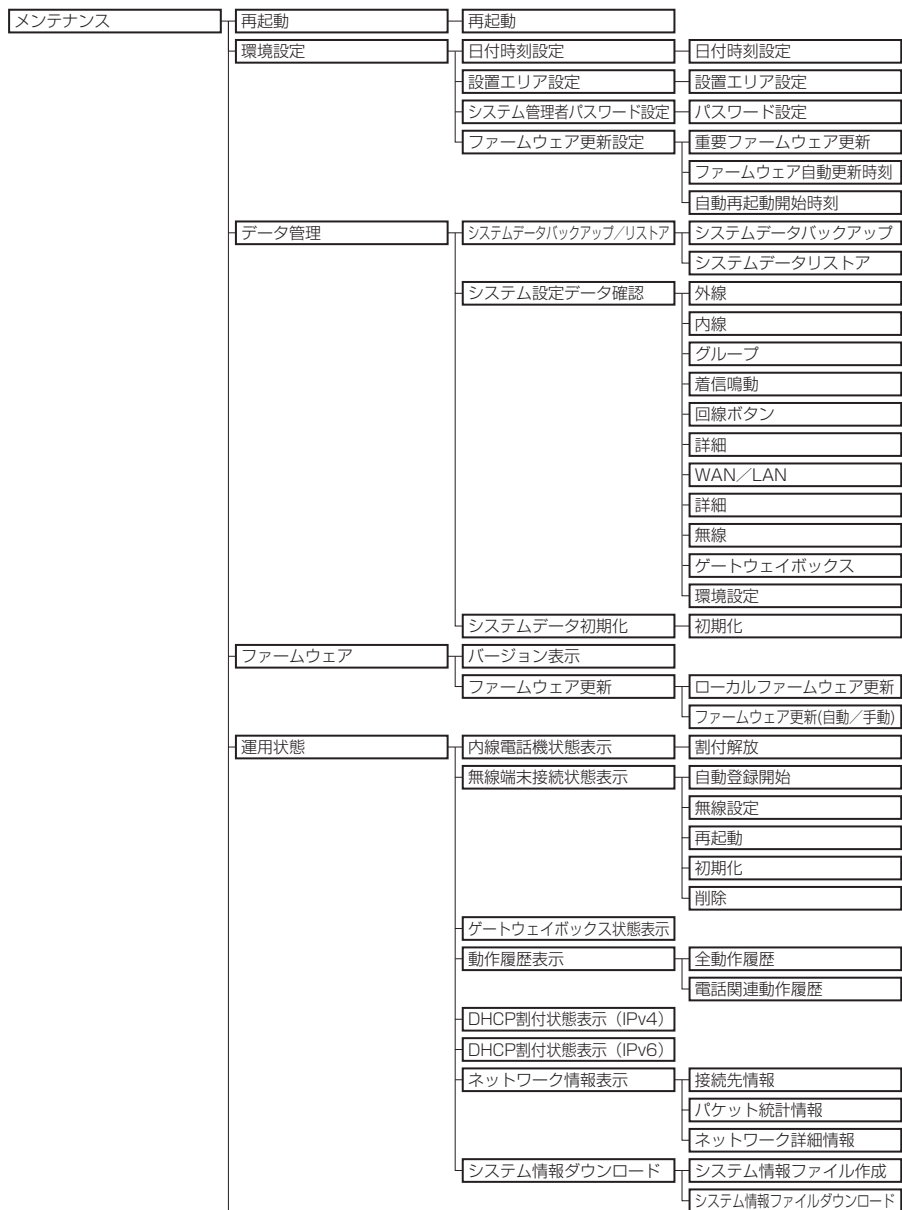
システムデータ一覧

① 詳細	システムモード設定	曜日選択		
	発信規制ダイヤル設定	発信規制ダイヤル		
	削除ダイヤル設定	削除ダイヤル		
	緊急番号設定	緊急番号		
	オートコールバック設定	オートコールバック対象電話番号		
	状態名称設定	状態名称設定		
	音関連設定	保留音	保留音	
		内線着信音	内線着信音	
		ひかり電話着信音	ひかり電話着信音	
		アナログ回線1着信音	アナログ回線1着信音	
		アナログ回線2着信音	アナログ回線2着信音	
		ISDN回線着信音	ISDN回線着信音	
		SIP端未定義設定	内容変更	
	タイマ設定	桁間タイマ(1stダイヤル)	桁間タイマ(1stダイヤル)	
		桁間タイマ(2ndダイヤル)	桁間タイマ(2ndダイヤル)	
		保留警報・送出タイマ	保留警報・送出タイマ	
		保留警報・鳴動時間	保留警報・鳴動時間	
		保留警報・鳴動周期	保留警報・鳴動周期	
		オートコールバック検出タイマ	オートコールバック検出タイマ	
		圏外転送起動監視時間	圏外転送起動監視時間	
		内線端末登録時間 (Register)	内線端末登録時間 (Register)	
		内線番号自動割付設定	内線番号自動割付機能	内線番号自動割付機能
			自動割付対象内線	自動割付対象内線
	回線捕捉優先順位設定	電話機グループ選択		
	事業者識別番号自動付与設定	事業者識別番号自動付与機能	事業者識別番号自動付与機能	
		アナログ回線1	アナログ回線1	
		アナログ回線2	アナログ回線2	
		事業者識別番号	事業者識別番号	
		自動付与解除番号	自動付与解除番号	
	自動付与対象番号	自動付与対象番号		
	高度な設定	制御ポート番号設定	制御ポート番号設定	
		RTP関連設定	RTP関連設定	
		ゲイン設定	ゲイン設定	
エコーキャンセラ制御設定		エコーキャンセラ制御設定		
GW-BOX関連詳細設定		GW-BOX関連詳細設定		

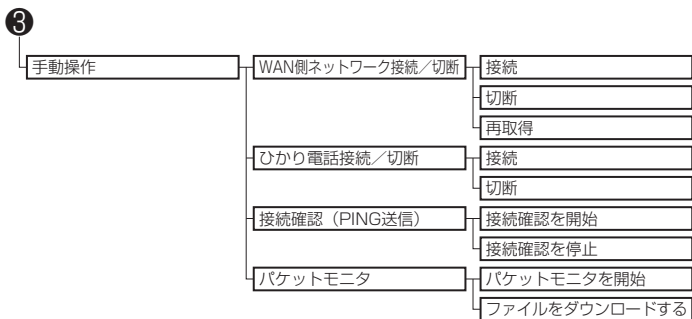


システムデータ一覧





システムデータ一覧



■システムデータ一覧

Webブラウザで設定できるシステムデータは以下の通りです。

Webブラウザで設定する内線番号や外線電話番号などのダイヤルは、すべて半角数字で入力します。

※初期値欄はお買い求め時の設定です。

電話機能 > 外線 > 電話回線設定 > ひかり電話設定 > ひかり電話基本設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ひかり電話	ひかり電話を利用する／しないを設定します。	利用する／利用しない	利用する
ひかり電話サービス種別	ひかり電話のサービス種別を設定します。	ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話	ひかり電話オフィスタイプ
契約チャンネル数	ひかり電話のチャンネル数をご契約内容に合わせて設定します。	ひかり電話オフィスタイプ：3～8 ひかり電話：1～2	ひかり電話オフィスタイプ：3 ひかり電話：1
契約電話番号	ひかり電話の電話番号を設定します。 ※自動で設定されます	(最大32桁)	(設定なし)

電話機能 > 外線 > 電話回線設定 > ひかり電話設定 > 追加番号設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
追加番号	追加番号サービスご契約時は、追加番号を設定します。 ※自動で設定されます。 ただし、契約内容によっては手動で設定が必要です。	(最大32桁×31番号)	(設定なし)

電話機能 > 外線 > 電話回線設定 > アナログ回線設定 > アナログ回線1基本設定 (アナログ回線2基本設定)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
アナログ回線1	アナログ回線を利用する／しないを設定します。	利用する／利用しない	利用する
外線ダイヤル種別	契約しているアナログ回線のダイヤル種別を設定します。	DP (ダイヤル回線) / PB (プッシュ回線) / 自動識別	自動識別
モデムダイヤルイン	モデムダイヤルインの契約内容を設定します。	契約あり／契約なし	契約あり
ナンバー・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイの契約内容を設定します。	契約あり／契約なし	契約あり
契約電話番号	アナログ回線の電話番号を設定します。	(最大32桁)	(設定なし)

電話機能 > 外線 > 電話回線設定 > アナログ回線設定 > 追加番号設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
追加番号	モデムダイヤルインご契約時は、追加番号を設定します。	(最大32桁×31番号)	(設定なし)

システムデータ一覧

電話機能 > 外線 > 電話回線設定 > ISDN回線設定 > ISDN回線基本設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ISDN回線	ISDN回線を利用する／しないを設定します。	利用する／利用しない	利用する
外線契約種別	ISDN回線の契約内容を設定します。	グローバル着信あり／ グローバル着信なし／ i・ナンバー契約	グローバル着 信あり
契約電話番号	ISDN回線の電話番号を設定します。	(最大32桁)	(設定なし)

電話機能 > 外線 > 電話回線設定 > ISDN回線設定 > 追加番号設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
追加番号	ダイヤルイン／i・ナンバーご契約時は、追加番号を設定します。	ダイヤルイン：(最大32桁×31番号) i・ナンバー：(最大32桁×2番号)	(設定なし)

電話機能 > 内線

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
内線番号	本商品の中で固有に使う内線番号を設定します。	10～69 (2桁)	(10～29を自動割付)
内線名称	電話機ごとに場所や使用者などを名称として設定します。	(最大全角8文字)	(設定なし)
電話機種別	電話機の種別を設定します。	IP多機能電話機/ IPコードレス電話機/ 単体電話機1/ 単体電話機2/ SIP端末/ N902iL/ SIP端末2/ WLAN携帯電話機/ 種別5～種別20	IP多機能電話機 (内線10～22) / 単体電話機1 (内線23) / 単体電話機2 (内線24) / WLAN携帯電話機 (内線25～29)
オフフック外線自動 捕捉	ハンドセットを取りあげたときに、外線発信できる状態にする設定をします。	する／しない	しない
非鳴動着信自動応答	鳴動していない着信(外線ランプ点滅)のとき、ハンドセットを取りあげるだけで応答できる設定をします。	する／しない	する
管理者電話機	接続した電話機の中から、管理者電話機をIP多機能電話機の中から1台設定します。	(IP多機能電話機に設定された内線から1台選択)	内線10

電話機能 > 内線 > 詳細設定 > 電話機動作設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
パスワード	IP多機能電話機／IPコードレス電話機でログインするときのパスワードを設定します。	(半角数字8文字以内／なし)	(パスワードなし)
内線呼出方式	他の電話機から呼び出されたときの呼出方法を設定します。	信号呼出／音声呼出	信号呼出
LCD着信あり表示	かかってきた電話に誰も応答しなかったとき、ディスプレイに“着信あり”と表示するかを設定します。	表示する(全外線着信を対象)／表示する(外線個別着信のみ対象)／表示しない	表示する(全外線着信を対象)
キータッチトーン	ダイヤルを押したときに確認音を出すかを設定します。	送出する／送出しない	送出する
内線別発信者番号通知	電話をかけたときにこちらの電話番号を相手に通知するかを設定します。	する／しない／電話機グループの設定に従う	電話機グループの設定に従う
通知電話番号(ひかり電話)	こちらの電話番号を相手に通知するときの電話番号を設定します。	契約電話番号／追加番号(追加番号は、設定済みの番号から選択)	契約電話番号
通知電話番号(ISDN回線)	こちらの電話番号を相手に通知するときの電話番号を設定します。	契約電話番号／追加番号(追加番号は、設定済みの番号から選択)	契約電話番号
保留転送(外線／外線)	外線でのお話しを保留して別の外線に転送することを許可するかを設定します。	許可する／許可しない	許可しない
通話中着信	通話しているときに内線から呼び出しがあったとき、着信させるかを設定します。	する／しない	しない
ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイ	単体電話機でナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイを利用するかを設定します。	利用する／利用しない	利用しない

電話機能 > 内線 > 詳細設定 > フレキシブルボタン設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ボタン種別	外線やパーク保留などに設定されていないボタンについて、内線ごとに種別を設定します。	未使用／DK／ワンタッチ	未使用
DK呼出先内線番号	(ボタン種別を「DK」に設定時)どの内線をDKの対象にするか設定します。	(設定済みの内線から選択)	(設定なし)
ワンタッチボタン種別	(ボタン種別を「ワンタッチ」に設定時)どの機能を行うボタンにするかを設定します。	ユーザ状態変更／赤外線電話帳受信 ^{*1} ／代理応答／内線グループ音声呼出／操作登録／システムモード切替 ^{*2} ／メンテナンス ^{*2}	(設定なし)
代理応答対象グループ	(ワンタッチボタン種別を「代理応答」に設定時)どの電話機グループへの着信を代理応答するか設定します。	グループ1～4	(設定なし)
内線グループ音声呼出対象グループ	(ワンタッチボタン種別を「内線グループ音声呼出」に設定時)どの内線グループを呼び出すボタンにするか設定します。	グループ1～4／全グループ	(設定なし)
操作登録	(ワンタッチボタン種別を「操作登録」に設定時)どのような電話機操作とするか設定します。	ダイヤル0～9、*、#、スピーカ ^{*1} 、内線、FK1～18(IPコードレス電話機の場合はFK1～8)(上記組み合わせ32操作以内)	(設定なし)

※1 IP多機能電話機でのみ選択可能

※2 管理者電話機に設定されたIP多機能電話機でのみ選択可能

システムデータ一覧

電話機能 > 内線 > 詳細設定 > 状態別転送設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
転送種別 (圏内)	端末が圏内の場合に着信した電話を転送するかを設定します。	転送しない／ 転送する (内線) ／ 転送する (外線) ／ ツイン転送する (内線) ／ ツイン転送する (外線)	転送しない
転送種別 (圏外)	端末が圏外の場合に着信した電話を転送するかを設定します。	転送しない／ 転送する (内線) ／ 転送する (外線)	転送しない
転送先番号	転送先番号 (内線転送時は内線番号、外線転送時は電話番号) を設定します。	外線: 最大32桁 内線: 10 ~ 69	(設定なし)

電話機能 > グループ

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
電話機グループ名称	電話機グループに名称を設定します。	(最大全角7文字)	グループ1 / グループ2 / グループ3 / グループ4
回線ボタン配置パターン	電話機グループに所属する電話機の回線ボタンの配置パターンを設定します。	パターン1 ~ 4	パターン1
グループ別発信者番号通知	電話をかけたときにこちらの電話番号を相手に通知するかを設定します。	する / しない	する
通知電話番号 (ひかり電話)	こちらの電話番号を相手に通知するとき、どの電話番号を通知するか設定します。	契約電話番号 / ダイヤルイン追加番号 (ダイヤルイン追加番号は、設定済みの番号から選択)	契約電話番号
通知電話番号 (ISDN回線)	こちらの電話番号を相手に通知するとき、どの電話番号を通知するか設定します。	契約電話番号 / ダイヤルイン追加番号 (ダイヤルイン追加番号は、設定済みの番号から選択)	契約電話番号
所属内線番号	どの電話機を所属させるかグループごとに設定します。	(設定済みの内線から複数選択)	全内線電話機はグループ1に所属

電話機能 > 着信鳴動 > 着信鳴動設定 / 着番号ダイヤルイン設定 > ひかり電話着信鳴動設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
鳴動電話機指定 (契約電話番号の設定に従う)	(契約電話番号以外を選択) 鳴動させる電話機の設定を契約電話番号と同じにするかを設定します。 従わない場合は、着番号ごとに鳴動電話機を指定することができます。	契約電話番号の設定に従う / 従わない (チェックによる選択)	契約電話番号の設定に従う
着信音	着信したときの鳴動音を設定します。	システムの設定に従う / 低音1 / 低音2 / 高音1 / 高音2 / 高音3	システムの設定に従う
着信方式選択 (昼/夜)	着信先を複数の電話機にする場合は放送着信、1台のみにする場合はその内線番号を設定します。	放送着信 / 個別着信 (個別着信は内線から選択)	放送着信
放送着信鳴動電話機指定 (昼/夜)	(着信方式を「放送着信」に設定時) 着信鳴動させる電話機を設定します。	(設定済みの内線から複数選択)	(全内線)

電話機能 > 着信鳴動 > 着信鳴動設定／着番号ダイヤルイン設定 > アナログ回線1着信鳴動設定（アナログ回線2着信鳴動設定）

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
鳴動電話機指定 (契約電話番号の設定に従う)	(契約電話番号以外を選択時) 鳴動させる電話機の設定を契約電話番号と同じにするかを設定します。 従わない場合は、着番号ごとに鳴動電話機を指定することができます。	契約電話番号の設定に従う／ 従わない（チェックによる選択）	契約電話番号の設定に従う
着信音	着信したときの鳴動音を設定します。	システムの設定に従う／ 低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	システムの設定に従う
着信方式選択 (昼／夜)	システムモードごとに着信先を複数の電話機に設定する場合は放送着信、1台のみに設定する場合はその内線番号を設定します。	放送着信／個別着信 (個別着信は内線から選択)	放送着信
放送着信鳴動電話機指定 (昼／夜)	(着信方式を「放送着信」に設定時) 着信鳴動させる電話機を設定します。	(設定済みの内線から複数選択)	(全内線)

電話機能 > 着信鳴動 > 着信鳴動設定／着番号ダイヤルイン設定 > ISDN回線着信鳴動設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
鳴動電話機指定 (契約電話番号の設定に従う)	(契約電話番号以外を選択時) 鳴動させる電話機の設定を契約電話番号と同じにするかを設定します。 従わない場合は、着番号ごとに鳴動電話機を指定することができます。	契約電話番号の設定に従う／従わない (チェックによる選択)	契約電話番号の設定に従う
着信音	着信したときの鳴動音を設定します。	システムの設定に従う／ 低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	システムの設定に従う
着信方式選択 (昼／夜)	システムモードごとに着信先を複数の電話機に設定する場合は放送着信、1台のみに設定する場合はその内線番号を設定します。	放送着信／個別着信 (個別着信は内線から選択)	放送着信
放送着信鳴動電話機指定 (昼／夜)	(着信方式を「放送着信」に設定時) 着信鳴動させる電話機を設定します。	(設定済みの内線から複数選択)	(全内線)

電話機能 > 着信鳴動 > 発番号ダイヤルイン設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
発信者電話番号	発番号ダイヤルインの対象とする相手の方の電話番号を設定します。	(最大32桁×32番号)	(設定なし)
着信音	着信したときの鳴動音を設定します。	システムの設定に従う／ 低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	システムの設定に従う
着信方式選択 (昼／夜)	システムモードごとに着信先を複数の電話機に設定する場合は放送着信、1台のみに設定する場合はその内線番号を設定します。	放送着信／個別着信 (個別着信は内線から選択)	放送着信
放送着信鳴動電話機指定 (昼／夜)	(着信方式を「放送着信」に設定した場合) 着信鳴動させる電話機を設定します。	(設定済みの内線から複数選択)	(全内線)

システムデータ一覧

電話機能 > 着信鳴動 > ISDN回線着サブアドレスダイヤルイン設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
着サブアドレスダイヤルイン対象電話機指定	着サブアドレスダイヤルインの対象となる内線電話機を設定します。	主装置に収容されている内線番号から複数選択	(設定なし)

電話機能 > 回線ボタン

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
回線ボタン配置パターン名称	回線ボタン配置パターンの名称を設定します。	(最大全角7文字)	パターン1 / パターン2 / パターン3 / パターン4
使用グループ選択	配置パターンをどの電話機グループで使用するかを設定します。	グループ1 ~ 4	(全パターン) 全グループパターン1を選択
回線ボタン配置パターン (IP多機能電話機)	IP多機能電話機での回線ボタン配置パターンを設定します。	IK/SK/NK/PH/マイク	FK1 ~ 3 : IK (ひかり電話) FK4 ~ 17 : 未使用 FK18 : マイク (IP多機能電話機のみ)
回線ボタン配置パターン (IPコードレス電話機)	IPコードレス電話機での回線ボタン配置パターンを設定します。	IK/SK/NK/PH	FK1 ~ 3 : IK (ひかり電話) FK4 ~ 8 : 未使用
回線ボタン配置パターン (SIP端末)	SIP端末での回線ボタン配置パターンを設定します。	IK/SK/NK/PH	FK1 ~ 3 : IK (ひかり電話) FK4 ~ 18 : 未使用
回線ボタン配置パターン (単体電話機)	単体電話機での回線ボタン配置パターンを設定します。	IK/SK/NK/PH	FK1 ~ 3 : IK (ひかり電話) FK4 ~ 18 : 未使用

電話機能 > 詳細

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
システムモード	システムモードを昼モードに自動切替する時間を曜日ごとに設定します。	昼モード時間指定（時間帯指定時は、開始時刻と終了時刻を設定）／ 終日昼モード／ 終日夜モード	終日昼モード
発信規制ダイヤル	特定の電話番号へ発信させないように発信規制ダイヤルを設定します。	(最大11桁×20番号)	(設定なし)
削除ダイヤル	*184などをつけて発信しようとしたときでも発信規制されるように、削除する先頭ダイヤルを設定します。	(最大10桁×20番号)	184/186/ 122/ 184122/ 186122
緊急番号	電話がかかってきたときに緊急着信鳴動させる電話番号を設定します。	(最大4桁×10番号)	110/119/ 118
オートコールバック 対象電話番号	電話がかかってきたときにオートコールバックさせる電話番号を設定します。	(最大32桁×32番号)	(設定なし)
状態名称設定	「食事中」「会議中」などのユーザ状態の名前を変更します。	(最大全角5文字)	離席／会議中／ 休憩中／食事中／ 外出中／その他
保留音	お話しを保留したときに相手に聞かせる保留音を設定します。	保留音1／保留音2	保留音1
内線着信音	内線で呼び出されたときの着信音を設定します。	低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	低音1
ひかり電話回線着信音	ひかり電話回線で着信したときの着信音を設定します。	低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	低音1
アナログ回線1着信音	アナログ回線1で着信したときの着信音を設定します。	低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	低音1
アナログ回線2着信音	アナログ回線2で着信したときの着信音を設定します。	低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	低音1
ISDN回線着信音	ISDN回線で着信したときの着信音を設定します。	低音1／低音2／ 高音1／高音2／高音3	低音1

システムデータ一覧

電話機能 > 詳細 > SIP端末定義設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
SIP端末定義名称	SIP端末の種別名称を設定します。設定した名称は、電話機種別に表示されます。	(最大全角4文字) (最大半角8文字)	SIP端末/ N902iL/ SIP端末2/ WLAN携帯電話機/ 種別5～種別20
保留・転送機能	SIP端末の保留・転送機能サポート有無にあわせて設定します。	有効/無効	無効
保留方式	(保留・転送機能を「有効」に設定時) 保留時に本商品に送信されるSDP情報に合わせてパターンを設定します。(SIP端末の動作にあわせて選択します) C=0の場合は、パターン1 a=sendonlyの場合は、パターン2 a=inactiveの場合は、パターン3	パターン1～3	パターン1
転送方式	(保留・転送機能を「有効」に設定時) SIP端末の動作にあわせて設定します。 通信状態から転送が可能な場合は、パターン1 転送先保留中状態から転送が可能な場合は、パターン2	パターン1～2	パターン1
対応メディア	発着信、保留転送時にSIP端末が対応しているメディアを設定します。	すべて/ G711音声通話のみ/ 音声通話のみ	すべて
非通知方式	非通知の着信がきたときにSIP端末へ通知するメッセージを設定します。 パターン1: "anonymous@localhost" パターン2: "anonymous@anonymous.invalid"	パターン1～2	パターン1
詳細動作モード	端末固有の動作情報を設定します。 パターン1: 通常の端末 パターン2: WLAN携帯電話機、N902iL用の設定	パターン1～2	パターン1
複数着信	内線、外線からの同時複数着信することができる端末かを設定します。	する / しない	しない
緊急着信	緊急着信したとき、その端末を着信先を含めるかを設定します。	する / しない	しない

電話機能 > 詳細 > タイマ設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
柘間タイマ (1stダイヤル)	外線捕捉後、ここで設定した時間以内にダイヤルしないと発信失敗となります。	1～20 [秒]	20 [秒]
柘間タイマ (2ndダイヤル)	外線を捕捉してダイヤル入力中、ここで設定した時間以内に新たな入力がなかった場合は、それまでに入力した番号で発信となります。	1～20 [秒]	6 [秒]
保留警報－送出手間	保留操作を行ってから保留警報音を鳴らすまでの時間を設定します。	送出ししない / 10秒/20秒/30秒/ 40秒/50秒/1分/ 1分10秒/1分20秒/ 1分30秒/1分40秒/ 1分50秒/2分/3分/ 4分/5分/6分/7分/ 8分/9分/10分	送出ししない
保留警報－鳴動時間	(保留警報送出手間を「送出ししない」以外に設定時) 鳴り始めた保留警報音が停止するまでの時間を設定します。	継続する / 1～60 [秒]	継続する
保留警報－警報周期	(保留警報鳴動時間を「継続する」以外に設定時) 停止した保留警報音を再び鳴らすまでの時間を設定します。	1回のみ警報音送出 / 10秒/20秒/30秒/ 40秒/50秒/1分/ 1分10秒/1分20秒/ 1分30秒/1分40秒/ 1分50秒/2分/3分/ 4分/5分/6分/7分/ 8分/9分/10分	1回のみ警報音送出
オートコールバック 検出タイマ	オートコールバックを起動させるための検出時間（電話をかけて切るまでの時間）を設定します。	1～15 [秒]	5 [秒]
圏外転送起動監視時間	状態別転送で圏外転送が設定されている場合、転送を起動するまでの時間を設定します。	1～30 [秒]	10 [秒]
内線端末登録時間 (Register)	LAN上に接続した電話機が正常稼働しているか監視（ヘルスチェック）を行う基準となる時間を設定します。	5～10 [分]	10 [分]

電話機能 > 詳細 > 内線番号自動割付設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
内線番号自動割付機能	接続した電話機に内線番号を自動で割り付けるかを設定します。	有効 / 無効	有効
自動割付対象内線	(内線番号自動割付機能が「有効」に設定時) 自動で割り付ける内線番号を設定します。	対象/対象外 (チェックによる選択)	内線10～ 22：対象 内線23～ 29：対象外

システムデータ一覧

電話機能 > 詳細 > 回線捕捉優先順位設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
捕捉除外回線	回線毎に捕捉優先順位設定から対象外とするかを設定します。	対象／対象外	アナログ回線1：対象外 アナログ回線2：対象外 ISDN回線：対象外
捕捉優先順位	回線毎に捕捉する優先順位を設定します。	捕捉優先順位1～4 (電話機グループ毎に設定)	ひかり電話：1

電話機能 > 詳細 > 事業者識別番号自動付与設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
事業者識別番号自動付与機能	事業者識別番号を自動的に付与するかを設定します。	有効／無効	無効
アナログ回線1	アナログ回線1から発信した場合に自動的に付与するかを設定します。	付与する／付与しない	付与する
アナログ回線2	アナログ回線2から発信した場合に自動的に付与するかを設定します。	付与する／付与しない	付与する
事業者識別番号	自動付与する事業者識別番号番号を設定します。	4～6桁 ただし、1桁目と2桁目は0固定	(設定なし)
自動付与解除番号	一時的に事業者番号自動付与機能を行わない場合にダイヤルする番号を設定します。	固定	0000
自動付与対象番号	事業者番号自動付与の対象となる番号を設定します。	1～6桁×32番号 ただし、1桁目は0固定	0801～0809、 0901～0909 の18個設定済み

ネットワーク > WAN (アクセスサービス種別)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
アクセスサービス種別	接続している契約回線の種別を設定します。	東日本：フレッツ 光ネクスト／ Bフレッツ／ 接続しない(ひかり電話を使用しない) 西日本：フレッツ 光ネクスト／ フレッツ・光プレミアム／ 接続しない(ひかり電話を使用しない)	東日本：フレッツ 光ネクスト 西日本：フレッツ 光ネクスト

ネットワーク > WAN (インターネット接続)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ユーザ名	プロバイダとの契約時に通知されるユーザ名を設定します。	半角英数字 半角記号 1～128	(設定なし)
パスワード	プロバイダとの契約時に通知されるパスワードを設定します。	半角英数字 半角記号(+は除く) 1～32文字	(設定なし)
DNS取得方法	DNSの取得方法を設定します。	自動／手動	自動
プライマリDNSサーバIPアドレス	(DNS取得方法が「手動」に設定時) 通知プライマリDNSサーバアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
セカンダリDNSサーバIPアドレス	(DNS取得方法が「手動」に設定時) 通知セカンダリDNSサーバアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
自動接続	主装置が起動した時に自動的に接続するかを設定します。	する／しない	する

ネットワーク > WAN (フレッツ・VPN接続)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ユーザ名	VPN契約時に通知されるユーザ名を設定します。	半角英数字 半角記号 1 ~ 128	(設定なし)
パスワード	VPN契約時に通知されるパスワードを設定します。	半角英数字 半角記号 (*は除く) 1 ~ 32文字	(設定なし)
IPアドレス払い出し方法	PPPoEで接続する場合に端末型で接続するかLAN型 (unnumbered) で接続するか設定します。	端末型 / LAN型	端末型
自動接続	主装置が起動した時に自動的に接続するかを設定します。	する / しない	する

ネットワーク > WAN (フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続 / フレッツ・スクウェア接続)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ユーザ名	フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトやフレッツ・スクウェアに接続するためのユーザ名を設定します。	半角英数字 半角記号 1 ~ 128	NTT東日本エリア guest@v4flets-east.jp (アクセス回線がフレッツ 光ネクスト) guest@flets (アクセス回線がフレッツ 光ネクスト以外) NTT西日本エリア flets@v4flets-west.jp (アクセス回線がフレッツ 光ネクスト) flets@flets (アクセス回線がフレッツ 光ネクスト以外)
パスワード	フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトやフレッツ・スクウェアに接続するためのパスワードを設定します。	半角英数字 半角記号 (*は除く) 1 ~ 32文字	*****
自動接続	主装置が起動した時に自動的に接続するかを設定します。	する / しない	する

システムデータ一覧

ネットワーク > LAN

設定データ名	説明	設定範囲	初期値	
IPアドレス	本商品のネットワークアドレスを設定します。	(IPアドレス)	192.168.1.1	
サブネットマスク	本商品のネットワークアドレスに合わせてサブネットマスクを設定します。	255.0.0.0(8) / 255.255.0.0(16) / 255.255.128.0(17) / 255.255.192.0(18) / 255.255.224.0(19) / 255.255.240.0(20) / 255.255.248.0(21) / 255.255.252.0(22) / 255.255.254.0(23) / 255.255.255.0(24) / 255.255.255.128(25) / 255.255.255.192(26) / 255.255.255.224(27) / 255.255.255.240(28)		255.255.255.0(24)
DHCPサーバ機能	本商品のDHCPサーバ機能の有効/無効を設定します。	有効/無効	有効	
割付IPアドレス範囲	DHCP機能を有効としたとき、割り付けるIPアドレスの範囲を設定します。	(IPアドレス)	開始： 192.168.1.100 個数：100	
リース時間	DHCP機能を有効としたとき、割り付けるIPアドレスのリース時間を設定します。	半日 / 1日 / 3日 / 7日 / 14日 / 30日	3日	
プライマリWINSサーバIPアドレス	DHCPクライアントに通知するプライマリWINSサーバアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)	
セカンダリWINSサーバIPアドレス	DHCPクライアントに通知するセカンダリWINSサーバアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)	

ネットワーク > 無線

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
自動登録開始	内蔵無線アクセスポイントの自動登録を開始します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
再起動	無線アクセスポイント、無線ステーションの再起動を開始します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
初期化	内蔵無線アクセスポイントの初期化を開始します。	(設定範囲なし)	(設定なし)

ネットワーク > 無線 > 無線設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
設定自動同期機能	内蔵無線アクセスポイントと起動時に設定値を自動同期する／しないを設定します。	有効／無効	有効
システム名	一覧表に表示する名称を設定します。	ASCII32文字以内 スペース不可	RA-ME-+ 無線側MAC アドレス下4桁
DHCPクライアント	DHCPクライアント機能を利用する／利用しないを設定します。	利用する／利用しない	利用する
IPアドレス	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 無線アクセスポイントのネットワークアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
サブネットマスク	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 本商品のネットワークアドレスに合わせてサブネットマスクを設定します。	255.0.0.0(8) / 255.255.0.0(16) / 255.255.128.0(17) / 255.255.192.0(18) / 255.255.224.0(19) / 255.255.240.0(20) / 255.255.248.0(21) / 255.255.252.0(22) / 255.255.254.0(23) / 255.255.255.0(24) / 255.255.255.128(25) / 255.255.255.192(26) / 255.255.255.224(27) / 255.255.255.240(28)	255.255.255.0(24)
デフォルトゲートウェイ	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 本商品のネットワークアドレスに合わせてデフォルトルートを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)

システムデータ一覧

ネットワーク > 無線 > 無線設定 [802.11a (5GHz帯) 設定]

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
無線機能	802.11a (5GHz帯) で有効にする機能を設定します。	無効 / 802.11a有効	802.11a有効
SSID	無線LANグループ名を設定します。	ASCII32文字以内 スペース不可	ID+装置の無線側MACの下4桁
SSID隠蔽	無線端末からのSSID検索に対して隠蔽する / 隠蔽しないを設定します。	隠蔽する / 隠蔽しない	隠蔽する
チャンネル周波数	使用するチャンネル周波数を設定します。	自動 / 5180MHz (36ch) / 5200MHz (40ch) / 5220MHz (44ch) / 5240MHz (48ch)	自動
暗号化タイプ	データ通信時の暗号化タイプを設定します。	無効 / WEP / AES-OCB / AES-CCM / TKIP (WPA-PSK)	WEP
WEPキー	(暗号化タイプが「WEP」に設定時) WEP暗号化キーの長さを入力方法を設定します。	16進数 10文字 / 16進数 26文字 / 16進数 32文字 / ASCII 5文字 / ASCII 13文字 / ASCII 16文字	16進数 32文字
暗号化キー	暗号化キーを設定します。	WEPキーで選択した範囲で入力	(16進) 31323334353637383930313233343536 (10進) 1234567890123456

ネットワーク > 無線 > 無線設定【802.11b/g (2.4GHz帯) 設定】

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
無線機能	802.11b/g (2.4GHz帯) で有効にする機能を設定します。	無効/ 802.11b/g有効/ 802.11bのみ有効/ 802.11gのみ有効	802.11bのみ有効
SSID	無線LANグループ名を設定します。	ASCII32文字以内 スペース不可	ID+装置の無線側MACの下4桁
SSID隠蔽	無線端末からのSSID検索に対して隠蔽する/隠蔽しないを設定します。	隠蔽する/隠蔽しない	隠蔽する
チャンネル周波数	使用するチャンネル周波数を設定します。	自動/ 2412MHz (1ch) / 2417MHz (2ch) / 2422MHz (3ch) / 2427MHz (4ch) / 2432MHz (5ch) / 2437MHz (6ch) / 2442MHz (7ch) / 2447MHz (8ch) / 2452MHz (9ch) / 2457MHz (10ch) / 2462MHz (11ch) / 2467MHz (12ch) / 2472MHz (13ch) / 2484MHz (14ch)	自動
暗号化タイプ	データ通信時の暗号化タイプを設定します。	無効/ WEP / AES-CCM / TKIP (WPA-PSK)	WEP
WEPキー	(暗号化タイプが「WEP」に設定時) WEP暗号化キーの長さ と入力方法を設定します。	16進数 10文字 / 16進数 26文字 / 16進数 32文字 / ASCII 5文字 / ASCII13文字 / ASCII16文字	16進数 26文字
暗号化キー	暗号化キーを設定します。	WEPキーで選択した範囲 で入力	(16進) 31323334353637383930313233 (10進) 1234567890123

システムデータ一覧

ネットワーク > 無線 > ACL制御設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ACL機能 802.11b/g (2.4GHz)	802.11b/g (2.4GHz帯) でACL機能を利用する／利用しないを設定します。	利用する／利用しない	利用しない
ACL機能 802.11a (5GHz)	802.11a (5GHz帯) でACL機能を利用する／利用しないを設定します。	利用する／利用しない	利用しない
MACアドレス	ACLの対象となる機器のMACアドレスを設定します。	16進数半角12文字	(設定なし)
機器名称	一覧表示を行う場合に表示する名称を設定します。	ASCII32文字以内 スペース不可	(設定なし)

ネットワーク > ゲートウェイボックス (アナログゲートウェイボックス)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
DHCPクライアント	DHCPクライアント機能を利用する／利用しないを設定します。	利用する / 利用しない	利用する
IPアドレス	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) アナログゲートウェイボックスのネットワークアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
サブネットマスク	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 本商品のネットワークアドレスに合わせてサブネットマスクを設定します。	255.0.0.8(8) / 255.255.0.0(16) / 255.255.128.0(17) / 255.255.192.0(18) / 255.255.224.0(19) / 255.255.240.0(20) / 255.255.248.0(21) / 255.255.252.0(22) / 255.255.254.0(23) / 255.255.255.0(24) / 255.255.255.128(25) / 255.255.255.192(26) / 255.255.255.224(27) / 255.255.255.240(28)	255.255.255.0(24)
デフォルトルート	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 本商品のネットワークアドレスに合わせてデフォルトルートを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)

ネットワーク > ゲートウェイボックス (ISDN ゲートウェイボックス)

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
DHCPクライアント	DHCPクライアント機能を利用する／利用しないを設定します。	利用する / 利用しない	利用する
IPアドレス	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) ISDNゲートウェイボックスのネットワークアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
サブネットマスク	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 本商品のネットワークアドレスに合わせてサブネットマスクを設定します。	255.0.0.8(8)/ 255.255.0.0(16)/ 255.255.128.0(17)/ 255.255.192.0(18)/ 255.255.224.0(19)/ 255.255.240.0(20)/ 255.255.248.0(21)/ 255.255.252.0(22)/ 255.255.254.0(23)/ 255.255.255.0(24)/ 255.255.255.128(25)/ 255.255.255.192(26)/ 255.255.255.224(27)/ 255.255.255.240(28)	255.255.255.0(24)
デフォルトルート	(DHCPクライアントが「利用しない」に設定時) 本商品のネットワークアドレスに合わせてデフォルトルートを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)

ネットワーク > 詳細 > DNS設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
プライマリDNSサーバ(IPアドレス)	DNS解決を特定のDNSサーバで行う場合、問合せを行うプライマリDNSサーバアドレスのIPアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
セカンダリDNSサーバ(IPアドレス)	DNS解決を特定のDNSサーバで行う場合、問合せを行うセカンダリDNSサーバアドレスのIPアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
DNSルーティング	特定のドメイン名のアドレス解決をデフォルトのDNSサーバ以外のDNSサーバへ問い合わせる場合、ドメイン名と問合せ先のDNSサーバアドレスを設定します。	(ドメイン名) (IPアドレス)	(設定なし)

ネットワーク > 詳細 > ポートフォワード設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
プロトコル	転送を行いたいパケットのプロトコルを設定します。	TCP / UDP / TCPとUDP	TCP
ポート番号	転送を行いたいパケットのポート番号を設定します。	半角数字 1 ~ 65535	(設定なし)
IPアドレス	転送する接続先のIPアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)

システムデータ一覧

ネットワーク > 詳細 > ルーティング設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
デフォルトルート	受信したパケットが、ルーティングテーブルのどのエントリーとも一致しない場合のルーティング先を設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
宛先アドレス	ルーティングを行いたい宛先アドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
サブネットマスク	ルーティングを行いたいIPアドレスに合わせてサブネットマスクを設定します。	255.0.0.8(8)/ 255.255.0.0(16)/ 255.255.128.0(17)/ 255.255.192.0(18)/ 255.255.224.0(19)/ 255.255.240.0(20)/ 255.255.248.0(21)/ 255.255.252.0(22)/ 255.255.254.0(23)/ 255.255.255.0(24)/ 255.255.255.128(25)/ 255.255.255.192(26)/ 255.255.255.224(27)/ 255.255.255.240(28)/ 255.255.255.255(32)	255.0.0.0(8)
接続先	接続先の指定方法として手動/VPNを設定します。	手動 / VPN (VPNはVPN設定時のみ選択可能)	手動
ゲートウェイ	ルーティングをする接続先のIPアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)

ネットワーク > 詳細 > ステルスモード設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ステルスモード設定	接続種別（ひかり電話、インターネット接続、フレッツ・VPN接続、フレッツ・スクウェア接続/フレッツ 光ネクスト 情報サイト接続、リモートマネジメント接続）毎のPPPoEインタフェースについてステルスモードを使用する/使用しないを設定します。	使用する / 使用しない	使用しない

ネットワーク > 詳細 > フィルタリング設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
エントリー No.	エントリー No.を設定します。	1 ~ 64	(設定なし)
適用インタフェース	フィルタリングするパケットの適用インタフェースを設定します。	全てのインタフェース/ インターネット接続用インタフェース/ LANインタフェース	全てのインタフェース
方向	フィルタリングするパケットの方向(入力/出力)を設定します。	入力/出力	入力
動作	フィルタリングするパケットの動作(透過/遮断)を設定します。	透過/遮断	遮断
プロトコル	フィルタリングするパケットのプロトコルを設定します。	指定なし/TCP/ UDP/ICMP/その他	指定なし
送信元IPアドレス	フィルタリングするパケットの送信元IPアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
送信先IPアドレス	フィルタリングするパケットの送信先IPアドレスを設定します。	(IPアドレス)	(設定なし)
送信先ポート番号範囲	フィルタリングするパケットの送信先ポート番号範囲を設定します。	開始ポート番号 半角数字 1 ~ 65535 終了ポート番号 半角数字 1 ~ 65535 [開始ポート番号] ≤ [終了 ポート番号]となること	(設定なし)

電話帳 > 共通電話帳

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
メモリ番号	電話帳内での登録番号を設定します。メモリ検索で使います。	000 ~ 349	(未登録)
名称	電話帳に登録する相手の名称を設定します。	(最大全角10文字)	(未登録)
読み(カナ)	相手の名称のフリガナを設定します。カナ検索で使います。	(最大半角20文字) (半角カタカナ、半角英 字、半角数字、半角記号(- .@()*#(スペース))	(未登録)
内線番号	登録する相手の内線番号を設定します。	10 ~ 69	(未登録)
外線電話番号1	登録する相手の外線電話番号を設定します。	(最大32桁)	(未登録)
外線電話番号2	登録する相手の外線番号が複数ある場合は、外線番号2として設定します。	(最大32桁)	(未登録)
外線電話番号3	登録する相手の外線番号が3つある場合は、外線番号3として設定します。	(最大32桁)	(未登録)
所属グループ	登録する相手のグループを設定します。グループ検索のときに使います。	共通GR1 ~ 10	共通GR1
グループ名	グループ名を設定します。	(最大全角7文字)	共通GR1 ~ 10
全件一括削除	共通電話帳をすべて削除します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
インポート	CSV(カンマ区切り)形式のテキストファイルを選択して共通電話帳のデータとしてインポートすることができます。	(設定範囲なし)	(設定なし)
エクスポート	共通電話帳のデータをCSV(カンマ区切り)形式のテキストファイルでエクスポートします。	(設定範囲なし)	(設定なし)

システムデータ一覧

電話帳 > 個人電話帳

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
メモリ番号	電話帳内での登録番号を設定します。メモリ検索で使います。	000～099	(未登録)
名称	電話帳に登録する相手の名称を設定します。	(最大全角10文字)	(未登録)
読み(カナ)	相手の名称のフリガナを設定します。カナ検索で使います。	(最大半角20文字) (半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号(-、.、@、()、*、# (スペース))	(未登録)
内線番号	登録する相手の内線番号を設定します。	10～69	(未登録)
外線電話番号1	登録する相手の外線電話番号を設定します。	(最大32桁)	(未登録)
外線電話番号2	登録する相手の外線番号が複数ある場合は、外線番号2として設定します。	(最大32桁)	(未登録)
外線電話番号3	登録する相手の外線番号が3つある場合は、外線番号3として設定します。	(最大32桁)	(未登録)
グループ	登録する相手のグループを設定します。グループ検索のときに使います。	個人GR1～10	個人GR1
グループ名	グループ名を設定します。	(最大全角7文字)	個人GR1～10
全件一括削除	個人電話帳をすべて削除します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
インポート	CSV(カンマ区切り)形式のテキストファイルを選択して個人電話帳のデータとしてインポートすることができます。	(設定範囲なし)	(設定なし)
エクスポート	個人電話帳のデータをCSV(カンマ区切り)形式のテキストファイルでエクスポートします。	(設定範囲なし)	(設定なし)

グループやパターンを選択するデータは、名称変更により選択肢の表示も変わります。

(例) グループ1の名称を「経理部」に変更した場合、「内線別所属電話機グループ」の選択肢は、経理部/グループ2/グループ3/グループ4と表示される。

メンテナンス > 再起動

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
再起動	システムの再起動を開始します。	(設定範囲なし)	(設定なし)

メンテナンス > 環境設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
日付時刻設定	本商品内で管理する日付、時刻を設定します。昼／夜モードの切り替えなどに使います。	(YYYY年MM月DD日 HH時MM分形式) * ¹	-
設置エリア設定	本商品を設置するエリアを設定します。	NTT東日本エリア／ NTT西日本エリア	* ²
システム管理者パスワード設定	Webブラウザでデータ設定するときのログインパスワードを設定します。	(半角英数8文字以内)	admin

*¹：西暦は2008～2037年のみ設定できます。

*²：お買い求めいただいた地域によって異なります

メンテナンス > 環境設定 > ファームウェア更新設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
重要ファームウェア更新	新しい重要ファームウェアがあるときの更新処理を設定します。	自動更新しない／ 自動更新しない (ユーザ通知のみ)／ 自動更新する	自動更新する
ファームウェア自動更新時刻	(重要ファームウェア更新「自動更新する」設定時)自動更新する時刻を設定します。	(HH時MM分形式)	04時00分
自動再起動開始時刻	ファームウェア更新で手動ダウンロードを行い、再起動していないときに本商品を自動で再起動する時刻を設定します。	(HH時MM分形式)	02時00分

メンテナンス > データ管理

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
システムデータバックアップ/リストア	システムデータのバックアップまたはシステムデータをリストアします。	(設定範囲なし)	(設定なし)
システム設定データ確認	電話機能設定データ/ネットワーク設定データ/メンテナンス設定データ の設定一覧を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
システムデータ初期化	システム設定データを初期化します。	(設定範囲なし)	(設定なし)

メンテナンス > ファームウェア

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
バージョン表示	システムおよびシステムに含まれるファームウェアのバージョン情報を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
ローカルファームウェア更新	アップロードするバージョンアップファイルを選択して、ファームウェアをアップロードします。	(設定範囲なし)	(設定なし)
ファームウェア更新(自動/手動)	最新のファームウェア更新情報が表示されます。また手動でファームウェア更新サーバに接続し、バージョンアップを行うこともできます。	(設定範囲なし)	(設定なし)

システムデータ一覧

メンテナンス > 運用状態

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
内線電話機状態表示	内線電話機の運用状態一覧を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
無線端末接続状態表示	無線端末の運用状態一覧を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
ゲートウェイボックス状態表示	アナログゲートウェイボックスとISDNゲートウェイボックスの運用状態を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
動作履歴表示	システムの動作履歴一覧を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
DHCP割付状態表示 (IPv4)	DHCPの割付状態を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
DHCP割付状態表示 (IPv6)	DHCPの割付状態を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
ネットワーク情報表示	接続先情報/パケット統計情報/ネットワーク詳細情報を表示します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
システム情報ダウンロード	システム情報ファイルを作成して、ダウンロードを開始します。	(設定範囲なし)	(設定なし)

メンテナンス > 手動操作

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
WAN側ネットワーク接続/切断	WAN側ネットワークの接続または切断を行いません。	(設定範囲なし)	(設定なし)
ひかり電話接続/切断	ひかり電話の接続または切断を行いません。	(設定範囲なし)	(設定なし)
接続確認 (PING送信)	接続確認先にPINGパケットを送信して相手の状態を確認します。	(設定範囲なし)	(設定なし)
パケットモニタ	システムの各種インタフェース上を通るパケットをファイルへの出力を行います。	(設定範囲なし)	(設定なし)

■高度な設定 初期値一覧

電話機能 > 外線 > ひかり電話設定 > 高度な設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
SIPサーバ側ポート番号	SIPサーバのポート番号を設定します。	(5060固定)	5060
ひかり電話用SIP端末ポート番号	本商品のひかり電話用SIPポート番号を設定します。 ひかり電話用RTPポート番号範囲との重複設定はできません。	(半角数字 1024 ~ 65535)	5060
端末登録時間	端末登録状態の有効時間を設定します。	(半角数字 3600 ~ 36000)	3600 [秒]
セッションタイム	ひかり電話通話中のセッション時間を設定します。	(半角数字 180 ~ 3600)	300 [秒]
ひかり電話用RTPポート番号範囲	本商品のRTPポート番号範囲を先頭ポート番号と最後のポート番号を設定します。	(5004 ~ 5035 固定)	5004 ~ 5035
TOS値	ひかり電話VoIPパケットに付与するTOS値を設定します。	10000000 (2進数 固定)	10000000 (2進数)

電話機能 > 詳細 > 高度な設定 > 制御ポート番号設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
内線SIPポート番号	本商品の内線用SIPポート番号を設定します。	(半角数字 1024 ~ 65535)	5060
ローカルコマンド待受けポート番号 (TCP)	本商品のローカルコマンド待受けポート番号 (TCP) を設定します。	(半角数字 1024 ~ 65535)	54722
ローカルコマンド待受けポート番号 (UDP)	本商品のローカルコマンド待受けポート番号 (UDP) を設定します。	(半角数字 1024 ~ 65535)	53722
ローカルコマンド用マルチキャストアドレス	本商品のローカルコマンド用マルチキャストアドレスを設定します。	224.0.0.0 ~ 255.255.255.255	224.0.0.200
サービス送信用マルチキャストポート番号	本商品のサービス送信用マルチキャストポート番号を設定します。	(半角数字 1024 ~ 65535)	60020
サービス受信用マルチキャストポート番号	本商品のサービス受信用マルチキャストポート番号を設定します。	(半角数字 1024 ~ 65535)	60030
内線グループ音声呼出用RTPポート番号範囲	本商品の内線グループ音声呼出用RTPポート番号範囲の先頭ポート番号を設定します。先頭ポート番号から連続で22ポートが使用されます。	(半角数字 1024 ~ 65514)	10072 (から連続で22個)



お知らせ

- 高度な設定のシステムデータは、変更すると本商品が正しく動作しなくなるおそれがあります。

システムデータ一覧

電話機能 > 詳細 > 高度な設定 > RTP関連設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
揺らぎ吸収機能	揺らぎ吸収機能の使用有無を設定します。	有効/無効	有効
最大許容遅延時間	揺らぎ吸収機能を使用するときの最大許容遅延時間を設定します。	100ミリ秒 / 200ミリ秒 / 300ミリ秒 / 400ミリ秒 / 500ミリ秒 / 600ミリ秒 / 700ミリ秒 / 800ミリ秒 (「揺らぎ吸収機能」が、「無効」の場合、設定不可)	100[ミリ秒]
RTP蓄積パケット数	揺らぎ吸収機能を使用しないときのRTP最小蓄積パケット数を設定します。	1パケット / 2パケット / 3パケット / 4パケット / 5パケット / 6パケット / 7パケット / 8パケット / 9パケット / 10パケット (「揺らぎ吸収機能」が、「有効」の場合、設定不可)	2 [パケット]
RTP最大蓄積パケット数	揺らぎ吸収機能を使用しないときのRTP最大蓄積パケット数を設定します。	5パケット / 6パケット / 7パケット / 8パケット / 9パケット / 10パケット / 11パケット / 12パケット / 13パケット / 14パケット / 15パケット / 16パケット / 17パケット / 18パケット / 19パケット / 20パケット / 21パケット / 22パケット / 23パケット / 24パケット / 25パケット / 26パケット / 27パケット / 28パケット / 29パケット / 30パケット (「揺らぎ吸収機能」が、「有効」の場合、設定不可)	5 [パケット]
RTPパケット化サイズ	RTPのパケット化サイズを設定します。	(20ミリ秒固定)	20 [ミリ秒]
RTP監視時間	RTPパケットの無通信監視時間を設定します。	監視しない / 30秒 / 60秒 / 120秒 / 180秒	30 [秒]
RTPポート範囲	RTPポート番号範囲の先頭ポート番号を設定します。先頭ポート番号から連続で64ポートが使用されます。	(10020固定)	10020 (から連続で64個)
RTCP送信間隔	RTCPパケットを送信する時間を設定します。	(5 [秒] 固定)	5 [秒]
TOS値	VoIP関連のパケットに付与するTOS値を設定します。	(半角数字0,1のみ8桁固定) 00000000 ~ 11111111	10000000 (2進数)
パケット損失補償	パケット損失補償の使用有無を設定します。	する/しない	する



お知らせ

●高度な設定のシステムデータは、変更すると本商品が正しく動作しなくなるおそれがあります。

電話機能 > 詳細 > 高度な設定 > ゲイン設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
アナログ回線1 音質パターン	アナログ回線1を使用して通信するとき、音質の聞こえ具合により音質パターンを設定します。	標準/ 自分の話した声気がになるとき/ 相手の声が途切れるとき/ 相手に自分の声が聞き取りにくいとき/ 工事保守者設定	標準
アナログ回線1 送話	アナログ回線1の送話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	-4 [dB]
アナログ回線1 受話	アナログ回線1の受話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	-2 [dB]
アナログ回線2 音質パターン	アナログ回線2を使用して通信するとき、音質の聞こえ具合により音質パターンを設定します。	標準/ 自分の話した声気がになるとき/ 相手の声が途切れるとき/ 相手に自分の声が聞き取りにくいとき/ 工事保守者設定	標準
アナログ回線2 送話	アナログ回線2の送話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	-4 [dB]
アナログ回線2 受話	アナログ回線2の受話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	-2 [dB]
単体電話機1 送話	単体電話機1の送話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	0 [dB]
単体電話機1 受話	単体電話機1の受話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	0 [dB]
単体電話機2 送話	単体電話機2の送話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	0 [dB]
単体電話機2 受話	単体電話機2の受話レベルを設定します。	+12dB/+11dB/+10dB/+9dB/ +8dB/+7dB/+6dB/+5dB/+4dB/ +3dB/+2dB/+1dB/0dB/-1dB/ -2dB/-3dB/-4dB/-5dB/-6dB/-7dB/ -8dB/-9dB/-10dB/-11dB/-12dB/	0 [dB]

システムデータ一覧

電話機能 > 詳細 > 高度な設定 > エコーキャンセラ制御設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
アナログ回線1	アナログ回線1を使用して通信するとき、エコーキャンセラ制御の使用有無を設定します。	有効/無効	有効
アナログ回線2	アナログ回線2を使用して通信するとき、エコーキャンセラ制御の使用有無を設定します。	有効/無効	有効
ISDN回線	ISDN回線を使用して通信するとき、エコーキャンセラ制御の使用有無を設定します。	有効/無効	有効

電話機能 > 詳細 > 高度な設定 > ゲートウェイボックス関連詳細設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
発信ダイヤル削除テーブルポーズ時間(アナログ回線1)	アナログ回線1で「削除ダイヤル設定」で登録した番号で外線発信するとき、「削除ダイヤル」の後に自動的に挿入されるポーズ時間を設定します。	0秒/1秒/2秒/3秒	1[秒]
発信ダイヤル削除テーブルポーズ時間(アナログ回線2)	アナログ回線2で「削除ダイヤル設定」で登録した番号で外線発信するとき、「削除ダイヤル」の後に自動的に挿入されるポーズ時間を設定します。	0秒/1秒/2秒/3秒	1[秒]
外線発信時早期ダイヤル防止時間(アナログ回線1)	アナログ回線1で外線発信するときにダイヤルの第1桁目を送出するまでのガード時間を設定します。	600ミリ秒/ 700ミリ秒/ 800ミリ秒/ 900ミリ秒/ 1秒/1.5秒/2秒/ 2.5秒/3秒	600 [ミリ秒]
外線発信時早期ダイヤル防止時間(アナログ回線2)	アナログ回線2で外線発信するときにダイヤルの第1桁目を送出するまでのガード時間を設定します。	600ミリ秒/ 700ミリ秒/ 800ミリ秒/ 900ミリ秒/ 1秒/1.5秒/2秒/ 2.5秒/3秒	600 [ミリ秒]
ISDN回線発信時G2/G3指定(単体電話機1)	ISDN回線へ単体電話機1で発信するとき、情報要素高位レイヤ整合性(HLC)をG2/G3FAXで指定して発信するかを設定します。	する/しない	しない
ISDN回線発信時G2/G3指定(単体電話機2)	ISDN回線へ単体電話機2で発信するとき、情報要素高位レイヤ整合性(HLC)をG2/G3FAXで指定して発信するかを設定します。	する/しない	しない
ビジネスFAX接続(単体電話機1)	単体電話機1にビジネスFAXを接続しての使用有無を設定します。 これにより、FAX自動着信やFAX発信などの機能を利用することができます。	有効/無効	無効
ビジネスFAX接続(単体電話機2)	単体電話機2にビジネスFAXを接続しての使用有無を設定します。 これにより、FAX自動着信やFAX発信などの機能を利用することができます。	有効/無効	無効
ISDN回線FAX自動着信	ISDN回線への着信のとき、情報要素高位レイヤ整合性(HLC) = G2/G3FAXのとき単体電話機に着信できる機能の使用有無を設定します。 なお、本設定は「ビジネスFAX接続(単体電話機1)/ビジネスFAX接続(単体電話機2)」が有効の単体電話機に自動着信します。	する/しない	しない

ネットワーク > 詳細 > 高度な設定

設定データ名	説明	設定範囲	初期値
ルーティング情報取得先URL フレッツ・スクウェア	NTT東日本のフレッツ・スクウェアに接続するときの、ルーティング情報取得先URLを設定します。	(半角63文字以内)	http://routing.flets/routing.html
MTU設定 フレッツ・光プレミアム	フレッツ回線にフレッツ・光プレミアムを使用する場合のMTU値を設定します。	(半角数字 68 ~ 1492)	1438
MTU設定 フレッツ・光プレミアム以外	フレッツ回線にフレッツ・光プレミアム以外 (Bフレッツ、フレッツ光ネクスト) を使用する場合のMTU値を設定します。	(半角数字 68 ~ 1492)	1454
SNTPサーバアドレス	SNTPサーバからの時刻情報を取得し本商品の時刻設定を行う場合、接続先SNTPサーバのアドレスを設定します。	(半角63文字以内)	ntp.jst.mfeed.ad.jp
帯域制御	RACSLA主装置を透過する最大帯域スピードを設定します。	15Mbps / 20Mbps / 25Mbps / 30Mbps / 35Mbps	25 [Mbps]



お知らせ

- 高度な設定のシステムデータは、変更すると本商品が正しく動作しなくなるおそれがあります。

外線を1つのボタンに集約するには (SKボタン)

チャンネル数を多く契約した場合や、電話機のフレキシブルボタン数が不足した場合は、全てのIKボタンを回線種別毎にSKボタンに集約することにより、外線ボタンの数を少なくすることができます。

SKボタンを押すことにより、自動的に空いているチャンネルを選択して電話をかけることができます。

電話がかかってきたときは、SKボタンが着信点滅します。この機能を使うには、電話機にSKボタンを設定する必要があります。「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(P97)



お知らせ

- SKに含まれている回線が全て使用中のときは、SKボタンが赤点灯となりご利用できません。
- SKボタンで通話しているときは、外線ボタンに保留(個別保留/共通保留)することはできません。パーク保留する必要があります。「パーク保留を使うには」(P80)
- 設定できるSKボタンの種類は、下記の5種類があります。
 - SK(ひかり電話)
 - SK(アナログ回線1)
 - SK(アナログ回線2)
 - SK(アナログ回線1または2)
 - SK(ISDN回線)

電話番号ごとに外線ボタンを分けるには (NKボタン)

電話番号ごとに外線ボタン(NKボタン)を設定することができます。
この機能をお使いになるには、ダイヤルインを契約し、その番号が設定されている必要があります。「契約したダイヤルイン番号を設定するには」(▶P125)
電話がかかってきたときは、相手がかけてきた電話番号に対応したNKボタンが着信点滅します。



ワンポイント

●NKボタンを押して発信したとき、相手に通知する電話番号は

NKボタンを押して発信したときは、そのNKボタンに対応した電話番号を相手に通知します。「相手に通知する電話番号を変えるには」(▶P47)

電話機グループや電話機ごとに通知する番号を設定していても、NKボタンを押して発信した場合、NKボタンに設定された番号が通知されます。



お知らせ

●システムの電話回線ボタン配置パターンの中で設定されたNKボタンに着信があったときは、IKボタン(お買い求め時に設定されている外線ボタン)、SKボタンは着信点滅しません。

●グループ別発信者番号通知または内線別発信者番号通知で通知しない設定にした場合は、NKボタンを押して発信しても番号は通知されません。

●アナログ回線から発信した場合、相手に通知される電話番号は回線契約に従います。

内線ホットライン(DKボタン)を 使うには

内線番号をフレキシブルボタンに設定し、相手の内線へワンタッチ発信することができます。
この機能を使うには、電話機のフレキシブルボタンを設定する必要があります。「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(●P97)

DKボタンを設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフ 自重
10	田中	IP多機能電話機 ▼	
11	鈴木	IPコードレス電話機 ▼	
12	中村	IP多機能電話機 ▼	
13	武田	IP多機能電話機 ▼	
14	高橋	IP多機能電話機 ▼	

詳細設定

フレキシブルボタン設定

3 「フレキシブルボタン設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。



ワンポイント

- DKボタンを押すことにより、DKボタンに設定した内線からの呼び出しに応答、またはその内線を呼び出すことができます。
- DKボタンのランプ表示により、内線の状態を以下のように確認することができます。

消灯	使用していない状態/ユーザ状態が在席以外に設定されている状態
赤点灯	その内線が使用中で呼び出せない状態
赤点滅	その内線から呼び出されている状態
緑点滅*	その内線を呼び出している、もしくはその内線と通話している状態

* 点灯中、周期的に2回消える表示

4 DKボタンを設定したいボタンの
ボタン種別をクリックする

次の画面に切り替わります。

外線やマイク、パーク保留として割りつけられているボタンに設定することはできません。

ボタン番号	ボタン種別
1	IK(ひかり電話)
2	IK(ひかり電話)
3	IK(ひかり電話)
4	IK(アナログ1)
5	IK(アナログ2)
6	IK(ISDN)
7	IK(ISDN)
8	未使用
9	未使用

5 ボタン種別から「DK」を選択する

ボタン種別

6 呼出先内線番号を選択する

呼出先内線番号(DK)

7 「編集完了」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

編集完了

8 「設定」ボタンをクリックする

設定



お知らせ

- フレキシブルボタンの設定は、回線ボタン配置パターン「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(P97)の内容が優先となります。ここで設定したボタンに外線ボタンなどが後から割り付けられた場合は、ここでの設定内容は消去されます。

外線発信番号で捕捉する回線の優先順位を変更するには

外線発信番号をダイヤルしたり、オフフック自動外線捕捉により、自動的に空き外線を捕捉することができます。

・基本編「2. P多機能電話機を使う」→「外線発信番号をダイヤルして電話をかける(空き外線自動捕捉)」

・「ハンドセットをあげるだけで外線を捕捉するには」(☛P63)

その際、空き外線の中から優先的に捕捉する外線の順位を変更することができます。

外線発信番号で捕捉する回線の優先順位を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「回線捕捉優先順位設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 変更したい電話機グループを選
択し、「内容変更」ボタンをクリッ
クする

回線捕捉優先順位設定

No.	電話機グループ名称
1	グループ1
2	グループ2
3	グループ3
4	グループ4

内容変更

4 回線ごとに捕捉する優先順位を
一つ選択する

回線	捕捉除外回線	捕捉優先順位			
		1	2	3	4
ひかり電話	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アナログ回線1	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アナログ回線2	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
ISDN回線	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

設定

5 「設定」ボタンをクリックする



お知らせ

- 回線捕捉優先順位で捕捉該当になっている回線は、使用中以外に次のような状態の場合に捕捉対象回線から除外されます。
 - ・主装置と未接続であるアナログゲートウェイボックス、ISDNゲートウェイボックスの回線(アナログ回線、パターンBのフレッツ回線、ISDN回線)「ゲートウェイボックスの接続状況を確認するには」(☛P187)
 - ・ISDNゲートウェイボックスのLINEランプが点灯していない場合(ISDN回線)
 - ・IP多機能電話機のディスプレイが「IP電話未接続」と表示されている場合(ひかり電話)
- 回線捕捉優先順位で捕捉除外回線に指定した場合は、外線ボタンを押して捕捉してください。外線発信番号や指定外線捕捉特番をダイヤルしても捕捉することはできません。

相手に通知する電話番号を変えるには

ひかり電話またはISDN回線から外線発信したときに、こちらの電話番号を相手に通知しない、または通知する電話番号を変えることができます。

お買い求め時は、「回線の契約電話番号」を「通知する」設定になっています。

通知する電話番号を変えるには、ダイヤルイン/i・ナンバーを契約し、その番号が設定されている必要があります。「契約したダイヤルイン番号を設定するには」(●P125)

外線ボタンごとに変わる

NKボタンを押して発信したときは、通知する電話番号はNKボタンに対応した番号となります。「電話番号ごとに外線ボタンを分けるには(NKボタン)」(●P43)



お知らせ

- グループ別発信者番号通知または内線別発信者番号通知で「通知する」に設定した場合、NKボタンを押して発信したときはNKボタンに対応した番号が通知されます。
グループ別発信者番号通知または内線別発信者番号通知で「通知しない」に設定した場合は、NKボタンを押して発信しても番号は通知されません。

電話機グループごとに変える

1 『電話機能』ページにある項目
『グループ』をクリックする

2 「グループ名」ボタンをクリック
する

設定変更を行う対象のグループ名ボタンを
クリックします。

次の画面に切り替わります。

電話機グループごとに設定する

(1) 人事部

(2) 経理部

(3) グループ3

(4) グループ4

3 グループ別発信者番号通知
「する/しない」を選択する

グループ別発信者番号通知

する しない

通知電話番号(ひかり電話)

契約電話番号 ▼

通知電話番号(ISDN回線)

契約電話番号 ▼

4 通知する電話番号を選択する

契約電話番号および設定済みのダイヤルイン
追加番号の中から選択します。

5 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

☎電話機グループの構成を変えるには

データ設定により変更することができます。「電話機グループを変更するには」(P108)

●電話機ごとに設定されている場合は

電話機ごとに発信者番号通知が設定されている場合は、電話機ごとに設定した内容が優先となります。

●通知しない設定にした場合は

手順3で通知「しない」を選択した場合は、ダイヤル「186」を付加して発信したときのみ手順4で選択した電話番号を相手に通知します。

電話機ごとに変える

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から設定したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
10	田中	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	Fコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	F多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

フレキシブルボタン設定

状態別転送設定

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 内線別発信者番号通知「する／し
ない／電話機グループの設定に
従う」を選択する

「電話機グループの設定に従う」を選択した場合は、電話機が所属している電話機グループの設定内容に従います。

内線別発信者番号通知 する しない 電話機グループの設定に従う

通知電話番号(ひかり電話)

通知電話番号(ISDN回線)

5 通知電話番号を選択する

契約電話番号および設定済みのダイヤルイン追加番号の中から選択します。

手順4で「電話機グループの設定に従う」を選択した場合は、通知電話番号も電話機グループの設定内容に従います。そのまま手順6に進みます。

6 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

●通知しないに設定した場合

手順4で通知「しない」に設定した場合は、ダイヤル*186*を付加して発信したときのみ、手順5で選択した番号を通知します。

2
より便利に使う
(発信/着信)

特定の電話番号への発信を規制するには

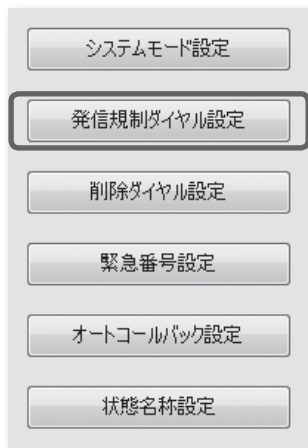
規制ダイヤルを設定し、そのダイヤルで始まる電話番号への外線発信を規制することができます。

発信規制する電話番号を設定する

1 『電話機能』ページにある項目
『詳細』をクリックする

2 「発信規制ダイヤル設定」ボタン
をクリック

次の画面に切り替わります。



3 発信を規制したい番号を入力する

市外局番なども含め、ダイヤルの先頭から半角11桁以内で設定します。

No	発信規制ダイヤル
1	045 [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
2	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
3	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
4	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []
5	[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] []

設定

4 「設定」ボタンをクリックする



ワンポイント

- ダイヤルの先頭部分の一部のみを設定することもできます。たとえば、「010」を設定した場合、「010」で始まるすべての電話番号への発信が規制されます。
- 削除ダイヤルに設定されている番号を発信規制したい場合は、削除ダイヤルからその番号を削除し、発信規制ダイヤルとして設定する必要があります。「削除ダイヤルを設定する」(●P51)
- 電話帳を使って電話をかけるときも、規制ダイヤルと一致した場合は発信規制の対象となります。



お知らせ

- 事業者識別番号自動付与機能を有効に設定しているとき、アナログ回線を捕捉してダイヤルした番号が、発信規制ダイヤルと途中まで一致している場合は発信できません。「発信時に事業者識別番号を自動的に付与するには」(●P79)

削除ダイヤルを設定する

発信規制ダイヤルで設定した電話番号の前に、例えば"184"（こちらの電話番号を相手に通知しない）を付加して発信した場合も、発信規制したいなど、先頭に付加されてもよいダイヤルを設定します。

たとえば、発信規制ダイヤル"010"、削除ダイヤル"184"が設定されている場合は、"184010"で始まる電話番号へ発信が規制されます。

2
より便利に使う
(発信/着信)

- 1 『電話機能』ページにある項目『詳細』をクリックする

- 2 「削除ダイヤル設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。



- 3 削除ダイヤルを入力する

ダイヤルの先頭から半角10桁以内で設定します。

No	削除ダイヤル
1	184
2	186
3	122
4	184122
5	186122

- 4 「設定」ボタンをクリックする

設定

指定した電話機だけ着信音を鳴らすには

電話がかかってきたとき、着信音を鳴らす電話機を指定することができます。

着信音を鳴らす電話機を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「着信鳴動」をクリックする

2 「着信鳴動設定/着番号ダイヤル
イン設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「ひかり電話着信鳴動設定」、
「アナログ回線1着信鳴動設定」、
「アナログ回線2着信鳴動設定」、
「ISDN回線着信鳴動設定」の中
から設定したい回線のボタンをク
リックする

次の画面に切り替わります。

4 「電話番号(着番号)ごとに設定す
る」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

5 「契約電話番号」を選択し、「内容
変更」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

6 「鳴動電話機指定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

着信鳴動設定/着番号ダイヤルイン設定

ひかり電話着信鳴動設定

アナログ回線1着信鳴動設定

アナログ回線2着信鳴動設定

ISDN回線着信鳴動設定

電話番号(着番号)ごとに設定する

電話番号

契約電話番号

03 00000001

03 00000002

03 00000003

03 00000004

内容変更

鳴動電話機指定

7 着信方式「放送着信」を選択する

昼/夜モードそれぞれ選択することができます。「個別着信」を選択した場合は、その内線のみに着信し、他の電話機からは外線ボタンを押しても応答できません。

[昼]	放送着信
[夜]	放送着信

8 放送着信鳴動させたい電話機にのみチェックを入れる

昼/夜モードそれぞれ指定することができます。手順7で「個別着信」を選択した場合は、鳴動電話機の設定はできません。(個別着信を非鳴動にすることはできません)

[昼]	[夜]	内線番号	内線名称	所属グループ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	田中	人事部
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	鈴木	経理部
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	中村	グループ3
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	武田	人事部
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	14	高橋	経理部

9 「編集完了」ボタンをクリックする

前の画面に戻ります。

編集完了

10 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

- お買い求め時は、すべての電話機の着信音を鳴らす設定になっています。
- 着信音が鳴っていない電話機でも、着信点滅している外線ボタンを押して応答できます。
- ダイヤルインを契約している場合は
ダイヤルインを契約している場合、追加番号ごとに着信音を鳴らす電話機を設定することができます。「相手の方がかけてきた電話番号ごとに着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)」(P54)
- IP多機能電話機、IPコードレス電話機は、該当する外線ボタンを割り付けていない場合、着信音を鳴らすことはできません。
- IP多機能電話機、IPコードレス電話機以外の電話機種別の端末は、該当する外線ボタンを割り付けていない場合でも、鳴動指定することで着信音を鳴らすことができます。
- システムモード(昼/夜モード)別に設定することができます。「システムモードを使うには(昼/夜モード切替)」(P121)
- 代理応答することにより、他の電話機からも応答することができます。(基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「別の電話機で応答するには(代理応答)」)



お知らせ

- 個別着信に指定した電話機がログアウト状態のときなどは、他の電話機への無鳴動着信となる場合があります。
- NKのみ該当する回線の外線ボタンとして設定している端末に放送着信および個別着信設定を行うとき、NKで設定した番号と異なる場合は鳴動しません。

相手の方がかけてきた電話番号ごとに 着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)

相手の方がかけてきた電話番号ごとに着信先や着信点滅するボタンを変えることができます。
この機能をお使いになるには、ダイヤルイン/i・ナンバーを契約し、その番号が設定されて
いる必要があります。「契約したダイヤルイン番号を設定するには」(P125)

電話機1台にのみ着信させる(個別着信)

電話機1台にのみ着信させます。他の電話機からは外線ボタンを押しても応答できません。

- 1 「電話機能」ページにある項目
「着信鳴動」をクリックする

- 2 「着信鳴動設定/着番号ダイヤル
イン設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 3 「ひかり電話着信鳴動設定」、
「アナログ回線1着信鳴動設定」、
「アナログ回線2着信鳴動設定」、
「ISDN回線着信鳴動設定」の中
から設定したい回線のボタンをク
リックする

次の画面に切り替わります。

- 4 「電話番号(着番号)ごとに設定す
る」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 5 電話番号を選択し、
「内容変更」ボタンをクリックする

契約電話番号および設定済みのダイヤルイン
追加番号の中から選択します。

次の画面に切り替わります。

着信鳴動設定/着番号ダイヤルイン設定



電話番号(着番号)ごとに設定する

電話番号
契約電話番号
03-####-0001
03-####-0002
03-####-0003
03-####-0004

内容変更

6 "契約電話番号の設定に従う"
チェックを外し、「鳴動電話機指
定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

 契約電話番号の設定に従う

鳴動電話機指定

7 着信方式の中から個別着信させ
たい内線番号を選択する

昼/夜モードそれぞれ指定することができます。

[昼] 内線11(個別着信) ▼

[夜] 内線14(個別着信) ▼

8 「編集完了」ボタンをクリックする

前の画面に戻ります。

編集完了

9 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

着信音を変更するには

相手の方がかけてきた電話番号ごとに着信音を設定することができます。「ダイヤルイン番号ごとに着信音を設定する」(P72)

- 手順6で"契約電話番号の設定に従う"を選択して「設定」ボタンをクリックした場合は、相手の方がダイヤルイン番号にかけてきても、契約電話番号にかけてきたときと同じ電話機に着信します。
- システムモード(昼/夜モード)別に設定することができます。「システムモードを使うには(昼/夜モード切替)」(P121)
- 代理応答することにより、他の電話機からも応答することができます。(基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「別の電話機で応答するには(代理応答)」)



お知らせ

- 発番号ダイヤルインに設定した相手からかかってきたときは、発番号ダイヤルインの設定内容が優先されます。「電話をかけてきた相手によって着信先を変えるには(発番号ダイヤルイン)」(P59)
- IP多機能電話機、IPコードレス電話機は、該当する外線ボタンを割り付けていない場合、着信音を鳴らすことはできません。
- IP多機能電話機、IPコードレス電話機以外の電話機種別の端末は、該当する外線ボタンを割り付けていない場合でも、鳴動指定することで着信音を鳴らすことができます。
- NKのみ該当する回線の外線ボタンとして設定している端末に個別着信設定を行うとき、NKで設定した番号と異なる場合は鳴動しません。
- 個別着信は、着信音を鳴らさない設定にすることはできません。
- 個別着信に指定した電話機がログアウト状態のときなどは、他の電話機への無鳴動着信となる場合があります。

相手の方がかけてきた電話番号ごとに 着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)

着信音を鳴らす電話機を設定する

- 1 「電話機能」ページにある項目
「着信鳴動」をクリックする

- 2 「着信鳴動設定/着番号ダイヤル
イン設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 3 「ひかり電話着信鳴動設定」、
「アナログ回線1着信鳴動設定」、
「アナログ回線2着信鳴動設定」、
「ISDN回線着信鳴動設定」の中
から設定したい回線のボタンをク
リックします

次の画面に切り替わります。

- 4 「電話番号(着番号)ごとに設定す
る」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 5 電話番号を選択し、「内容変更」
ボタンをクリックする

契約電話番号および設定済みのダイヤルイン
追加番号の中から選択します。

次の画面に切り替わります。

- 6 "契約電話番号の設定に従う"の
チェックを外し、「鳴動電話機指
定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

着信鳴動設定/着番号ダイヤルイン設定

ひかり電話着信鳴動設定

アナログ回線1着信鳴動設定

アナログ回線2着信鳴動設定

ISDN回線着信鳴動設定

電話番号(着番号)ごとに設定する

電話番号

契約電話番号

03|■■■■0001

03|■■■■0002

03|■■■■0003

03|■■■■0004

内容変更

契約電話番号の設定に従う

鳴動電話機指定

7 着信方式の中から「放送着信」を選択する

昼/夜モードそれぞれ選択することができます。

[昼] 放送着信

[夜] 放送着信

8 放送着信鳴動させたい電話機にのみチェックを入れる

昼/夜モードそれぞれ選択することができます。

[昼]	[夜]	内線番号	内線名称	所属グループ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	田中	人事部
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	鈴木	経理部
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	中村	グループ3
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	武田	人事部
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	14	高橋	経理部

9 「編集完了」ボタンをクリックする

前の画面に戻ります。

編集完了

10 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

- 手順6で“契約電話番号の設定に従う”を選択して「設定」ボタンをクリックした場合は、相手の方がダイヤルイン番号にかけてきても、契約電話番号にかけてきたときと同じ電話機に着信します。
- システムモード（昼/夜モード）別に設定することができます。「システムモードを使うには（昼/夜モード切替）」（P121）
- 着信音が鳴っていない電話機でも、着信点滅している外線ボタンを押して応答できます。
- 代理応答することにより、他の電話機からも応答することができます。（基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「別の電話機で応答するには（代理応答）」）



お知らせ

- NKのみ該当する回線の外線ボタンとして端末に放送着信設定を行うとき、NKで設定した番号と異なる場合は鳴動しません。

相手の方がかけてきた電話番号ごとに 着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)

着信点滅するボタンを分ける

電話番号ごとに割り付けている外線ボタン (NKボタン) をIP多機能電話機やIPコードレス電話機に設定し、電話がかかってきたときに点滅するボタンを分けることができます。

これにより、着信する電話機を分けたり、相手の方がどの電話番号にかけてきたかを区別することができます。「電話番号ごとに外線ボタンを分けるには(NKボタン)」(●P43)

電話をかけてきた相手によって着信先を変えるには(発番号ダイヤルイン)

電話をかけてきた相手(発信者電話番号)によって着信先を変えることができます。
この機能をお使いになるには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

電話機1台にのみ着信させる(個別着信)

電話機1台にのみ着信させます。他の電話機からは外線ボタンを押しても応答できません。

1 「電話機能」ページにある項目
「着信鳴動」をクリックする

2 「発番号ダイヤルイン設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「新規追加」ボタンをクリックする

すでに電話番号が登録されている場合は、選
択して「内容変更」をクリックします。

次の画面に切り替わります。

4 発信者電話番号を入力する

かけてくる相手の電話番号を、市外局番など
も含め、ダイヤルの先頭から入力します。

5 着信方式の中から個別着信させ
たい内線番号を選択する

昼/夜モードそれぞれ選択することができます。

6 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

発番号ダイヤルイン設定

新規追加

発信者電話番号

090 1111 1111

[昼]

内線10(個別着信)

[夜]

内線15(個別着信)

設定

ワンポイント

着信音を変更するには

電話をかけてきた相手によって着信音を設定することができます。「電話をかけてきた相手ごとに着信音を設定する」(P73)

- システムモード(昼/夜モード)別に設定することができます。「システムモードを使うには(昼/夜モード切替)」(P121)
- 代理応答することにより、他の電話機からも応答することができます。(基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「別の電話機で応答するには(代理応答)」)



お知らせ

- NKのみ該当する回線の外線ボタンとして端末に放送着信設定を行うとき、NKで設定した番号と異なる場合は鳴動しません。
- 個別着信は、着信音を鳴らさない設定にはできません。
- 個別着信に指定した電話機がログアウト状態のときなどは、他の電話機への無鳴動着信となる場合があります。

着信音を鳴らす電話機を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「着信鳴動」をクリックする

2 「発番号ダイヤルイン設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「新規追加」ボタンをクリックする

すでに電話番号が登録されている場合は、選
択して「内容変更」をクリックします。

次の画面に切り替わります。

4 発信者電話番号を入力する

かけてくる相手の電話番号を半角数字で市外
局番なども含め、ダイヤルの先頭から入力し
ます。

5 着信方式の中から「放送着信」を
選択する

昼/夜モードそれぞれ選択することができます。

6 放送着信鳴動させたい電話機に
のみチェックを入れる

昼/夜モードそれぞれ選択することができ
ます。

7 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

発番号ダイヤルイン設定

新規追加

発信者電話番号

090

[昼]

放送着信

[夜]

放送着信

[昼]	[夜]	内線番号	内線名称	所属グループ
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	田中	人事部
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11	鈴木	経理部
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12	中村	グループ3
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	武田	人事部
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	14	高橋	経理部

設定

ワンポイント

- システムモード(昼/夜モード)別に設定することができます。
「システムモードを使うには(昼/夜モード切替)」(P121)
- 着信音が鳴っていない電話機でも、着信点滅している外線ボタンを押して応答できます。

お知らせ

- NKのみ該当する回線の外線ボタンとして端末に放送着信設定を行うとき、NKで設定した番号と異なる場合は鳴動しません。

緊急着信鳴動の対象電話番号を設定するには

110番などの緊急番号が相手から通知されて電話がかかってきたときは、ダイヤルインなどの設定には従わずにすべての電話機に緊急着信鳴動します。
お買い求め時は、110、118、119が緊急番号に設定されています。

緊急番号を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「緊急番号設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 緊急番号を入力する

半角4桁以内で入力します。

緊急番号設定

No	緊急番号
1	110
2	119
3	118
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

設定

4 「設定」ボタンをクリックする



お知らせ

- ビジネスFAX接続が「有効」に設定されている単体電話機は鳴動しません。
- WLAN携帯電話機やSIP端末などSIP端末定義設定の緊急着信が「しない」に設定されている電話機種別の端末は鳴動しません。「緊急番号からの着信時にSIP端末を鳴動させるには」(P62)

緊急番号からの着信時にSIP端末を鳴動させるには

電話機種別がIP多機能電話機、IPコードレス電話機、単体電話機1/2以外の端末は、初期値で緊急番号からの着信があった場合に鳴動しない設定になっています。

緊急番号からの着信時にSIP端末も鳴動させる

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「SIP端末定義設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 表示されている一覧から変更し
たいSIP端末定義を選択し、「内
容変更」をクリックする

SIP端末定義設定

No	SIP端末定義名称
1	SIP端末
2	N902iL
3	SIP端末2
4	WLAN携帯電話機
5	種別5
6	種別6
7	種別7
8	種別8
9	種別9
10	種別10

内容変更

4 緊急着信「する」を選択する

緊急着信 する しない

5 「設定」ボタンをクリックする

設定

ハンドセットをあげるだけで外線を 捕捉するには

オフフックするだけで使用していない外線を自動的に選択することができます。

オフフック外線自動捕捉を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 変更したい内線番号の「オフフック
外線自動捕捉」をチェックする

電話機種別がIP多機能電話機、IPコードレス
電話機、単体電話機1/2の場合にのみ設定
することができます。

別	オフフック外線 自動捕捉	非自
▼	<input type="checkbox"/>	
▼	<input type="checkbox"/>	
▼	<input checked="" type="checkbox"/>	
▼	<input type="checkbox"/>	
▼	<input type="checkbox"/>	

設定

3 「設定」ボタンをクリックする



ワンポイント

●内線を呼び出したいときは

内線呼出や内線グループ音声呼出などを行いたいときは、内線ボタンを押してからオフフックするか、オフフックした後内線ボタンを押します。(IP多機能電話機、IPコードレス電話機) (●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「内線でお話するには(内線通話)」)

内線呼出を行いたいときは、オフフックした後に(フック)ボタンを押すかフッキング操作をすることで内線発信ができます。(単体電話機1/2) (●基本編「5. 単体電話機を使う」→「内線でお話するには(内線通話)」)



お知らせ

- オフフックで応答できる着信があるときは、着信応答が優先となります。
- 捕捉できる空き回線がない場合には、「ブーー・・・」という話中音になります。この状態で内線呼出をする場合は、一度オンフックしてから内線ボタンを押します。(IP多機能電話機、IPコードレス電話機)
- オフフック外線自動捕捉で捕捉する回線の優先順位を変更することができます。「外線発信番号で捕捉する回線の優先順位を変更するには」(●P46)

着信音が鳴っていない着信にオフフック 自動応答しないようにするには

外線ランプが着信点滅しているとき、着信音が鳴っていない場合は、ハンドセットを取りあげただけで応答しないようにすることができます。

非鳴動着信自動応答をしないように設定する

- 1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

- 2 変更したい内線番号の「非鳴動着
信自動応答」のチェックを外す

電話機種別がIP多機能電話機、IPコードレス
電話機のみ設定することができます。

線	非鳴動着信 自動応答	管電
	<input checked="" type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/>	

設定

- 3 「設定」ボタンをクリックする



ワンポイント

●着信音が鳴っているときは

非鳴動着信自動応答しないように設定した場合でも、内線からの呼び出しなどの着信音が鳴っているときは、ハンドセットを取りあげるだけで応答となります。応答せずに発信したいときは、ハンドセットを置いたまま発信操作をしてください。(●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話をかけるには(外線発信)」)

特定の相手からの着信を自動で折り返し 発信するには(オートコールバック)

あらかじめ設定した相手から電話がかかってきたとき、自動で折り返し発信することができます。これによりかけてきた相手に通話料金を負担させずに、こちらの負担で通話することができます。

この機能はかけてくる相手の方の操作も必要になります。

また、通常よりも通話料金が高くなる可能性があるのをご注意ください。

この機能をお使いになるには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。



ワンポイント

- この機能は、着信先の電話機が1台(個別着信)となる場合にのみ動作します。

個別着信する方法については、以下をご参照ください。

「指定した電話機だけ着信音を鳴らすには」(●P52)

「相手の方がかけてきた電話番号ごとに着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)」(●P54)

「電話をかけてきた相手によって着信先を変えるには(発信番号ダイヤルイン)」(●P59)

「受信したサブアドレスの内線へ個別着信させるには(ISDNのみ)」(●P157)



お知らせ

- 電話に出なかったときも通話料金がかかります

かけてきた相手に自動で折り返し発信し、相手が応答した時点から通話料金がかかります。そのため、相手が応答した後はこちらが電話に出なかった場合も通話料金がかかりますのでご注意ください。

- オートコールバックで捕捉する回線は、着信したときの回線になりますがアナログ回線1 / 2は捕捉できません。回線

が捕捉できない場合は、着信先電話機の回線捕捉優先順位設定に従います。

「外線発信番号で捕捉する回線の優先順位を変更するには」(●P46)

- 次のような設定がされている場合、この機能は利用できません。

- ・個別着信先の内線のユーザ状態が、ユーザ状態別転送設定で、圏内または圏外に転送先が設定されている場合
- ・不在着信転送が設定されている場合

特定の相手からの着信を自動で折り返し 発信するには(オートコールバック)

相手の方の電話番号を設定する

オートコールバックの対象となる電話番号を設定します。設定した電話番号が通知されて着信したときのみ、この機能が動作します。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「オートコールバック設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。



3 オートコールバック対象電話番号
を入力する

かけてくる相手の電話番号を、市外局番なども含め、ダイヤルの先頭から入力します。

No	オートコールバック対象電話番号	No	オ
1	090 ■■■■■■	17	
2		18	
3		19	
4		20	
5		21	

4 「設定」ボタンをクリックする

設定

自動折り返し発信で通話する

電話をかける方

- 1 別の場所や携帯電話などから、こちらの電話番号に電話をかける



- 2 呼出音が聞こえたら、すぐに電話を切る

オートコールバック検出時間（初期値：5秒）以内に切る必要があります

- 3 そのまま待っていると、すぐに電話がかかってくる（コールバック）



- 4 電話に出る

- 5 相手が出たらお話しする



電話を受ける方（本商品）

- 1 電話がかかってくるが、応答する前に切れる

この着信に即時応答した場合、この機能は動作せずに通話状態になります。

- 2 そのまま待っていると、再び電話がかかってくる



- 3 ハンドセットをあげてお話しする



ワンポイント

- この機能を使わずに電話をかけるには
電話をかける方の手順2で電話を切らずにそのまま呼び出した場合、この機能は動作せずに電話機に着信します。（通話料金は電話をかけてきた方の負担となります）

お知らせ

- 電話を受ける方の手順1と2の間にその電話機を使用したり、個別着信状態になると、電話をかける方の手順4で話中音となり、お話しすることができません。
- 電話をかける方の手順3のときに圏外などになった場合、電話を受ける方の手順3で呼び出し音が継続する場合があります。

2
より便利に使う
(発信/着信)

コールバック機能が動作する条件を変更する

「自動折り返し発信で通話する」(●P67)の電話をかける方の手順2に適用する時間を変更することができます。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

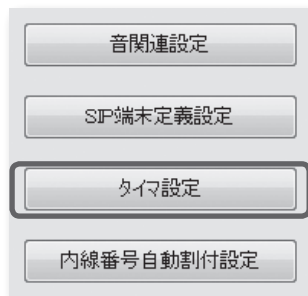
2 「タイム設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 オートコールバック検出タイム
の値を選択する

1～15秒の中から選択します。

4 「設定」ボタンをクリックする



オートコールバック検出タイム 5秒 ▾

設定

ディスプレイの「着信あり」表示を 出さないようにするには

電話に誰も応答せず、確認していない着信履歴があるとき、電話機のディスプレイに「着信あり」と表示してお知らせします。

設定により、この表示を出さないようにすることができます。

「着信あり」表示を出す条件を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線番号
を選択し、「詳細設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線自動捕捉
10	田中	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	IPコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	IP多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

3 「電話機動作設定」をクリックする

次の画面に切り替わります。

4 LCD着信あり表示を選択する

全外線着信対象	外線からの着信に 応答しなかった場合に 表示します
外線個別着信のみ対象	外線からの個別着信に 応答しなかった場合に 表示します
表示しない	「着信あり」の表示は しません

LCD着信あり表示

表示しない

5 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

設定



ワンポイント

- 表示された「着信あり」は、着信履歴で内容を確認すると消えます。
- この機能は、IP多機能電話機とIPコードレス電話機のみ対象です。

着信音を変更するには

電話がかかってきたときに鳴らす着信音を変更することができます。

内線呼出音を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「音関連設定」ボタンをクリック
する

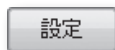
次の画面に切り替わります。

3 内線のシステム着信音を選択する

低音1～2、高音1～3の計5種類から選択
します。

4 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。



ワンポイント

●音声で呼び出す設定になっているときは、ここで設定した呼出音ではなく、音声で呼び出されます。(●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「内線でお話するには(内線通話)」)

お知らせ

●ひとつの着信に対して電話機ごとに別々の着信音で鳴動させることはできません。
この機能は、IP多機能電話機のみが対象となります。

●音声呼出に設定されている電話機が通話中着信したとき、ここで設定した着信音で呼び出されない場合があります。

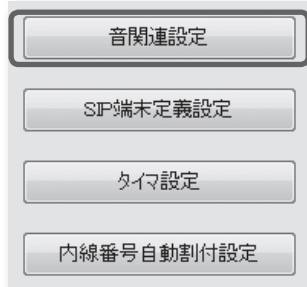
外線着信音を変更する

2
より便利に使う
(発信/着信)

- 1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

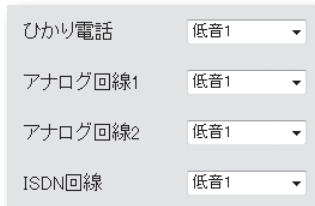
- 2 「音関連設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。



- 3 「ひかり電話」、「アナログ回線1」、
「アナログ回線2」、「ISDN回線」
の中から変更したい回線のシス
テム着信音を選択する

低音1～2、高音1～3の計5種類の中から
選択します。



- 4 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

設定

着信音を変更するには

ダイヤルイン番号ごとに着信音を設定する

ダイヤルイン番号ごとに着信音を設定することができます。

この機能をお使いになるには、ダイヤルインを契約し、その番号が設定されている必要があります。「契約したダイヤルイン番号を設定するには」(▶P125)

- 1 「電話機能」ページにある項目
「着信鳴動」をクリックする

- 2 「着信鳴動設定/着番号ダイヤル
イン設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 3 「ひかり電話着信鳴動設定」、
「アナログ回線1着信鳴動設定」、
「アナログ回線2着信鳴動設定」、
「ISDN回線着信鳴動設定」の中
から設定したい回線のボタンをク
リックする

次の画面に切り替わります。

- 4 「電話番号(着番号)ごとに設定す
る」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 5 電話番号を選択し、「内容変更」
ボタンをクリックする

契約電話番号および設定済みのダイヤルイン
追加番号の中から選択します。

- 6 着信音を選択する

システムの設定に従う、低音1～2、高音1
～3の計6種類の中から選択します。

「システムの設定に従う」を選択した場合は、
ひかり電話回線の着信音「外線着信音を変更
する」(▶P71)で鳴動します。

- 7 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

着信鳴動設定/着番号ダイヤルイン設定

ひかり電話着信鳴動設定

アナログ回線1着信鳴動設定

アナログ回線2着信鳴動設定

ISDN回線着信鳴動設定

電話番号(着番号)ごとに設定する

内容変更

着信音

システムの設定に従う ▼

設定



ワンポイント

着信先を変えるには

「相手の方がかけてきた電話番号ごとに着信先を指定するには(着番号ダイヤルイン)」(▶P54)

電話をかけてきた相手ごとに着信音を設定する

電話をかけてきた相手ごとに着信音を設定することができます。
この機能をお使いになるには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。

1 「電話機能」ページにある項目 「着信鳴動」をクリックする

2 「発番号ダイヤルイン設定」ボタン をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「新規追加」ボタンをクリックする

すでに電話番号が登録されている場合は、
選択して「内容変更」をクリックします。

次の画面に切り替わります。

4 発信者電話番号を入力する

かけてくる相手の方の電話番号を、市外局番
なども含め、ダイヤルの先頭から入力します。

5 着信音を選択する

システムの設定に従う、低音1～2、高音1
～3の計6種類の中から選択します。

「システムの設定に従う」を選択した場合は、
ひかり電話回線の着信音「外線着信音を変更
する」(●P71)で鳴動します。

6 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

発番号ダイヤルイン設定

新規追加

発信者電話番号

090 11 1111

着信音

システムの設定に従う

設定

2
より便利に使う
(発信/着信)



ワンポイント

●着信方式選択で放送着信を選択したときは、放送着信鳴動電話機の設定もあわせてが必要です。

☒着信先を変えるには

「電話をかけてきた相手によって着信先を変えるには(発番号ダイヤルイン)」(●P59)

お話し中の電話機を呼び出せるように するには(通話中着信)

内線や外線でお話し中の電話機を他の電話機から呼び出すことができます。

通話中着信できるように設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から設定したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

呼び出される側の電話機に対して設定する必
要があります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
10	田中	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	Fコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	F多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 通話中着信「する/しない」を選択
する

この機能は、IP多機能電話機とIPコードレス
電話機のみ設定できます。

通話中着信 する しない

5 「設定」ボタンをクリックする

手順3の選択画面に戻ります。

設定

ワンポイント

- 通話中着信で呼び出すときは、通常よりも小さい音で呼び出します。
- 呼び出してきた方とすぐにお話しするには
 - ・ハンドセットを置いてお話しを終了し、応答操作を行います。
 - ・内線でお話し中に呼び出されたときは、保留ボタンを押してお話ししていた方にお待ちいただき（個別保留）、呼び出した方とお話しすることができます。



お知らせ

- 保留転送操作中の電話機に通話中着信させることはできません。
- IPコードレス電話機の場合、通話中着信を「する」に設定すると、発信中および通話中に外線着信音や長時間保留警報も鳴らすことができます。

電話機の呼び出し方式を変えるには (音声呼出)

他の電話機から呼び出されたときの呼出方式を「音声」に設定することができます。
これにより、かけてきた相手が特別な操作をしなくても、音声で呼び出されます。

内線呼出方式を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

呼び出される側のIP多機能電話機に対して設
定する必要があります。

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 内線呼出方式を「信号呼出/音声
呼出」から選択する

5 「設定」ボタンをクリックする

手順3の選択画面に戻ります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
10	田中	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	IPコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	IP多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

内線呼出方式 信号呼出 音声呼出

設定

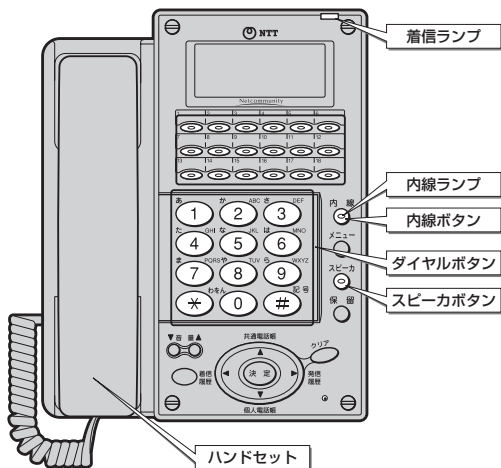


お知らせ

●音声呼出に設定できるのは、IP多機能電話機のみです。

電話機の呼び出し方式を変えるには (音声呼出)

音声で呼び出す



呼ぶ側

1 ハンドセットを置いたまま、 内線ボタンを押す

「ツーツー…」という音を確認してください。
内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

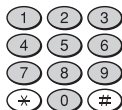
内線



2 呼び出す内線電話機の内線番号を ダイヤルボタンで押す

内線

10



3 プープーッとこの確認音が聞こえたら、 ハンドセットを取り上げて相手 手を呼び出す

12月16日(火) 1:00PM
10 田中



4 呼び出された方が応答したら、 お話しする

12月16日(火) 1:00PM
10 田中
PB



5 お話しが終わったら、ハンドセット を置く

ワンポイント

●信号(着信音)で呼び出したいときは
IP多機能電話機を呼び出しているときに信号/音声呼出
切替用の番号①を押すと、呼出方式を切り替えること
ができます。

呼ばれる側

1 電話機が音声で呼び出される



2 ハンドセットを取りあげてお話しする

12月16日(火) 1:00PM
17 佐藤
PB



ワンポイント

- マイクボタンが点灯している状態では、ハンドセットをあげずにそのままお話しすることもできます。(●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ハンドセットを置いたままお話しするには(ハンズフリー通話)」)

発信時に事業者識別番号を自動的に付与するには

アナログ回線やISDN回線で携帯電話へ発信する際にあらかじめ設定した事業者識別番号を自動的に付与して発信することができる機能です。自動付与の対象となる番号は、追加/変更することができます。

発信時に事業者識別番号を自動的に付与する

1 「電話機能」ページにある「詳細」をクリックする

2 「事業者識別番号自動付与設定」ボタンをクリックする

3 事業者識別番号自動付与機能「有効」を選択する

有効を選択した場合は、ISDN回線に対して無条件で機能が有効になります。

4 アナログ回線1/2の接続形態に合わせて「付与する」「付与しない」を選択する

ひかり電話対応機器に接続されているアナログ回線の場合は「付与しない」を選択してください。

5 事業者識別番号を入力する

東日本地域でNTT東日本を事業者に指定する場合は「0036」を入力してください。

西日本地域でNTT西日本を事業者として指定する場合は「0039」を入力してください。

6 「自動付与対象番号」を追加する場合は、入力する

7 「設定」ボタンをクリックする

事業者識別番号自動付与設定

事業者識別番号自動付与機能

有効

無効

アナログ回線1

付与する

付与しない

アナログ回線2

付与する

付与しない

事業者識別番号

0036

No	自動付与対象番号	No	自動付与対象
1	0801	12	0903
2	0802	13	0904
3	0803	14	0905
4	0804	15	0906
5	0805	16	0907
6	0806	17	0908

設定



ワンポイント

- 「事業者識別番号自動付与機能」を「有効」にすることでISDN回線を利用した発信では事業者識別番号の自動付与が可能です。



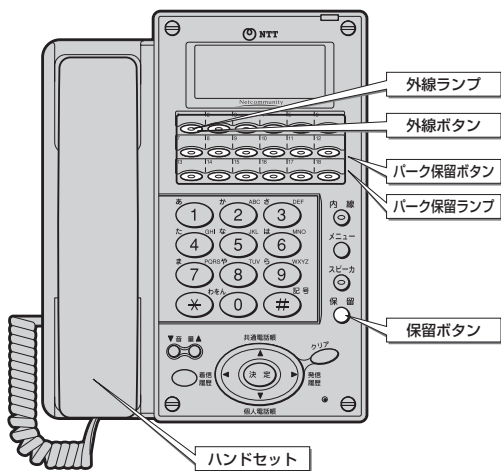
お知らせ

- 事業者識別番号自動付与機能は初期値で無効になっています。
- 単体電話機1/2からPB回線契約のアナログ回線1/2を捕捉した場合には、この機能は利用できません。
- IP多機能電話機、IPコードレス電話機から事業者識別番号が自動付与され発信した場合は、ディスプレイに“(事)”と表示されます。
- 事業者識別番号自動付与機能が有効になっている場合、事業者識別番号は、発信規制の対象外になります。
- 事業者識別番号自動付与機能を有効に設定しているとき、アナログ回線を捕捉してダイヤルした番号が、発信規制ダイヤルと途中まで一致している場合は発信できません。「特定の電話番号への発信を規制するには」(P50)

パーク保留を使うには

お話しを中断してパーク保留ボタンに保留し、他の電話機から電話に出ることができます。

電話を取りつぐ(パーク保留)



呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、パーク保留ボタンを押してハンドセットを置く

相手の方には保留メロディが流れます。
外線ランプが周期的に緑で2回点灯します。

内線



2 パーク保留ボタンの番号を、取りつぐ相手の方に口頭で伝える



パーク〇番にお電話です。



お知らせ

パーク保留ボタンは、フレキシブルボタンを設定する必要があります。「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(P97)

- 電話を取りつぐには、保留操作を行う電話機と応答する電話機で同じパーク保留ボタンが設定されている必要があります。
- SKボタンで通話しているときは、パーク保留ボタンの代わりに保留ボタンを押してパーク保留することもできます。
- パーク保留した通話はダイヤルして転送することができません。ダイヤルして転送する場合は、個別保留/共通保留する必要があります。(基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「相手の方に待っていただくには(保留)」)
- 外線通話を保留したとき、保留操作した電話機以外で応答すると、表示される通話時間はリセットされます。
- 無線端末で操作したとき、電波の状況により正しく通信が行えず、保留や応答が正しく動作しない場合があります。

呼び出される方

- 1 別のIP多機能電話機のハンドセットを取りあげる



- 2 保留中のパーク保留ボタンを押して、相手の方とお話する

12月16日(火) 1:00PM
東京支社 0-01
PB



外線での通話を別の外線へ転送するには (外外転送)

お買い求め時は、外線との通話を別の外線へ転送できない設定になっています。できるようにするには以下の設定が必要です。

外線転送できるように設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

2 一覧表の中から設定したい外線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

外線番号	外線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
10	田中	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	IPコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	IP多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 保留転送（外線/外線）「許可す
る/許可しない」を選択する

「許可する」を選択すると、手順2で選択した
外線で外線転送できるようになります。

保留転送(外線/外線)

許可する

許可しない

5 「設定」ボタンをクリックする

設定

ワンポイント

●転送の操作については、基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「保留した通話を転送するには」をご参照ください。



お知らせ

- 転送した電話の通話が終わるまで電話料金がかかりますのでご注意ください。
- アナログ回線との通話をもう1回線のアナログ回線へ転送することはできません。
- 転送したあとに、その通話をモニタしたり割り込んだりすることはできません。

保留音を変更するには

通話を保留したときに相手の方にお聞かせする保留音は、2種類の中から選択することができます。

保留音を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「音関連設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 保留音を選択する

保留音1 / 保留音2から選択します。

4 「設定」ボタンをクリックする



お知らせ

- この機能は、ひかり電話、アナログ回線1、アナログ回線2、ISDN回線で通話中に保留した場合とIP多機能電話機、IPコードレス電話機、単体電話機1/2が内線通信中に相手から保留された場合に流れる保留音に適用されます。

保留忘れを防止するには (長時間保留警報)

保留して相手の方をお待たせしている状態が一定時間以上続いたとき、保留操作を行った電話機に音でお知らせすることができます。

保留警報音が鳴動している電話機は、ハンドセットを取り上げると保留していた相手との通話に戻ります。

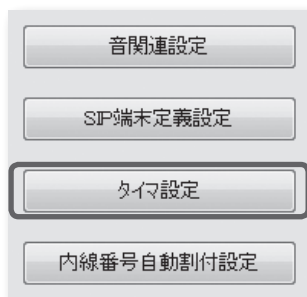
保留警報音を鳴らすまでの時間を設定する

保留操作を行ってから保留警報音を鳴らすまでの時間を設定します。

1 『電話機能』ページにある項目
『詳細』をクリックする

2 「タイマ設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。



3 保留警報 - 送出タイマを選択する

送出しない	保留警報音を鳴らしません
10秒～10分	保留操作後、指定時間経過後に保留警報音を鳴らします

保留警報 - 送出タイマ 30秒 ▼

4 「設定」ボタンをクリックする

設定



お知らせ

- この機能は、保留操作を行ったIP多機能電話機とIPコードレス電話機が対象になります。
- IPコードレス電話機は保留警報 - 送出タイマの設定を行っても最初の保留警報音を鳴らすまでに約4秒かかる場合があります。

保留警報音が鳴り続ける時間を設定する

鳴り始めた保留警報音が停止するまでの時間を設定します。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「タイム設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。



3 保留警報－鳴動時間を選択する

継続する	保留状態が続いている間、保留警報音が鳴り続けます
1～60秒	保留警報音が鳴りだしてから、指定時間経過後に停止します

保留警報－鳴動時間 15秒

4 「設定」ボタンをクリックする

設定



お知らせ

- IPコードレス電話機が発信中および通話中の場合、長時間保留警報は通話中着信でお知らせします。「お話し中の電話機を呼び出せるようにするには(通話中着信)」(P74)

また、保留警報－鳴動時間は「継続する」または「4秒」以上に設定する必要があります。

保留忘れを防止するには (長時間保留警報)

停止した保留警報音を再び鳴らすまでの時間を設定する

保留警報音は一旦停止した後も、指定した周期で再び鳴らすことができます。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「タイマ設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。



3 保留警報－鳴動周期を選択する

1 回のみ警報音送出	停止した保留警報音の再送出はしません
10秒～10分	保留警報音が停止し、指定時間後も保留状態が続いていた場合は再送出します

保留警報－鳴動周期 1分

4 「設定」ボタンをクリックする

設定

ワンポイント

- 以下の場合、保留警報音は停止します。
 - ・保留した電話機で応答して通話状態に戻ったとき
 - ・電話を取りつがれた方が応答したとき
 - ・オンフック転送などにより、相手の方と転送された方が通話状態になったとき
 - ・お待ちいただいていた相手の方が通話を終了させたとき



お知らせ

- IPコードレス電話機が発信中および通話中の場合、長時間保留警報は通話中着信でお知らせします。「お話し中の電話機を呼び出せるようにするには(通話中着信)」(P74)

共通電話帳を使うには

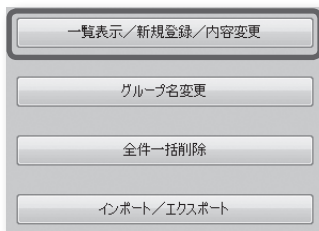
よくかける相手の方の名前や電話番号をすべての内線電話機で共有することができます。
350件まで登録することができます。

共通電話帳を登録／編集／削除する

1 「電話帳」ページにある項目
「共通電話帳」をクリックする

2 「一覧表示／新規登録／内容変更」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。



3 「新規登録」ボタン、「内容変更」
ボタン、「削除」ボタンをクリックする

「内容変更」、「削除」の場合は、1件選択して
からクリックします。

「新規登録」、「内容変更」のときは次の画面に
切り替わります。



4 登録／変更したい内容を入力す
る

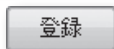
メモリ番号、名称、読み(カナ)は必ず入力す
る必要があります。

メモリ番号は000～349の範囲内、名称は
全角10文字分、読み(カナ)は半角20文字登
録できます。

外線電話番号は、たとえ同一市内であっても
市外局番も含めて登録する必要があります。

メモリ番号	<input type="text" value="004"/>
名称	<input type="text" value="山本司郎"/>
読み(カナ)	<input type="text" value="ヤマモトシロウ"/>
内線番号	<input type="text"/>
外線電話番号1	<input type="text" value="03-3555-1111"/>
外線電話番号2	<input type="text"/>
外線電話番号3	<input type="text"/>
グループ	<input type="text" value="共通GR2"/>

5 「登録」ボタンをクリックする





ワンポイント

- 共通電話帳で電話をかけるには
(☛基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話帳で電話をかけるには」参照)
- 電話帳に登録してある相手からの電話番号が表示されたときは、電話帳に登録した名前も表示します。このときの表示の優先順位は、個人電話帳、共通電話帳の順です。
- 個人電話帳も同様の手順で登録／編集／削除することができます。



お知らせ

- 電話機の操作で共通電話帳を登録／編集／削除することはできません。
- 名称やグループ名には、文字コード：ISO-2022-JPで規定されているものを登録してください。第1水準、第2水準以外の漢字や特殊文字などが含まれていると、電話機のディスプレイに正常に表示できず「※」に置き換えて表示する場合があります。
- 以下の半角文字を名称やグループ名として使うことができます。
- . @ () * # (スペース)
- 内線番号を登録した場合、その内線電話機(IP多機能電話機、IPコードレス電話機)のディスプレイに名称を全角8文字分まで表示します。
電話機ごとに設定した内線名称「電話機ごとに名前を設定するには」(☛P113) よりもここで設定した名称を優先して表示します。

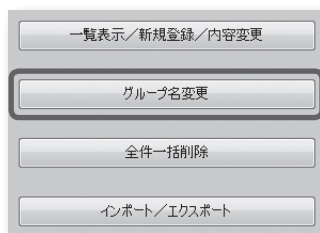
グループ名を変える

電話帳データにはそれぞれグループを設定することができ、グループ検索をすることができます。グループ名は自由に変更することができます。

1 「電話帳」ページにある項目 「共通電話帳」をクリックする

2 「グループ名変更」ボタンを クリックする

次の画面に切り替わります。



3 グループ名を入力する

全角7文字分登録できます。
複数のグループを同じ名前にすることはできません。

No	グループ名
1	社員
2	取引先
3	共通GR3
4	共通GR4
5	共通GR5
6	共通GR6
7	共通GR7

4 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

●個人電話帳も同様の手順でグループ名を変更することができます。

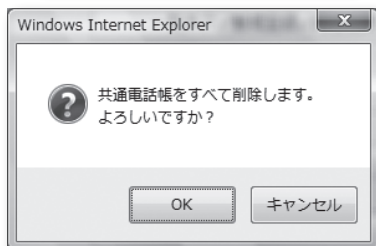
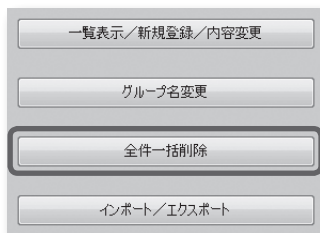
電話帳データをすべて消去する

共通電話帳に登録されているデータをすべて消去します。

1 「電話帳」ページにある項目
「共通電話帳」をクリックする

2 「全件一括削除」ボタンをクリック
する

3 確認画面が表示されたら
「OK」ボタンをクリックする



ワンポイント

●個人電話帳も同様の手順ですべて消去することができます。

電話帳データをパソコンにダウンロードする(エクスポート)

電話帳データをCSV (カンマ区切り)形式のテキストファイルにしてパソコンにダウンロードします。

1 「電話帳」ページにある項目
「共通電話帳」をクリックする

2 「インポート/エクスポート」ボタン
をクリックする

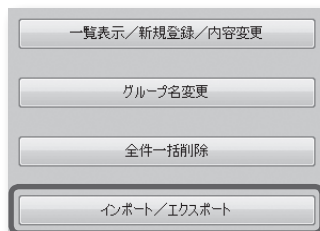
次の画面に切り替わります。

3 「エクスポート」ボタンをクリック
する

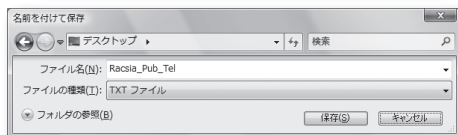
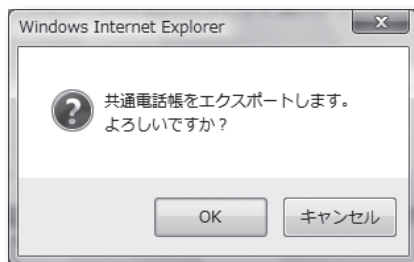
4 確認画面が表示されたら
「OK」ボタンをクリックする

5 「保存」ボタンをクリックする

6 ファイル名と場所を指定して
「保存」ボタンをクリックする



エクスポート



ワンポイント

- 個人電話帳も同様の手順でエクスポートすることができます。
- ダウンロードしたCSV (カンマ区切り)形式のテキストファイルは、パソコンで編集することができます。「電話帳データをパソコンで編集する」(P92)

共通電話帳を使うには

電話帳データをパソコンで編集する

Microsoft社のWindows用アプリケーション・Excelを使って、エクスポートした電話帳データを編集することができます。

1 Excelを起動する

2 メニューから[開く]を選択する

3 プルダウンメニューから
[すべてのファイル]を選択する

4 エクスポートした電話帳データ
のファイル名を指定する

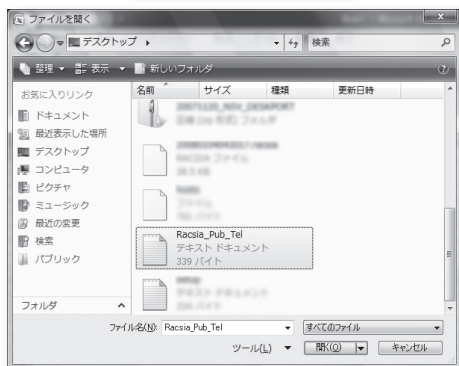
表示されない場合は、ファイルを保存してある場所を指定します。

5 [開く]をクリックする

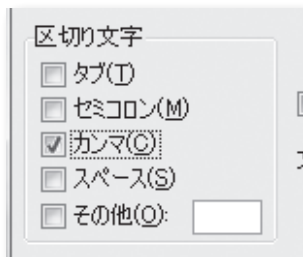
テキスト ファイル ウィザード 1/3が表示されます。

6 [次へ]をクリックする

テキスト ファイル ウィザード 2/3が表示されます。



次へ(N) >

7 「区切り文字」の中から「カンマ」のみにチェックを入れる

次へ(N) >

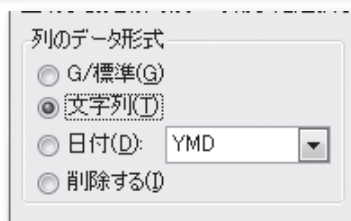
8 [次へ]をクリックする

テキスト ファイル ウィザード 3/3が表示されます。

9 外線電話番号1～3の列を選択する

キーボードの[Shift]キーを押しながらマウスで選択し、左クリックします。

	G/標準	G/標準	G/標準	G/標準
号	外線電話番号1	外線電話番号2	外線電話番号3	グループ
	065			支社
	045	030	090	社員
	068			社員

10 「列のデータ形式」の中から「文字列」を選択する

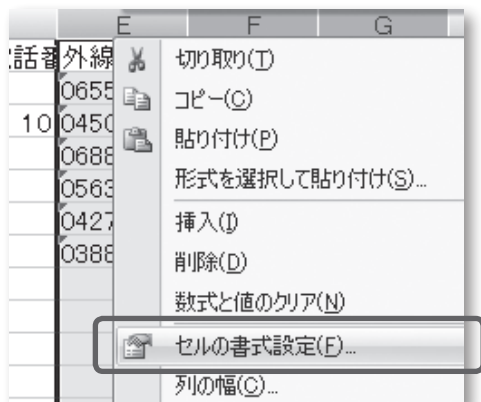
完了(F)

11 [完了]をクリックする

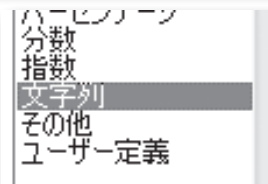
共通電話帳を使うには

12 ExcelのE、F、G列を選択した状態で右クリックし、「セルの書式設定」を選択する

キーボードの[Shift]キーを押しながらマウスで選択し、左クリックします。



13 「分類」の中から「文字列」を選択する



14 編集する

メモリ番号、名称、読み(カナ)は必ず入力する必要があります。

メモリ番号は半角で0～349の範囲内、名称は全角10文字分、読み(カナ)は半角20文字まで登録できます。

外線電話番号は、たとえ同一市内であっても市外局番も含めて半角で登録する必要があります。

また、グループ名はすでに登録されているもののみ入力してください。

A	B	C	D	E
メモリ番号	名称	フリガナ	内線電話番号	外線電話番号
0	関西支店	カンサイテン		06
1	鈴木一郎	スズキイチロウ	11	045
2	中野次郎	ナカノジロウ		06
3	渡邊三郎	ワタナベサブロウ		0563
4	山本司郎	ヤマモトシロウ		0427
30	第二営業部	ダイニエイキョウブ		03
24	横浜支社	ヨコハマシヤ		045

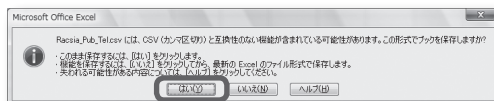
15 メニューから[名前を付けて保存]を選択する

16 ファイルの種類を「CSV (カンマ区切り)」に指定する



17 [保存]をクリックする

18 [はい]をクリックする



19 Excelを終了する

終了時に表示される確認画面では[いいえ]をクリックします。



お知らせ

- 編集手順を誤ると、電話番号の初頭桁が削除されてしまう場合があります(例：市外局番「045」が「45」として認識される)
- 編集した内容を再編集する場合は、ファイルの拡張子を.txtに変えた後に、手順1から行ってください。
- 不正な文字列で編集(例えば、読み(カナ)や電話番号に全角文字を入力など)した場合、インポートできなくなります。
- 入力範囲以上の文字列で編集(例えば、外線電話番号に33桁以上を入力など)した場合、インポートできなくなります。

共通電話帳を使うには

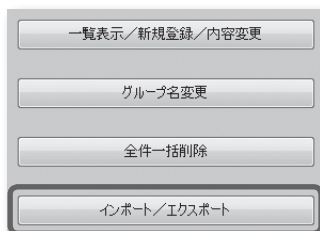
パソコンにある電話帳データを書き込む(インポート)

パソコンで保存または編集したCSV (カンマ区切り)形式のテキストファイルの内容を共通電話帳に書き込みます。

1 「電話帳」ページにある項目
「共通電話帳」をクリックする

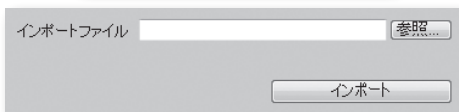
2 「インポート/エクスポート」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。



3 「参照」ボタンをクリックする

インポートするファイルを選択します。



4 「インポート」ボタンをクリック
する

5 確認画面が表示されたら
「OK」ボタンをクリックする



ワンポイント

●個人電話帳も同様の手順でインポートすることができます。



お知らせ

- インポートした場合、共通電話帳に登録されているすべての電話帳データが書き換わりますのでご注意ください。
- インポートする前に、保存または編集したテキストファイルに記述されているグループ名と本商品で使用しているグループ名が一致しているかを確認してください。一致していないものが含まれている場合、「グループ名を変える」で変更し、同じグループ名に合わせてからインポートする必要があります。「グループ名を変える」(P89) (例えば、CSV (カンマ区切り)形式のテキストファイルに「営業部」というグループ名が含まれている場合、インポートする前に本商品の電話帳グループ名に「営業部」を登録しておく必要があります)

電話機にフレキシブルボタンを設定するには

新たにフレキシブルボタンを設定したり、配置を変えたりすることができます。
電話機にボタンを設定するには、まず「回線ボタン配置パターン」を作成し、それを電話機グループに設定します。
お買い求め時は、すべての電話機が「電話機グループ1」に所属し、電話機グループ1の回線ボタン配置パターンは「パターン1」に設定されています。

回線ボタン配置パターンを作成する

各パターンごとに、IP多機能電話機/IPコードレス電話機/SIP端末/WLAN携帯/N902iL/単体電話機のボタンの配置をそれぞれ設定します。

1 『電話機能』ページにある項目
『回線ボタン』をクリックする

2 変更したいパターンを選択して
『内容変更』ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

No	回線ボタン配置パターン名称
1	パターン1
2	パターン2
3	パターン3
4	パターン4

内容変更

経理部用

3 回線ボタン配置パターンの名称
を入力する

全角7文字、半角14文字以内で入力します。

4 これから作成するパターンをどの
電話機グループで使用するか
選択し、「次へ」ボタンをクリックする

複数の電話機グループで使用する場合は、
複数のグループにチェックを入れます。

- 人事部
- 経理部
- グループ3
- グループ4

5 IP多機能電話機のボタン配置パ
ターンを設定し、「次へ」ボタ
ンをクリックする

NKに設定するときは、電話番号を選択しま
す。(契約電話番号およびダイヤルイン追加
番号の中から選択します)

次の画面に切り替わります。

ボタン 番号	ボタン種別	関連情報
1	K(ひかり電話) ▼	
2	K(ひかり電話) ▼	
3	K(ひかり電話) ▼	
4	▼	
5	PH ▼	
6	▼	

電話機にフレキシブルボタンを設定するには

6 IPコードレス電話機のボタン配置パターンを設定し、「次へ」ボタンをクリックする

設定方法は手順5と同様です。

次の画面に切り替わります。

次へ

7 SIP端末*のボタン配置パターンを設定し、「次へ」ボタンをクリックする

設定方法は手順5と同様です。

次の画面に切り替わります。

次へ

* SIP端末/WLAN携帯/N902iL

8 単体電話機のボタン配置パターンを設定し、「次へ」ボタンをクリックする

設定方法は手順5と同様です。

次の画面に切り替わります。

次へ

9 設定内容を確認し、「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

- 回線ボタン配置パターン設定では、フレキシブルボタンに以下のものを割り付けることができます。

IK	1つの回線チャンネルごとに1つのボタンを割り付けます。
SK	回線毎のチャンネルを集約し、1つのボタンで割り付けます。
NK	電話番号(契約電話番号、ダイヤルイン番号)ごとにボタンを割り付けます。
PH(パーク保留)	同じパーク保留ボタンを割り付けた*1電話機で再応答することができます。
マイク	ハンズフリー通話を行うためのボタンを割り付けます。

*1 複数のパーク保留ボタンを割り付けた場合は、ボタン番号の小さいものから順にパーク1、パーク2、パーク3…となります。

- 回線ボタン配置パターンで設定されていない(空いている)ボタンには、電話機ごとに以下のものを割り付けることができます。

DKボタン	「内線ホットライン(DKボタン)を使うには」(●P44)
ワンタッチボタン	●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ワンタッチボタンを登録するには」 「Webブラウザでワンタッチボタンを登録するには」(●P102)



ワンポイント

- 外線ボタン(IK/SK/NK)の特徴は以下の通りです。

	IK (個別回線)	SK (索線回線)	NK (ナンバー回線)
運用形態	契約チャンネル数が少ないユーザ向けの運用形態です。 ^{*1}	契約チャンネル数が多いユーザ向けの運用形態です。	ダイヤルインを契約し、複数の電話番号を使い分けたいユーザ、電話番号ごとに着信数を制限したいユーザ向けの運用形態です。
利点	チャンネルと一対一となるため、ボタンのランプにより使用状況を細かく確認することができます。 ^{*2}	電話機のボタンの数を少なくすることができます。	外線発信時は、押すボタンにより相手に通知する発信者電話番号を変えることができます。外線着信時は、どのボタンのランプが点滅するかによって相手かどの電話番号にかけてきたのかを知ることができます。回線ボタン配置パターンごとに異なるNKボタンを設定することにより、相手がかけてきた番号ごとに着信電話機を分けることができます。また、電話番号ごとに同時に使用するチャンネル数を制限することができます。 ^{*3}
欠点	契約チャンネル数分の割り付けが必要となるため、電話機のボタンの数が不足する可能性があります。	チャンネルごとに使用状況を知ることができません。通話はパーク保留しかできません。 ^{*4}	チャンネル数を制限しない運用にしたい場合、契約チャンネル数分の割り付けが必要になるため、電話機のボタンの数が不足する可能性があります。
注意事項	契約チャンネル数割り付けする必要があります。SKとの併用は推奨しません。ISDN回線の場合、1回線で2通話できるので2つ割り付ける必要があります。	IKとの併用は推奨しません。	システムの回線ボタン配置パターンの1つにNKが設定されている時にそのNKに対応する番号に着信があった場合には、IK、SKには着信表示しません。IK、SKに着信表示したい場合は、システムの全ての回線ボタン配置パターンからNKを削除してください。

※1 お買い求め時はIKボタンが自動的に割り付けられます。

※2 たとえば、3つのIKが赤点灯していれば、契約したチャンネルのうち3チャンネルが使用中であると確認できます。

※3 たとえば、同じ電話番号のNKボタンを2つ割り付けた場合、その電話番号への着信は2つに制限されます。

※4 IP多機能電話機、IPコードレス電話機以外の端末では、個別保留になります。



お知らせ

- 外線発信番号やオフフック自動外線捕捉で捕捉する回線の優先順位は、回線捕捉優先順位設定でグループ毎に設定します。「外線発信番号で捕捉する回線の優先順位を変更するには」(P46)
- 内線電話機ごとにDKボタンやワンタッチボタンが割り付けられているボタンを手順5～8で選択した場合、そこに外線ボタンなどを新たに割り付けるとDKボタンやワンタッチボタンの設定内容は消去されます。
- 回線ボタン配置パターンの(SIP端末/WLAN携帯/N902iL)で設定したデータは、内線設定でSIP端末定義設定で設定されている電話機種別を選択した場合に適用されます

電話機にフレキシブルボタンを設定するには

作成した配置パターンを使用する電話機グループを設定する

「回線ボタン配置パターンを作成する」(P97)の手順4で設定済みの場合は、必要ありません。

- 1** 「電話機能」ページにある項目
「回線ボタン」をクリックする

- 2** 作成した回線ボタン配置パターンを選択して「内容変更」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

No	回線ボタン配置パターン名称
1	パターン1
2	経理部用
3	パターン3
4	パターン4

- 3** そのパターンで使用したい電話機グループをチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

複数の電話機グループをチェックして、同じボタン配置パターンに設定することもできます。

人事部
 経理部
 グループ3
 グループ4

次へ

- 4** 確認画面になるまで「次へ」をクリックして進む

次の画面に切り替わります。

- 5** 「設定」ボタンをクリックする

設定

電話機グループごとのボタン配置パターンを変更する

電話機グループの設定でも、配置パターンを指定することができます。「電話機グループを変更するには」(P108)

1 「電話機能」ページにある項目
「グループ」をクリックする

2 設定変更を行う「グループ名」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

電話機グループごとに設定する

(1)人事部

(2)経理部

(3)グループ3

(4)グループ4

3 回線ボタン配置パターンを選択
する

回線ボタン配置パターン

パターン2

4 「設定」ボタンをクリック

設定

2 より便利に使う
(電話機能)

Webブラウザでワンタッチボタンを登録するには

ワンタッチボタンをWebブラウザで登録することができます。

ワンタッチボタンを登録する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
10	田中	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	Fコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	F多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

フレキシブルボタン設定

3 「フレキシブルボタン設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

4 ワンタッチボタンを設定したい
ボタンのボタン種別をクリック
する

次の画面に切り替わります。

回線やパーク保留、マイクとして割りつけら
れているボタンに設定することはできませ
ん。

5 ボタン種別から「ワンタッチ」を
選択する

ボタン番号	ボタン種別
10	未使用
11	未使用
12	未使用
13	未使用
14	未使用

ボタン種別

ワンタッチ

6 ワンタッチボタン種別を選択する

"内線グループ音声呼出"を選択した場合は、呼び出し対象とする電話機グループも選択します。

"代理応答"を選択した場合は、応答の対象とする電話機グループも選択します。

"操作登録"を選択した場合は、画面上のダイヤルや"スピーカ"、"内線"などを、合計32操作以内で登録します。

管理者電話機に指定されている内線の場合は、"システムモード切替"と"メンテナンス"を選択することもできます。

ワンタッチボタン種別

ユーザー状態変更

7 「編集完了」ボタンをクリックする

一覧画面に切り替わります。他のボタンについても変更する場合は、手順4に戻ります。

編集完了

8 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

- ワンタッチボタンは、電話機の操作で登録することもできます。(●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ワンタッチボタンを登録するには」)



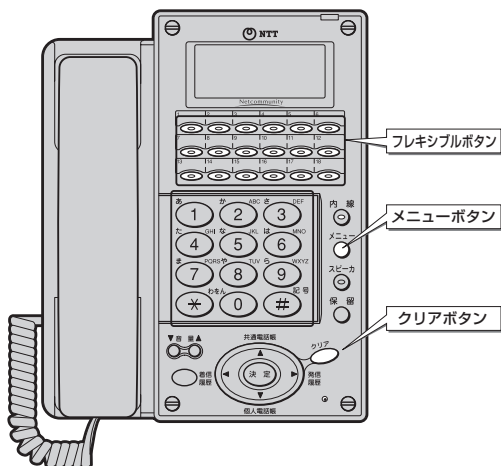
お知らせ

- この機能は、IP多機能電話機とIPコードレス電話機が対象です。
- フレキシブルボタンの設定は、回線ボタン配置パターン「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(●P97)の内容が優先となります。ここで設定したボタンに外線ボタンなどが後から割り付けられた場合は、ここでの設定内容は消去されます。

電話機のフレキシブルボタンの 設定内容を確認するには

フレキシブルボタンに何が設定されているのかを電話機のディスプレイで確認することができます。

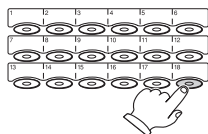
フレキシブルボタンの設定内容を確認する



1 ハンドセットをおいたまま、
メニューボタンを押す



2 内容を表示させたいフレキシブルボ
タンを押す



3 設定されている内容を確認する



IKは「個別回線」、SKIは「素線回線」、NKは「ナンバー回線」と表示し、2段目に電話番号を表示します。

ワンポイント

- フレキシブルボタンの設定内容が表示されているとき「クリア」ボタンを押すと空き状態に戻ります。



お知らせ

- 何も設定されていないボタンを選択しても、メニュー表示から変化しません。

使用する内線番号を追加／変更／削除するには

本商品では、内線電話機ごとに一つの内線番号を割り付けて使用します。
割り付けることができる内線番号は、システムデータの内線番号一覧に設定されている番号のみです。
お買い求め時は、内線10～29が設定されていますが、これを変更することができます。

内線番号を追加する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 「新規追加」ボタンをクリック
する

すでに内線番号が20個登録されている場合は、それ以上追加できません。「内線番号を削除する」(▶P107)

3 内線番号を入力する

空いている最若番の番号が初期表示されます。
指定する場合は、10～69の中から、使用されていない番号を半角で入力します。

4 電話機種別を選択する

5 内線番号自動割付を選択する

この内線番号を自動割付対象にするかどうかを選択します。

6 「設定」ボタンをクリックする

新規追加

内線番号

29

電話機種別

IP多機能電話機

内線番号自動割付

この内線番号を自動割付対象にする

設定



ワンポイント

内線番号を自動割り付けするには

手順5の設定のほかに、内線番号自動割付機能を「有効」に設定している必要があります。「内線番号自動割付を変更するには」(▶P111)



お知らせ

●追加した内線は、電話機グループ1の内線として設定されます。「電話機グループを変更するには」(▶P108)

使用する内線番号を追加／変更／削除するには

内線番号を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧の中から変更したい内線の
内線番号を入力する

10～69の中から、使用されていない番号
を半角で入力します。

3 「設定」ボタンをクリックする

内線番号	内線名称	電話機種別	オフック外線 自動捕捉
10	田中	IP多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	IPコードレス電話機 ▼	<input type="checkbox"/>
12	中村	IP多機能電話機 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	IP多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>
14	高橋	IP多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	IP多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>

設定



お知らせ

- すでにログインしているIP多機能電話機、IPコードレス電話機の内線番号を変更した場合、その電話機はログアウトとなり、新しい内線番号でログインし直す必要があります。「内線番号を指定してログインする」(▶P215)
- 内線番号を変更した場合、その内線番号を設定している内線ホットライン(DKボタン)や着信鳴動設定などを確認してください。
- 内線番号を変更した場合、その内線番号の名称や状態別転送設定、個人電話帳の内容なども削除されます。

内線番号を削除する

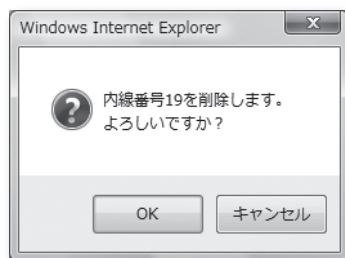
1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

16	木村	IP多機能電話機	▼	<input type="checkbox"/>
17	佐藤	IP多機能電話機	▼	<input type="checkbox"/>
18	三浦	IP多機能電話機	▼	<input type="checkbox"/>
19		IP多機能電話機	▼	<input type="checkbox"/>

2 削除したい内線番号を選択し、
「削除」ボタンをクリックする

削除

3 確認画面が表示されたら
「OK」ボタンをクリックする



お知らせ

- すでにログインしているIP多機能電話機、IPコードレス電話機の内線番号を削除した場合、ログアウトになります。
- 内線番号を削除した場合、その内線番号の名称や状態別転送設定、個人電話帳の内容なども削除されます。
- 内線番号を削除した場合、他の電話機でその内線番号を設定している内線ホットライン (DKボタン) を削除してください。

電話機グループを変更するには

電話機のグループを組み、グループを指定して一斉に電話機を呼び出したり（ページング）、代理応答することができます。

また、電話機ごとの外線ボタンやパーク保留ボタン配置は、電話機グループごとに設定する外線ボタン配置パターンによって決まります。

グループごとに所属する内線を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「グループ」をクリックする

2 設定変更を行う「グループ名」ボ
タンをクリックする

次の画面に切り替わります。

電話機グループごとに設定する

(1)グループ1

(2)グループ2

(3)グループ3

(4)グループ4

3 このグループに所属させたい内
線を選択する

選択した内線の所属先は、他グループから選
択したグループに自動的に変更されます。

所属内線番号

<input type="checkbox"/> 10：田中	<input checked="" type="checkbox"/> 17：佐藤
<input checked="" type="checkbox"/> 11：鈴木	<input checked="" type="checkbox"/> 18：三浦
<input checked="" type="checkbox"/> 12：中村	<input type="checkbox"/> 19：
<input type="checkbox"/> 13：武田	<input type="checkbox"/> 20：
<input checked="" type="checkbox"/> 14：高橋	<input type="checkbox"/> 21：

4 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

- どの電話機も必ずいずれかの電話機グループに所属します。
- お買い求め時は、すべての電話機が「グループ1」に設定されています。
- 1台の電話機が複数のグループに所属することはできません。
- 全グループまとめて設定するには
手順1の後、「すべてのグループをまとめて設定する」ボタンをクリックします。
- 所属しているグループから内線番号を削除することはできません。所属させたい電話機グループ画面で内線番号を選択することで、元の電話機グループから自動的に削除されます。

電話機グループ名を変更する

- 1 「電話機能」ページにある項目
「グループ」をクリックする

- 2 設定変更を行う「グループ名」ボ
タンをクリックする

次の画面に切り替わります。

電話機グループごとに設定する

(1)グループ1

(2)グループ2

(3)グループ3

(4)グループ4

- 3 電話機グループ名称を入力する

全角7文字、半角14文字以内で入力します

電話機グループ名称

経理部

- 4 「設定」ボタンをクリックする

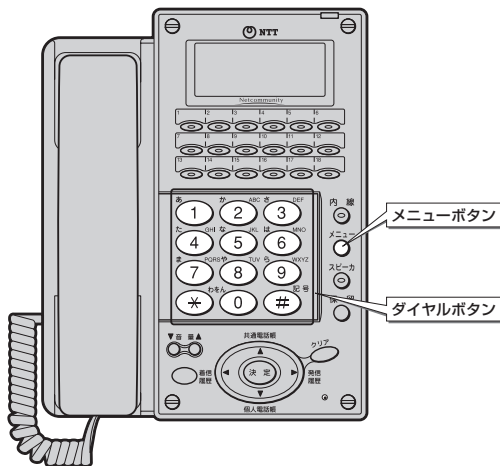
設定

電話機の内線番号を変更するには

電話機の内線番号を10～69の範囲内で電話機で変更することができます。

電話機の内線番号を変更する

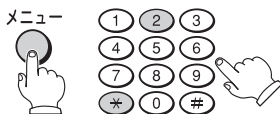
電話機に割り付けられた内線番号を変更します。



1 使用したい内線番号をシステムデータ設定する

「使用する内線番号を追加／変更／削除するには」
(▶P105)

2 内線番号を変更したい電話機でメニュー*②の順にボタンを押す



3 パスワードを入力して決定を押す

ログアウト
内線番号:10
パスワード:-----

パスワードが設定されていない場合は、そのまま決定ボタンを押します。

4 ログイン画面が表示されたら、変更したい内線番号を入力してログインする

ログインして下さい
内線番号:11--
パスワード:-----

「内線番号を指定してログインする」(▶P215)

ワンポイント

☑ 割り付けることができる内線番号は、システムデータの内線一覧に設定されている番号のみです。
設定を変更することによって内線10～69の範囲内で内線番号を変更することができます。「使用する内線番号を追加／変更／削除するには」(▶P105)

内線番号自動割付を変更するには

本商品は、電話機を接続するだけで自動的に内線番号を割り付けることができます。
お買い求め時、内線番号自動割付機能は「有効」に設定されていますが、これを変更することができます。
また、指定した内線のみ自動割付対象から外することもできます。

内線番号自動割付機能の有効／無効を変更する

- 1 「電話機能」ページにある項目「詳細」をクリックする
- 2 「内線番号自動割付設定」ボタンをクリックする
- 3 内線番号自動割付機能「有効／無効」を選択する
- 4 「設定」ボタンをクリックする

内線番号自動割付設定

内線番号自動割付機能 有効 無効

設定



お知らせ

- 設定を変更した場合は、本商品の再起動が必要です。「再起動するには」(▶P166)

内線番号自動割付を変更するには

自動割付対象にする内線番号を変更する

内線番号自動割付機能が「有効」の場合、どの内線番号を自動割付の対象にするかを選択することができます。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「内線番号自動割付設定」ボタン
をクリックする

3 自動割付対象にする内線番号に
チェックを入れる

電話機種別がIP多機能電話機/IPコードレス電話機/SIP端末*に設定されている番号のみ設定できます。

※ SIP端末/WLAN携帯/N902iL

4 「設定」ボタンをクリックする

内線番号自動割付設定

内線番号	電話機種別	内線番号
<input checked="" type="checkbox"/> 10	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 11	IPコードレス電話機	<input checked="" type="checkbox"/> 18
<input checked="" type="checkbox"/> 12	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/> 21
<input type="checkbox"/> 13	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/> 22
<input type="checkbox"/> 14	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/> 23

設定



お知らせ

●すでにログインしているIP多機能電話機、IPコードレス電話機の内線自動割付設定を変更した場合、ログアウトになります。

電話機ごとに名前を設定するには

電話機ごとに名前を設定することができます。

設定した名前は、電話機のディスプレイに表示され、内線呼出時は相手の名前が表示されます。また、内線名称を登録した内線番号は他ユーザ状態表示でユーザ状態を確認することができます。「ユーザ状態を便利に使うには」(基本編「ユーザ状態をセットするには」の応用)。(P117)

内線名称を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から設定したい内線
の名称を入力する

全角8文字、半角16文字以内で入力します

内線番号	内線名称	電話
10	田中	JPKT
11	鈴木	JPCL
12		JPKT
13		JPKT
14		JPKT

設定

3 「設定」ボタンをクリックする



お知らせ

- 共通電話帳に登録されている内線番号の場合、内線名称ではなく共通電話帳に登録した名前がディスプレイに表示されます。
- 内線名称には、文字コード：ISO-2022-JPで規定されているものを登録してください。
第1水準、第2水準以外の漢字や特殊文字などが含まれていると、電話機のディスプレイに正常に表示できず「※」に置き換えて表示する場合があります。

電話機のログインパスワードを設定するには

IP多機能電話機／IPコードレス電話機を操作してログインするときのパスワードを設定します。
お買い求め時は、パスワードなしに設定されています。

パスワードを設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフック外線 自動捕捉
10	田中	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	IPコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	F多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 パスワードを入力する

半角数字8文字以内で入力します。

パスワード

5 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

設定



お知らせ

- 内線番号自動割付対象に設定されている内線にはパスワードを設定することができません。
「内線番号自動割付を変更するには」(P111)
- すでにログインしている電話機のパスワードを変更した場合、その電話機はログアウト状態になります。
- パスワードを設定した内線を再度内線番号自動割付対象としたときは、ここで設定したパスワードは解除されます。
- パスワードを設定した場合、メニュー操作でログアウトするときもパスワードの入力が必要になります。

管理者電話機を変更するには

管理者電話機に設定されたIP多機能電話機からシステムの日時変更やモードの切り替えなどを行うことができます。

お買い求め時は内線10が管理者電話機に設定されています。

管理者電話機を変更する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線
番号の「管理者電話機」をチェッ
クする

3 「設定」ボタンをクリックする

内線番号	内線名称	電話機種別	オフック外線 自動捕戻	非鳴動着信 自動応答	管理者 電話機
10	田中	F多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>
11	鈴木	Fコードレス電話機 ▼	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
12	中村	F多機能電話機 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
13	武田	F多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/>
14	高橋	F多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>
15	渡辺	F多機能電話機 ▼	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

設定



お知らせ

- 管理者電話機に設定できるのは1台のみです。また、IP多機能電話機以外の電話機を管理者電話機に設定することはできません。

ダイヤルを押したときの確認音を出さないようにするには

ダイヤル(0～9、*、#)のボタンを押したときに出す確認音は、設定により出さなくすることができます。

キータッチトーンを設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線
番号を選択し、「詳細設定」ボタ
ンをクリックする

次の画面に切り替わります。

IP多機能電話機に設定されている電話機を選
択します。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
10	田中	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	IPコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	IP多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 キータッチトーン「送出する/送
出しない」を選択する

キータッチトーン 送出する 送出しない

5 「設定」ボタンをクリックする

一覧画面に戻ります。

設定



お知らせ

- この機能は、IP多機能電話機が対象です。IPコードレス電話機で確認音を出さないよう設定するには「IPコードレス電話機 取扱説明書」をご参照ください。

ユーザ状態を便利に使うには (基本編「ユーザ状態をセットするには」の応用)

ユーザ状態をセットすることにより、より便利に使うことができます。(●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ユーザ状態をセットするには」)

他の電話機のユーザ状態を確認する

他の電話機でセットされているユーザ状態を確認することができます。

この機能を使うには、内線に名称を設定「電話機ごとに名前を設定するには」(●P113)するか、共通電話帳に内線番号を登録する「共通電話帳を使うには」(●P87)必要があります。



1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

機能メニュー
1: ユーザ状態変更
2: 他ユーザ状態表示
3: 不在着信転送設定

メニュー



2 他ユーザ状態表示の番号②をダイヤルボタンで押す

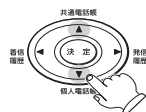
1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #



上下ボタンで選択したときは、決定ボタンを押してから次の手順に進みます。

3 確認したいユーザの内線番号を、上下ボタンで選択する

他ユーザ状態表示
15 渡辺
16 木村
17 佐藤



4 決定ボタンを押す

ユーザ状態が表示されます。



引き続き他の内線について確認したいときは、クリアボタンを押して、手順3～4を繰り返します

ユーザ状態を便利に使うには (基本編「ユーザ状態をセットするには」の応用)

ユーザ状態の名称を変更する

「食事中」「会議中」などのユーザ状態の名称を変更することができます。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「状態名称設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 変更したい状態名称を入力する

全角5文字、半角10文字以内で入力します。
すでに使われている状態名称や他の状態の状
態名称と同じに設定することはできません。
また「通話中」を指定することはできません。
「在席」と「不在」は変更できません。

状態名称設定

No	状態名称
1	在席
2	不在
3	離席
4	来客対応中
5	休憩中
6	食事中
7	外出中
8	その他

4 「設定」ボタンをクリックする

設定



お知らせ

● 状態名称には、文字コード：ISO-2022-JPで規定されているものを登録してください。

第1水準、第2水準以外の漢字や特殊文字などが含まれていると、電話機のディスプレイに正常に表示できず「※」に置き換えて表示する場合があります。

状態ごとに転送先を設定する(状態別転送)

ユーザ状態ごとに別々に転送設定することができます。(「食事中」のときは内線15へ転送し、「会議中」のときは外線090-XXXX-XXXXへ転送する など)

1 「電話機能」ページにある項目「内線」をクリックする

2 一覧表の中から変更したい内線番号を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線自動捕捉
10	田中	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
11	鈴木	Fコードレス電話機	<input type="checkbox"/>
12	中村	F多機能電話機	<input checked="" type="checkbox"/>
13	武田	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
14	高橋	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>
15	渡辺	F多機能電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

状態別転送設定

転送設定

3 「状態別転送設定」をクリックする

次の画面に切り替わります。

4 「転送設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

5 状態ごとの転送種別を選択する

「転送先番号」には、内線に転送するときは内線番号、外線に転送するときは相手の方の電話番号を入力します。

- ・「転送する」を選択した場合は、転送元は呼び出さずに転送先のみを呼び出します。
- ・「ツイン転送する」を選択した場合は、転送元と転送先の両方を呼び出します。

	圏内		圏外	
	転送種別	転送先番号	転送種別	転送先番号
在席	転送しない		転送しない	
不在	転送する(内線)	13	転送しない	
離席	転送する(外線)	09011111111	転送しない	
会議中	ツイン転送する(内線)	166	転送しない	
休憩中	転送しない		転送しない	
食事中	転送しない		転送しない	
外出中	転送しない		転送しない	
その他	転送しない		転送しない	

設定

6 「設定」ボタンをクリックする

ユーザ状態を便利に使うには (基本編「ユーザ状態をセットするには」の応用)



ワンポイント

● **圏外転送を設定するには**

各状態の「圏外」の転送先に設定することで、圏外などで呼出できない場合に、設定された電話番号に転送します。

● **不在転送設定は、電話機から設定できます**

「不在」状態の転送は電話機から設定することができます。(▶基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「不在のときに電話がかかってきたときは(不在転送)」)



お知らせ

- 個別に呼び出された着信のみ転送されます。外線からの着信を転送するには、データ設定により個別着信させる必要があります。
- 転送先が外線に設定されている場合、転送先への発信はひかり電話とISDN回線のみ利用できます。
- 外線転送に設定している場合、使用中などにより転送するための回線が空いていないときは、状態別転送は動作しません。
- 転送先を携帯電話などに設定しているとき、圏外などのガイダンスが発信者に接続されず、呼び出し音が継続する場合があります。
- 転送先で状態別転送の設定が行われていても、その先への転送はされません。(転送は1度まで)
- 複数の電話機から、同じ電話機に状態別転送を登録することもできます。
- 転送先が内線に設定されている場合、転送先の電話機がお話中のときや接続されていないときは、転送されません。
- 電源アダプタやLANケーブルを抜き差しすると、該当する電話機のユーザ状態は「在席」に自動的に設定されます。
- ツイン転送の設定をしている電話機が使用中の場合、転送先電話機で着信音が一瞬だけ聞こえる場合があります。

システムモードを使うには (昼／夜モード切替)

外線電話がかかってきたとき、システムモードによって着信音を鳴らす電話機を変えることができます。

システムモードには昼モードと夜モードがあります。

曜日や時刻を指定し、自動で切り替える(自動切替)

曜日や時間帯を指定して、昼モードと夜モードの切り替えを自動で行うことができます。ただし、管理者電話機で手動切替されている場合は、自動切替は無効になります。(手動切替が優先)

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「システムモード設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 変更したい曜日を選択して
「内容変更」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

4 昼／夜モードの切替スケジュール
を選択する。

「昼モード時間指定」にする場合は、時間帯を入力します。

5 他の曜日にも同じスケジュールに
設定する場合、曜日にチェック
を入れる

すでに設定済みの場合、ここで設定したものに書きされます。

システムモード設定

曜日	昼モード*時間帯
日	終日昼モード
月	終日昼モード
火	終日昼モード
水	終日昼モード
木	終日昼モード
金	終日昼モード
土	終日昼モード

内容変更

◎ 昼モード*時間指定

08 時 00 分 から

17 時 30 分 まで

以下の曜日にも同じ内容で設定する

日 月 火 水 木 金 土

6 「編集完了」ボタンをクリックする

一覧画面に切り替わります。他の曜日についても変更する場合は、手順3に戻ります。

編集完了

7 「設定」ボタンをクリックする

設定

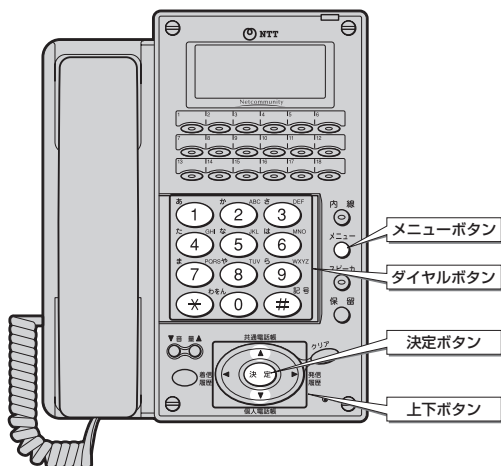


ワンポイント

- お買い求め時は、すべての曜日、時間帯が昼モードに設定されています。
- 時間帯を指定する場合、システムに時刻が正しく設定されているかを内線電話機のディスプレイなどで確認してください。「システムの日時を変更するには」(▶P169)
- 夜モードのときはIP多機能電話機、IPコードレス電話機のディスプレイに表示されます。

ボタン操作で随時切り替える(手動切替)

管理者電話機から、以下の操作で昼モードと夜モードの切り替えを行うことができます。「管理者電話機を変更するには」(P115)



1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

機能メニュー
1: コーガ状態変更
2: 他コーガ状態表示
3: 不在着信転送設定

メニュー



2 データ設定(*)をダイヤルボタンで押す

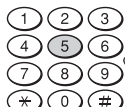
機能メニュー
*: データ設定



上下ボタンでスクロールして選択したときは、決定ボタンを押してから次の手順に進みます。

3 システムモード切替(5)をダイヤルボタンで押す

データ設定メニュー
4: カンガ・時計設定
5: システムモード切替
6: メテナス



上下ボタンでスクロールして選択したときは、決定ボタンを押してから次の手順に進みます。

4 システムモードを選択する

システムモード切替
1: 昼モード
2: 夜モード
3: 自動切替



上下ボタンでスクロールして選択したときは、決定ボタンを押します。

自動切替を選択すると、手動切替を解除し、自動切替による昼/夜モード切替になります。「曜日や時刻を指定し、自動で切り替える(自動切替)」(P121)



ワンポイント

- 管理者電話機でシステムモード切替に設定したワンタッチボタンを押した場合は、メニュー操作をすることなくシステムモード切替をすることができます。(●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ワンタッチボタンを登録するには」)

契約チャンネル数を変更したときは

契約チャンネル数の設定は、かんたん設定の中で行いますが、契約変更や本商品の設置場所変更などによりチャンネル数の変更があった場合は、ご契約内容に合わせて正しく設定し直す必要があります。

契約チャンネル数を設定する

STOP お願い

- 変更するときは、お話ししている電話機がないか確かめください。お話ししている電話機があるときに変更すると、通話は切断されます。

1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

2 「電話回線設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

電話回線設定

3 「ひかり電話設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

ひかり電話設定

4 「ひかり電話基本設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

ひかり電話基本設定

5 契約チャンネル数を選択する

契約チャンネル数 チャンネル

6 「設定」ボタンをクリックする

設定

ワンポイント

- ひかり電話を利用しないにするには、アクセスサービス種別を「接続しない(ひかり電話を使用しない)」に変更する必要があります。
「接続するフレッツ回線の種別を変更するには」(●P127)
- ISDN回線、アナログ回線1/2を利用しないにするには
「アナログ回線の契約電話番号を設定する」(●P150)
「ISDN回線の契約電話番号を設定する」(●P154)



お知らせ

- 契約チャンネル数を変更した場合、運用形態に合わせて外線ボタンの割り付けを再確認する必要があります。
「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(●P97)
- 設定を変更した場合は、本商品の再起動が必要です。

契約したダイヤルイン番号を 設定するには

契約変更や、本商品の設置場所の変更などにより、ダイヤルイン番号の変更があった場合は、正しく設定し直す必要があります。

ダイヤルイン番号を自動で設定する

ひかり電話は次の契約の場合ではフレッツ回線に本商品を接続し、RACSIA主装置の電源を入れることで契約番号やダイヤルイン番号が自動的に設定されます。

- ・ Bフレッツ、フレッツ・光プレミアムのひかり電話オフィスタイプの場合
- ・ フレッツ 光ネクストのひかり電話の場合(パターンA) (●基本編「1. お使いになる前に」→「ご利用になれる各種サービス」)
- ・ フレッツ 光ネクストのひかり電話オフィスタイプで、追加番号の契約数が4個以内の場合

契約したダイヤルイン番号を 設定するには

ダイヤルイン番号を手動で設定する

次の場合には、手動で追加番号を設定してください。

- ・フレッツ回線に接続しないでかんたん設定を行った場合
- ・フレッツ 光ネクストのひかり電話オフィスタイプで、追加番号の契約数が5個以上契約されている場合
- ・フレッツ 光ネクスト、Bフレッツ、フレッツ・光プレミアムのひかり電話追加番号(パターンB) (●基本編「1. お使いになる前に」→「ご利用になれる各種サービス」)
- ・アナログ回線1または2のモデムダイヤルイン番号
- ・ISDN回線のダイヤルイン番号、i・ナンバーの追加番号

1 『電話機能』ページにある項目
『外線』をクリックする

2 「電話回線設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 設定する電話回線ボタン(「ひかり電話設定」／「アナログ回線設定」／「ISDN回線設定」)をクリックする

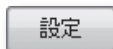
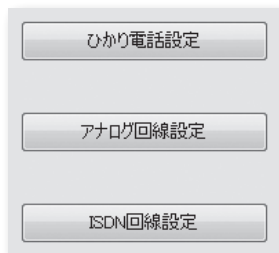
次の画面に切り替わります。

4 「追加番号設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

5 ダイヤルイン番号を入力する

6 「設定」ボタンをクリックする



お知らせ

- ダイヤルイン番号を変更した場合、変更前に設定されていたNKボタンは削除されます。
- ダイヤルイン番号を削除した場合、その番号についての着番号ダイヤルインや着信音の設定はすべて消去されます。

STOP お願い

- i・ナンバーで2個の追加番号を契約した場合は、必ず追加番号1、追加番号2の順番で登録してください。

接続するフレッツ回線の種別を 変更するには

Bフレッツやフレッツ・光プレミアムのひかり電話オフィスタ입からフレッツ 光ネクストのひかり電話オフィスタ입等に契約を変更した場合、アクセスサービス種別の変更が必要になります。

アクセスサービス種別を設定する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「WAN」をクリックする

2 アクセスサービス種別の
「設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 アクセスサービス種別を選択する

4 「設定」ボタンをクリックする

設定

アクセスサービス種別

Bフレッツ

設定

STOP お願い

●アクセスサービス種別を変更した場合は、システムを再起動する必要があります。

インターネット接続を設定するには

本商品からPPPoEを利用してインターネット接続する場合には、設定が必要になります。

インターネット接続を設定する

1 『ネットワーク』ページにある項目
『WAN』をクリックする

2 インターネット接続の
「設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 ユーザ名とパスワードを
入力する

プロバイダとの契約時に通知されるユーザ名
とパスワードを設定します。

- ・ユーザ名は半角128文字以内
- ・パスワードは半角32文字以内

4 プロバイダ契約情報でDNSサー
バアドレスを手動で設定する必
要がある場合のみ、DNS取得方
法「手動」を選択し、プライマリ
DNSサーバIPアドレス、
セカンダリDNSサーバIPアドレ
スを入力する

5 自動接続「する／しない」を選
択する

本商品が再起動や停電から復旧した場合に自
動的に接続させる場合は、「する」を選択して
ください。

6 「設定」ボタンをクリックする

設定

ユーザ名

パスワード

DNS取得方法 自動 手動

プライマリDNSサーバIPアドレス

セカンダリDNSサーバIPアドレス

自動接続 する しない

設定

ワンポイント

●インターネット接続の設定を削除する場合は、インターネット接続の「削除」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●自動接続で「する」を選択して設定が完了してもPPPoEでのインターネット接続は自動で行われません。本商品を再起動しないで接続する場合は、手動でWAN側ネットワークを接続する必要があります。「WAN側ネットワークを手動操作で接続／切断するには」(P197)

●インターネット接続をするためには、PPPoEの空きセッションが必要になります。

フレッツ・VPN接続を設定するには

フレッツ・VPN接続では、LAN型(unnumbered)と端末型の接続をおこなうことが可能です。LAN型で2台のRACSIAを接続する場合は、初期値のままではLAN型のネットワークアドレスが重複してしまう為、どちらかのLAN側アドレスを変更する必要があります。「本商品のIPアドレスを変更するには」(●P134)

フレッツ・VPN接続をLAN型で接続する

接続するネットワーク構成にあわせた設定が必要になりますので注意してください。

1 『ネットワーク』ページにある項目『WAN』をクリックする

2 フレッツ・VPN接続の『設定』ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 ユーザ名とパスワードを入力する

フレッツ・VPN契約時に通知されるユーザ名とパスワードを設定します。
・ユーザ名は半角128文字以内
・パスワードは半角32文字以内

4 IPアドレス払い出し方法『LAN型』を選択する

5 自動接続『する』を選択して『次へ』ボタンをクリックする

本商品が再起動や停電から復旧したときに自動的に接続させる場合は、「する」を選択してください。
手動で接続する場合には、自動接続「しない」を選択してください。

6 LANインタフェースのIPアドレスやDHCPサーバの設定を行い、『次へ』ボタンをクリックする

接続するネットワーク構成により、変更の必要がある場合のみ変更してください。

フレッツ・VPN接続

ユーザ名

パスワード

IPアドレス払い出し方法 端末型 LAN型

自動接続 する しない

LANインタフェース設定

IPアドレス

サブネットマスク

DHCPサーバ設定

DHCPサーバ機能 有効 無効

割り付IPアドレス範囲 から

リース時間

プライマリWINSサーバIPアドレス

セカンダリWINSサーバIPアドレス

7 VPN接続先のアドレスに関するルーティングを設定する

フレッツ・VPNで接続するデフォルトルート、相手のネットワークアドレス、サブネットマスクを設定します。

デフォルトルート

スタティックIPルーティング

No.	宛先アドレス / サブネットマスク	接続先	ゲートウェイ
1	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
2	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
3	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
4	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
5	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
6	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
7	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
8	/ 255.0.0.0 (8)	VPN
9	/ 255.0.0.0 (8)	VPN

8 「設定」ボタンをクリックする

設定



お知らせ

- 自動接続で「する」を選択して設定が完了してもPPPoEでのフレッツ・VPN接続は自動で行われません。本商品を再起動しないで接続する場合は、手動でWAN側ネットワークを接続する必要があります。
「WAN側ネットワークを手動操作で接続/切断するには」(P197)
- フレッツ・VPNに接続するためには、PPPoEの空きセッションが必要になります。

フレッツ・VPN接続を端末型で接続する

2
より便利に使う
(フレッツ・VPN)

1 『ネットワーク』ページにある項目
『WAN』をクリックする

2 フレッツ・VPN接続の
「設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 ユーザ名とパスワードを入力する

フレッツ・VPN契約時に通知されるユーザ名とパスワードを設定します。
・ユーザ名は半角128文字以内
・パスワードは半角32文字以内

4 IPアドレス払い出し方法
「端末型」を選択する

5 自動接続「する／しない」を選択して
「次へ」ボタンをクリックする

本商品が再起動や停電から復旧した場合に自動的に接続させる場合は、「する」を選択してください。
フレッツ・VPNを利用する時に手動で接続する場合には、自動接続「しない」を選択してください。

6 VPN接続先のアドレスに関する
ルーティングを設定する

フレッツ・VPNで接続するデフォルトルート、相手のネットワークアドレス、サブネットマスクを設定します。

7 「設定」ボタンをクリックする

フレッツ・VPN接続

設定

ユーザ名

パスワード

IPアドレス払い出し方法

端末型

LAN型

自動接続

する

しない

次へ

デフォルトルート

スタティックIPルーティング

No.	宛先アドレス / サブネットマスク	接続先	ゲートウェイ
1	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
2	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
3	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
4	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
5	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
6	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
7	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
8	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	
9	/ 255.0.0.0 (8)	VPN	

設定

ワンポイント

●フレッツ・VPN接続の設定を削除する場合は、フレッツ・VPN接続の「削除」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

●自動接続で「する」を選択して設定が完了してもPPPoEでのフレッツ・VPN接続は自動で行われません。本商品を再起動しないで接続する場合は、手動でWAN側ネットワークを接続する必要があります。[WAN側ネットワークを手動操作で接続/切断するには] (P197)

フレッツ・スクウェア／フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続を設定するには

PPPoEを利用して接続可能なフレッツ・スクウェア (Bフレッツ、フレッツ・光プレミアム)、フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト (フレッツ 光ネクスト) に接続する場合に設定します。

PPPoE接続設定 ユーザ名／パスワードを設定する

1 『ネットワーク』ページにある項目『WAN』をクリックする

2 フレッツ・スクウェア接続、またはフレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続の「設定」ボタンをクリックする

アクセスサービス種別によって表示されるサービス名が変わります。
次の画面に切り替わります。

フレッツ・スクウェア接続

設定

3 ユーザ名とパスワードを入力する

ユーザ名とパスワードは、接続に必要な初期値が表示されるので、変更が必要な場合のみ変更してください。

- ・ユーザ名は半角128文字以内
- ・パスワードは半角32文字以内

ユーザ名

XXXXXXXXXX

パスワード

XXXXXXXXXX

4 自動接続「する／しない」を選択する

本商品が再起動や停電から復旧した場合に自動的に接続させる場合は、「する」を選択してください。

利用する時に手で接続する場合には、自動接続「しない」を選択してください。

自動接続

する

しない

5 「設定」ボタンをクリックする

設定

ワンポイント

●フレッツ・スクウェア接続／フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続を削除する場合は、「削除」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 自動接続で「する」を選択して設定が完了してもPPPoEでのフレッツ・スクウェア接続／フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続は自動で行われません。本商品を再起動しないで接続する場合は、手でWAN側ネットワークを接続する必要があります。[WAN側ネットワークを手動操作で接続／切断するには] (●P197)
- フレッツ・スクウェア／フレッツ 光ネクスト サービス情報サイトに接続するためには、PPPoEの空きセッションが必要になります。

リモートマネジメントを利用するには

リモートマネジメントサービスを契約している場合、センターから遠隔で設定等を行うことができます。



お知らせ

リモートマネジメントは、接続するための特別な工事が必要です。当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

- リモートマネジメントサービスは、2009年6月現在、NTT西日本において未提供です。
- リモートマネジメントサービスを接続するためには、PPPoEの空きセッションが必要になります。

本商品のIPアドレスを変更するには

本商品のIPアドレスを変更する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「LAN」をクリックする

2 IPアドレスを入力する

既設ネットワークアドレスに合わせてIPアドレスを入力します。

3 サブネットマスクを選択する

既設ネットワークアドレスに合わせてサブネットマスクを選択します。

4 「設定」ボタンをクリックする

DHCPサーバ設定にも変更が必要な場合は、DHCPサーバの設定を変更(●P136)した後で「設定」ボタンをクリックします。

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 1

サブネットマスク 255.255.255.0 (24) ▼

設定



お知らせ

- 設定を変更した場合は、本商品の再起動が必要です。

DHCPサーバ機能の設定を 変更するには

DHCPサーバ機能を無効にする

既設ネットワーク内にすでにDHCPサーバが存在する場合は、本商品のDHCPサーバ機能を無効にする必要があります。

1 「ネットワーク」ページにある項目
「LAN」をクリックする

2 DHCPサーバ機能「無効」を
選択する

3 「設定」ボタンをクリックする

DHCPサーバ機能 有効 無効

設定



お知らせ

- 設定を変更した場合は、本商品の再起動が必要です。
- DHCPサーバ機能を無効にした場合、Webブラウザでhttp://ntt.setupで本商品にアクセスすることはできなくなります。その場合、本商品のLANインタフェースに設定されているIPアドレスにWebブラウザでアクセスしてください。もし、IPアドレスが不明の場合、本商品のIPアドレスのみを初期化してください。
「お買い求め時の設定に戻すには」(▶P176)
- DHCPサーバ機能を無効にした場合、本商品内蔵の無線アクセスポイントにアクセスできなくなります。固定IPアドレスに変更して運用するか、ネットワーク上にDHCPサーバ機能を搭載した機器を接続する必要があります。

DHCPサーバのIPアドレスの割り付け範囲を変更する

IPアドレスの割り付けが不足したり、WINSサーバのアドレス情報の通知を行う場合は、設定を変更します。

1 『ネットワーク』ページにある項目
『LAN』をクリックする

2 割付IPアドレス範囲を入力する

本商品のIPアドレス、サブネットマスクにより決定されるネットワークアドレスの範囲内で指定します。

割付IPアドレス範囲は、既設ネットワークに接続済みの機器を含まないように設定してください。

割付IPアドレス範囲 192 . 168 . 1 . 100 から 100 個

3 リース時間を選択する

リース時間 30日 ▼

4 プライマリWINSサーバIPアドレス、セカンダリWINSサーバIPアドレスを入力する

WINSサーバを利用している場合は、DHCPクライアントに通知するプライマリWINSサーバIPアドレス/セカンダリWINSサーバIPアドレスを設定します。

WINSサーバを利用していない場合は、入力の必要はありません。

プライマリWINSサーバIPアドレス [] . [] . [] . []
セカンダリWINSサーバIPアドレス [] . [] . [] . []

5 「設定」ボタンをクリックする

LANインタフェース設定にも変更が必要な場合は、変更した後で「設定」ボタンをクリックします。

設定



お知らせ

- 設定を変更した場合は、本商品の再起動が必要です。
- 本商品にはWINSサーバ機能はありません。

他の機器(ルータ)を使って インターネットに接続するには

LANネットワーク内にルータなどインターネットへ接続する経路がある場合、DNSサーバIPアドレス、デフォルトルートを設定することにより、本商品に接続しているクライアントからルータ経路でインターネットへ接続することができます。
ドメイン名ごとに問い合わせ先のDNSサーバを指定する場合は、DNSルーティングを設定することができます。

DNSサーバIPアドレスを設定する

パソコンなどからのDNSアドレス解決要求に対して、問合せ先のDNSサーバを設定します。

1 『ネットワーク』ページにある項目
『詳細』をクリックする

2 『DNS設定』ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 プライマリDNSサーバIPアドレス、セカンダリDNSサーバIPアドレスを入力する

DNSサーバIPアドレスを入力します。
DNSサーバが複数動作していない場合、セカンダリDNSサーバIPアドレスは入力しないでください。

4 DNSルーティングを設定する

ドメイン名ごとに問い合わせ先のDNSサーバを変更する場合のみ設定を行います。
ドメイン名は半角63文字以内で入力し、指定したドメイン名の解決に使用する問い合わせ先DNSサーバのIPアドレスを入力します。

5 『設定』ボタンをクリックする

DNS設定

DNSサーバアドレス

プライマリDNSサーバIPアドレス 192 . 168 . 1 . 60
セカンダリDNSサーバIPアドレス

DNSルーティング

No	ドメイン名	IPアドレス
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

設定

他の機器(ルータ)を使って インターネットに接続するには

デフォルトルートを設定する

インターネットへ接続している機器(ルータ)のIPアドレスを入力します。

1 『ネットワーク』ページにある項目
『詳細』をクリックする

2 『ルーティング設定』ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 インターネットへ接続する機器
(ルータ) のIPアドレスを入力す
る

インターネットへ接続する機器(ルータ)の設定します。本商品のIPアドレス、サブネットマスクにより決定されるネットワークアドレスの範囲内で指定します。

4 『設定』ボタンをクリックする

ルーティング設定

デフォルトルート

192 . 168 . 1 . 1

設定

ポートフォワードを設定するには

インターネットからの特定ポートへの接続要求を、LAN側の特定パソコンなどに転送を行い、外部からパソコンにアクセスできるようにする場合に設定します。最大8ポートまで設定可能です。
この機能は、インターネットからのアクセスのみ対象とします。

ポートフォワード先を設定する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「ポートフォワード設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

ポートフォワード設定

3 対象プロトコルを選択する

TCP、UDP、TCPとUDPから選択します。

No	プロトコル	ポート番号	IPアドレス
1	TCP		<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
2	TCP		<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
3	TCP		<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
4	TCP		<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>
5	TCP		<input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/>

4 ポート番号を入力する

1以上65535以下の範囲の数値で入力します。

5 IPアドレスを入力する

転送先のIPアドレスを入力します。

6 「設定」ボタンをクリックする

設定



お知らせ

- 転送先のIPアドレスは固定で設定される必要があります。必ず静的にIPアドレスを割り付けるように設定してください。
- ポートフォワードで設定したプロトコルやポート番号がフィルタリング設定されている場合、動作しないことがあります。フィルタリング設定の内容も確認してください。「フィルタリング設定するには」(P142)

ルーティングを設定するには

LAN側ネットワークにルータを設置したり、フレッツ・VPN接続で別のネットワークを利用する場合に設定します。

スタティックIPルーティングを設定する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「ルーティング設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 宛先アドレスを入力し、
サブネットマスクを選択する

4 接続する宛先の接続先を
選択する

「手動/VPN」から選択します。
フレッツ・VPN接続設定した場合は「VPN」
が表示されます。

5 ゲートウェイアドレスを
入力する

宛先アドレスに接続するためのゲートウェイ
アドレスを設定します。

6 「設定」ボタンをクリックする

ルーティング設定

スタティックIPルーティング

No.	宛先アドレス / サブネットマスク	接続先	ゲートウェイ
1	. . . / 255.0.0.0 (8)	手動	. . .
2	. . . / 255.0.0.0 (8)	手動	. . .
3	. . . / 255.0.0.0 (8)	手動	. . .
4	. . . / 255.0.0.0 (8)	手動	. . .

設定

ワンポイント

- フレッツ・VPN接続時に必要なスタティックIPルーティングは、接続設定を行うときに設定することができます。「フレッツ・VPN接続を設定するには」(P129)
- スタティックIPルーティングの設定を削除する場合は、「宛先アドレス」「ゲートウェイ」を空にして「設定」ボタンをクリックしてください。

ステルスモードを設定するには

各サイトからのPing要求などに対してステルス機能を使用する/使用しないの設定を行います。

ステルスモードの使用有無を設定する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「ステルスモード設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 ステルスモードの使用有無を選
択する

使用する/使用しないから選択します

4 「設定」ボタンをクリックする

ステルスモード設定

ひかり電話	<input type="radio"/> 使用する	<input checked="" type="radio"/> 使用しない
インターネット接続	<input type="radio"/> 使用する	<input checked="" type="radio"/> 使用しない
フレッツ・VPN接続	<input type="radio"/> 使用する	<input checked="" type="radio"/> 使用しない
フレッツ・スクウェア接続	<input type="radio"/> 使用する	<input checked="" type="radio"/> 使用しない
リモートマネジメント接続	<input type="radio"/> 使用する	<input checked="" type="radio"/> 使用しない

設定



ワンポイント

- ステルスモードを使用すると各インタフェースからのPing要求に対して応答を返しません。

フィルタリング設定をするには

受信した特定パケットを破棄したり透過したい場合に設定を行います。

フィルタリングを設定する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「フィルタリング設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 「新規追加」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

4 エントリー No. を選択する

13 ~ 64から選択します。

5 フィルタリングするパケットの
方向を選択する

入力/出力から選択します。

6 動作を選択する

透過/遮断から選択します。

7 送信先IPアドレスを入力し、
サブネットマスクを選択する

8 送信先ポート番号範囲を
入力する

9 送信元IPアドレスを入力し、
サブネットマスクを選択する

10 プロトコルを選択する

指定なし/TCP/UDP/ICMP/その他から選
択します。

フィルタリング設定

新規追加

エントリーNo.

13

方向

入力

出力

動作

透過

遮断

送信先IPアドレス

. . . / 255.255.255.0 (24)

送信先ポート番号範囲

~

送信元IPアドレス

. . . / 255.255.255.0 (24)

プロトコル

指定なし

11 適用インタフェースを選択する

全てのインタフェース／インターネット接続用インタフェース／LANインタフェースから選択します。

適用インタフェース 全てのインタフェース ▼

12 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

- フィルタリングを設定するプロトコルに[その他]を選択した場合、フィルタリング条件としてプロトコルIDを入力します。プロトコルIDは1以上255以下の数値を入力します。



お知らせ

- フィルタリング設定で適用インタフェースで「全インタフェース」または「インターネット接続用インタフェース」を選択し設定した場合、既にPPPoEで接続中のインタフェースに適用するためには、一度切断し再度接続する必要があります。

無線アクセスポイントの設定を行うには

本商品に接続された内蔵無線アクセスポイントや増設無線アクセスポイントの基本設定をWEBから設定変更することができます。

無線アクセスポイントのIPアドレスを固定IPアドレスに変える

1 『ネットワーク』ページにある項目
『無線』をクリックする

2 一覧表の中から設定したい無線
アクセスポイントを選択し、『無
線設定』ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「無線設定」ボタンをクリックする

4 DHCPクライアント「利用しな
い」を選択する

5 サブネットマスクを選択する

6 デフォルトゲートウェイのアドレ
スを入力する

7 「設定」ボタンをクリックする

設定が完了すると無線アクセスポイントは自
動的に再起動されます。

内蔵無線アクセスポイント					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
RA-HE-3AC9	AP	192.168.1.199	0002EACGACA	4.00	接続中

増設無線アクセスポイント、無線ステーション					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
WL-AP2-00D2	AP	192.168.1.195	0020C12C00D3	4.00	接続中

無線設定

無線設定

DHCPクライアント 利用する 利用しない

サブネットマスク 255.255.255.0 (24)

デフォルトゲートウェイ 255 . 255 . 255 . 0

設定

無線関連の基本設定を変更する

1 「ネットワーク」ページにある項目
「無線」をクリックする2 一覧表の中から設定したい無線
アクセスポイントを選択し、「無
線設定」ボタンをクリックする

内蔵無線アクセスポイント					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
RA-1E-3AC9	AP	192.168.1.199	0002EACGACA	4.00	接続中

増設無線アクセスポイント、無線ステーション					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
WL-AP2-00D2	AP	192.168.1.195	0020C12D00D3	4.00	接続中

無線設定

無線設定

3 「無線設定」ボタンをクリックする

これ以降の設定は、無線規格（5GHz帯、
2.4GHz帯）ごとにそれぞれ設定します。

4 無線機能を選択する

無線機能 802.11a有効 802.11bのみ有効

5 SSIDを入力する

SSID ID3AC9 ID3AC9

6 SSID隠蔽「隠蔽する/隠蔽しない」
から選択するSSID隠蔽 隠蔽する 隠蔽しない 隠蔽する 隠蔽しない

7 チャンネル周波数を選択する

チャンネル周波数を変更すると接続する無線端
末によっては設定を変更しないと接続できな
くなる場合があります。

チャンネル周波数 自動 自動

8 暗号化タイプを選択する

暗号化タイプ WEP WEP

9 暗号化タイプで「WEP」を選択した場合のみ「WEPキー」を選択する

WEPキー 16進数 32文字 16進数 26文字

10 暗号化キーを入力する

例：ASCII文字 "1"→16進数 '31'
ASCII文字 "123"→16進数 '313233'

暗号化キー 3132333435363738393031323334 31323334353637383930313233

11 「設定」ボタンをクリックする

設定が完了すると無線アクセスポイントは自動的に再起動されます。

設定

登録されたMACアドレスのみ無線接続を許可する

1 「ネットワーク」ページにある項目「無線」をクリックする

2 一覧表の中から設定したい無線アクセスポイントを選択し、「無線設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内蔵無線アクセスポイント 自動登録開始

名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
PA-ME-3AC9	AP	192.168.1.199	00022EAC8ACA	4.00	接続中

増設無線アクセスポイント、無線ステーション

名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
WL-AP2-00D2	AP	192.168.1.195	0020C12D00D3	4.00	接続中

無線設定

ACL制御設定

802.11a (5GHz帯) 利用する 利用しない

802.11bg (2.4GHz帯) 利用する 利用しない

3 「ACL制御設定」ボタンをクリックする

4 各無線規格でACL機能「利用する」を選択する

5 ACLアドレステーブルに接続を許可するMACアドレスと機器名称を入力する

No.	MACアドレス	機器名称
1	001122334455	無線子機
2		
3		

設定

6 「設定」ボタンをクリックする

設定が完了すると無線アクセスポイントは自動的に再起動されます。

CTU (加入者網終端装置)のLAN側から PPPoE接続を有効にするには

RACSIA主装置をフレッツ・光プレミアム ファミリータイプのCTU (加入者網終端装置) のLAN側に接続し、RACSIAでインターネットやその他PPPoE接続をするには、CTU設定を変更する必要があります。初期値は無効になっています。

CTU (加入者網終端装置) のLAN側からPPPoE接続を有効にする

1 Webブラウザを起動して、CTU
設定画面にアクセスする

2 お客様アクセスIDとパスワード
を入力し「ログイン」ボタンをク
リックする

3 画面左側の「詳細設定」ボタンを
クリックする

4 画面左側の「PPPoE機能設定」
をクリックする

5 画面中央のPPPoE機能設定の「編集」ボタンをクリックする

6 機能の使用「する」を選択し、「接続可能なセッション数」で必要なセッション数を選択する

7 「OK」ボタンをクリックする

8 TOP画面に戻り「設定反映」ボタンをクリックする

9 「OK」ボタンをクリックする

10 確認画面が表示されるので「OK」ボタンをクリックする

設定反映中の画面が表示されます。設定反映が完了したらログアウトをしてください。

●PPPoE機能設定

編集

機能の使用

する しない

接続可能セッション数

5

OK

設定項目を選択してください

かんたん設定

●接続に必要な最小限の
設定を行います

ログ・ステータス参照

設定反映

OK

Windows Internet Explorer



今回設定した内容を反映します。よろしいですか？

OK

キャンセル



お知らせ

●フレッツ・光プレミアムをご利用の場合は、CTU経由によるインターネット接続を推奨します。

アナログ回線の契約電話番号を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

2 「電話回線設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 「アナログ回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 設定する回線の「基本設定」ボタ
ンをクリックする

「アナログ回線1基本設定」/
「アナログ回線2基本設定」を選択します。

5 アナログ回線「利用する」を選択
する

アナログ回線を利用しない場合は、「利用しない」を選択してください。

6 契約電話番号を入力する

7 「設定」ボタンをクリックする

電話回線設定

アナログ回線設定

アナログ回線1基本設定

追加番号設定

アナログ回線2基本設定

追加番号設定

アナログ回線1 利用する 利用しない

契約電話番号 0345678901

設定



お知らせ

- かんたん設定終了後または、v1.00からv2.00へバージョンアップした後に、アナログゲートウェイボックスを接続した場合は、回線ボタンにアナログ回線が設定されていないので設定が必要になります。「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(P97)

アナログ回線の外線ダイヤル種別を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

2 「電話回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 「アナログ回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 設定する回線の「基本設定」ボタン
をクリックする

「アナログ回線1基本設定」/
「アナログ回線2基本設定」を選択します。

電話回線設定

アナログ回線設定

アナログ回線1基本設定

追加番号設定

アナログ回線2基本設定

追加番号設定

5 外線ダイヤル種別を選択する

DP（ダイヤル回線）／PB（プッシュ回線）
／自動識別の中から選択します。
「自動識別」を選択した場合は、アナログゲート
ウェイボックスを再起動後に自動識別が開
始されます。

外線ダイヤル種別 自動識別

6 「設定」ボタンをクリックする

設定

3
ゲートウェイ
ボックスを使う



お知らせ

- 回線契約に従って外線ダイヤル種別を設定してください。
- 外線ダイヤル種別が「DP（ダイヤル回線）」または「PB（プッシュ回線）」に設定されている場合、「自動識別」に変更するときは、アナログゲートウェイボックスを再起動する必要があります。
- 外線ダイヤル種別の初期値は、「自動識別」になっています。「自動識別」が選択されている場合、アナログゲートウェイボックスが、起動時に外線ダイヤル種別の自動識別を行い、識別結果に合わせて「DP（ダイヤル回線）」、「PB（プッシュ回線）」のどちらかに設定されます。自動識別ができなかった場合には、「自動識別」での動作は「PB（プッシュ回線）」と同じ動作になります。

アナログ回線でモデムダイヤルイン契約の設定をする

- 1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

- 2 「電話回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

- 3 「アナログ回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

- 4 設定する回線の「基本設定」ボタン
をクリックする

「アナログ回線1基本設定」/
「アナログ回線2基本設定」を選択します。

- 5 モデムダイヤルイン「契約あり」
を選択する

- 6 「設定」ボタンをクリックする

契約したモデムダイヤルイン番号の設定方法
は、「ダイヤルイン番号を手動で設定する」
(P126)を参照してください。

電話回線設定

アナログ回線設定

アナログ回線1基本設定

追加番号設定

アナログ回線2基本設定

追加番号設定

モデムダイヤルイン 契約あり 契約なし

設定



お知らせ

- 回線契約に従って外線ダイヤル種別を設定してください。

アナログ回線で「ナンバー・ディスプレイ」契約の設定をする

- 1 「電話機能」ページにある項目「外線」をクリックする

- 2 「電話回線設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 3 「アナログ回線設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 4 設定する回線の「基本設定」ボタンをクリックする

「アナログ回線1基本設定」/
「アナログ回線2基本設定」を選択します。

- 5 ナンバー・ディスプレイ
ネーム・ディスプレイ
「契約あり」を選択する

ナンバー・ディスプレイだけ契約している場合も「契約あり」を選択してください。

- 6 「設定」ボタンをクリックする

電話回線設定

アナログ回線設定

アナログ回線1基本設定

追加番号設定

アナログ回線2基本設定

追加番号設定

ナンバー・ディスプレイ
ネーム・ディスプレイ

契約あり

契約なし

設定

3
ゲートウェイ
ボックスを使う



お知らせ

- 回線契約に従って外線ダイヤル種別を設定してください。

ISDN回線の契約電話番号を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

2 「電話回線設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 「ISDN回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 「ISDN回線基本設定」ボタンを
クリックする

5 ISDN回線「利用する」を選択する

ISDN回線を利用しない場合は、「利用しない」を選択してください。

6 契約電話番号を入力する

7 ISDNの回線契約に合わせて
「外線契約種別」を変更する

グローバル着信あり/グローバル着信なし/
i・ナンバー契約を選択します。

8 「設定」ボタンをクリックする

電話回線設定

ISDN回線設定

ISDN回線基本設定

ISDN回線

利用する

利用しない

契約電話番号 0234567890

外線契約種別 グローバル着信あり ▼

設定



お知らせ

- グローバル着信ありの契約とは、契約者回線番号への着信時には着番号情報を通知しない機能です。
- 回線契約に従って外線契約種別を設定してください。

ISDN回線のダイヤルイン番号を設定する

契約したダイヤルイン番号の設定方法は、「ダイヤルイン番号を手動で設定する」(●P126)を参照してください。

i・ナンバーを設定するには

ISDNゲートウェイボックスを接続し、i・ナンバーをご契約になると契約者回線番号とは別に複数の追加番号を持つことができます。

追加番号を電話機ごとに割り当てることにより、外から特定の電話機を呼び出すことができます。

また i・ナンバーを特定の外線ボタンに割り当てることもできます。

i・ナンバー契約を設定する

1 「電話機能」ページにある項目
「外線」をクリックする

2 「電話回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

電話回線設定

3 「ISDN回線設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

ISDN回線設定

4 「ISDN回線基本設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

ISDN回線基本設定

5 外線契約種別 「i・ナンバー契約」
を選択する

外線契約種別 i・ナンバー契約

6 i・ナンバー契約電話番号を
入力する

契約電話番号 0234567890



お知らせ

- i・ナンバー契約時に追加された「追加番号1」、「追加番号2」の設定方法は、「ダイヤルイン番号を手動で設定する」(P126)を参照してください。

受信したサブアドレスの内線へ個別着信させるには(ISDNのみ)

ISDNゲートウェイボックスを接続し、相手からサブアドレスとして内線番号を指定することで指定した内線番号に着信させることができます。

着サブアドレスダイヤルインを設定する

1 「電話機能」ページにある項目「着信鳴動」をクリックする

2 「ISDN回線着サブアドレスダイヤルイン設定」ボタンをクリックする

3 着サブアドレスダイヤルインの対象とする内線を選択する

ISDN回線着サブアドレスダイヤルイン設定

内線番号	内線名称	内線番号
<input type="checkbox"/> 10	田中	<input type="checkbox"/> 17
<input type="checkbox"/> 11	鈴木	<input type="checkbox"/> 18
<input type="checkbox"/> 12	中村	<input type="checkbox"/> 19
<input type="checkbox"/> 13	武田	<input type="checkbox"/> 22
<input type="checkbox"/> 14	高橋	<input type="checkbox"/> 23
<input type="checkbox"/> 15	渡辺	<input type="checkbox"/> 24
<input type="checkbox"/> 16		<input type="checkbox"/> 25

設定

4 「設定」ボタンをクリックする

ワンポイント

- サブアドレスと内線番号は同一です。
- 着番号ダイヤルイン、発番号ダイヤルイン、着サブアドレスダイヤルインの競合時の優先順位は以下のとおりとなります。
着サブアドレスダイヤルイン > 発番号ダイヤルイン > 着番号ダイヤルイン

相手に通知する電話番号を変えるには

ISDN回線から外線発信したときに、相手に通知する電話番号を変えることができます。「相手に通知する電話番号を変えるには」(P47)

アナログゲートウェイボックスを接続することで単体電話機1/2を利用することができます。

単体電話機の接続設定を行う

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 「新規追加」ボタンをクリックする

すでに内線番号が20個登録されている場合は、それ以上追加できません。

3 内線番号を入力する

空いている最若番の番号が初期表示されます。
指定する場合は、10～69の中から、
使用されていない番号を半角で入力します。

4 電話機種別から「単体電話機1」
／「単体電話機2」を選択する

5 「設定」ボタンをクリックする

新規追加

内線番号

20

電話機種別

単体電話機1

設定



お知らせ

- v2.00以降の主装置では、初期値として内線23、24が単体電話機1/2に割付されています。
- v1.00からv2.00にバージョンアップした場合、すでに登録されている内線番号の電話機種別を変更するか、新規登録する必要があります。

アナログゲートウェイボックスの 単体電話機を利用するには

単体電話機にナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ対応機器を接続する設定を行う

1 「電話機能」ページにある項目
「内線」をクリックする

2 一覧表の中から設定したい単体
電話機の内線番号を選択し、「詳
細設定」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

内線番号	内線名称	電話機種別	オフフック外線 自動捕捉
20	今井	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
21	工藤	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
22	根元	IP多機能電話機	<input type="checkbox"/>
23	石井	単体電話機1	<input type="checkbox"/>
24	山口	単体電話機2	<input type="checkbox"/>
25	山田	WLAN携帯電話機	<input type="checkbox"/>

詳細設定

電話機動作設定

3 「電話機動作設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

4 ナンバー・ディスプレイ/ネーム・
ディスプレイ「利用する」を選択
する

ナンバー・ディスプレイ/
ネーム・ディスプレイ 利用する 利用しない

5 「設定」ボタンをクリックする

設定



ワンポイント

●単体電話機1/2のナンバー・ディスプレイ/ネーム・ディスプレイ設定は、初期値が「利用しない」になっています。

FAX電話機を接続する

アナログゲートウェイボックスを接続して、単体電話機にビジネスFAXを接続して利用する場合に設定を行います。これにより、FAX自動着信やFAX発信などの機能を利用することができます。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「高度な設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 「警告画面」が表示されたら、「OK」
をクリックする

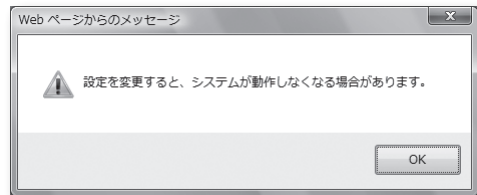
4 「GW-BOX関連詳細設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

5 ビジネスFAX接続 (単体電話機1)
/ビジネスFAX接続 (単体電話機2)
の「有効」を選択する

6 「設定」ボタンをクリックする

高度な設定



GW-BOX関連詳細設定

ビジネスFAX接続(単体電話機1) 有効 無効

ビジネスFAX接続(単体電話機2) 有効 無効

設定

3
ゲートウェイ
ボックスを使う



お知らせ

- ビジネスFAX接続を有効にした場合、緊急番号からの着信時には鳴動しません。
- ISDN回線からFAX (G2/G3) 着信があった場合、本設定が「有効」に設定されており、ISDN回線FAX自動着信の設定が「する」に設定されているときのみ着信できます。「FAX指定(G2/G3)の着信をFAXに着信させるには」(P163)
- ISDN回線からFAX (G2/G3)着信するためには、ISDN回線契約 (ISDNゲートウェイボックスに接続)となります。

FAX G2/G3指定発信するには

アナログゲートウェイボックスの単体電話機にビジネスFAXを接続し、ISDN回線から発信する場合に、G2/G3を指定して発信することができます。

FAX発信として電話をかけるには

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「高度な設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 「警告画面」が表示されたら、「OK」
をクリックする

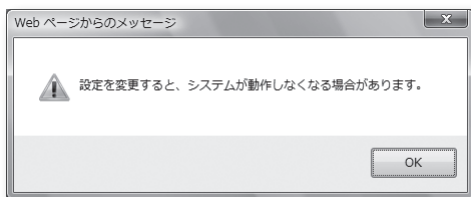
4 「GW-BOX関連詳細設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

5 ISDN回線発信時G2/G3指定
(単体電話機1) / ISDN回線発
信時G2/G3指定 (単体電話機2)
の「する」を選択する

6 「設定」ボタンをクリックする

高度な設定



GW-BOX関連詳細設定

ISDN回線発信時G2/G3指定(単体電話機1) する しな
ISDN回線発信時G2/G3指定(単体電話機2) する しな

設定



お知らせ

- この機能は、ビジネスFAX接続が有効になっている単体電話機でのみ利用できます。
- ISDN回線からFAX (G2/G3)発信するためには、ISDN回線契約 (ISDNゲートウェイボックスに接続)となります。

FAX指定(G2/G3)の着信を FAXに着信させるには

ISDN回線からのG2/G3指定された着信に単体電話機のビジネスFAX接続が有効な場合に自動的に着信させることができます。

1 「電話機能」ページにある項目
「詳細」をクリックする

2 「高度な設定」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 「警告画面」が表示されたら、「OK」
をクリックする

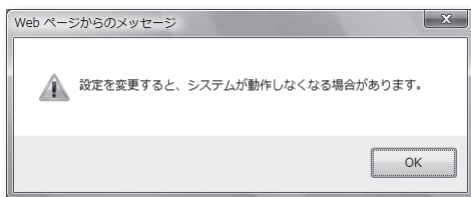
4 「GW-BOX関連詳細設定」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

5 ISDN回線FAX自動着信の
「する」を選択する

6 「設定」ボタンをクリックする

高度な設定



GW-BOX関連詳細設定

ISDN回線FAX自動着信 する しない

設定



お知らせ

- ISDN回線からFAX (G2/G3) 着信があった場合、本設定が「する」に設定されており、ビジネスFAX接続が、「有効」に設定されているときのみ着信できます。「FAX電話機を接続する」(P161)
- ISDN回線からFAX (G2/G3) 着信するためには、ISDN回線契約 (ISDNゲートウェイボックスに接続) となります。

アナログゲートウェイボックスを利用した通話音質を変えるには

アナログ回線を利用して通話をしたときに次のような状況の場合は、設定を変更することができます。

- ・自分の話した声が遅れて自分にも聞こえて通話しにくい
- ・自分の話した声が反響したように聞こえて通話しにくい
- ・相手の声が途切れるとき
- ・相手に自分の声が聞き取りにくいとき

内線電話機からアナログ回線を利用した通話が気になる場合

1 「電話機能」ページにある項目「詳細」をクリックする

2 「高度な設定」ボタンをクリックする

3 「警告画面」が表示されたら、「OK」をクリックする

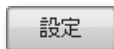
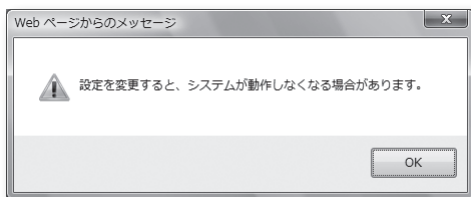
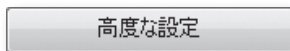
4 「ゲイン設定」ボタンをクリックする

5 現在の状況に合わせて「音質パターン」を選択する

「自分の話した声が気になるとき」「相手の声が途切れるとき」「相手に自分の声が聞き取りにくいとき」「工事保守者設定」から選択してください。

「音質パターン」を変えると「送話」「受話」の設定が自動的に変わる場合があります。

6 「設定」ボタンをクリックする



お知らせ

- 設定を変更した場合は、アナログゲートウェイボックスの再起動が必要になります。
- 「自分の話した声が気になるとき」「相手の声が途切れるとき」「相手に自分の声が聞き取りにくいとき」を選択しても状況がよくなる場合には、工事保守者にご相談ください。
- アナログ回線側の設定値を変更すると、すべての内線電話機でアナログ回線を利用した場合に適用されますので注意してください。
- 「音質パターン」「受話」「送話」などの設定値の組み合わせによっては、状況が悪くなる場合もあります。

ワンポイント

● 送話と受話について

- ・アナログ回線1/2の場合
送話：自分の話した声のレベルを変更できます。
受話：相手の話した声のレベルを変更できます。

単体電話機からの通話で単体電話機の声が聞きにくい場合

1 「電話機能」ページにある項目「詳細」をクリックする

2 「高度な設定」ボタンをクリックする

3 「警告画面」が表示されたら、「OK」をクリックする

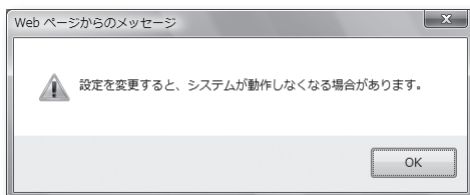
4 「ゲイン設定」ボタンをクリックする

5 状況に合わせて「送話」「受話」を選択する

アナログ回線を利用しない場合は、「利用しない」を選択してください]

6 「設定」ボタンをクリックする

高度な設定



ゲイン設定

送話 -4dB

受話 -2dB

設定

3 ゲートウェイボックスを使う



ワンポイント

●送話と受話について

・単体電話機1/2の場合

送話：相手の話した声のレベルを変更できます。

受話：自分の話した声のレベルを変更できます。



お知らせ

●設定を変更した場合は、アナログゲートウェイボックスの再起動が必要になります。

●設定を変更すると単体電話機から通話するとき、すべての外線および内線に対して適用されますので注意してください。

●「受話」「送話」「音質パターン」の設定値の組み合わせによっては、状況が悪くなる場合もあります。

再起動するには

Webブラウザでの操作により、本商品を再起動させることができます。

本商品を再起動する

STOP お願い

- お話ししている電話機があるときに再起動すると通話は切断されます。ご使用中の電話機などがないか確かめのの上、行ってください。

1 『メンテナンス』ページにある項目『再起動』をクリックする

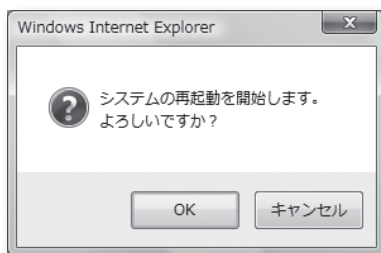
2 「再起動」ボタンをクリックする

画面右上の保存ボタンが点滅している場合は、再起動を行う前に保存する必要があります。

保存せずに再起動するときは、「データ保存しないで再起動する」をチェックしてから「再起動」ボタンをクリックします。

再起動

3 「OK」ボタンをクリックする



お知らせ

- 再起動後、本商品が起動完了するまでに約5分かかります。本商品の起動完了後に、接続している電話機との接続確認を行います。電話機のディスプレイに日時と内線番号が表示されるとご利用可能です。電話機のディスプレイに「IP電話未接続」と表示されている場合、ひかり電話等のご利用はできません。ご利用になれるまで約10分かかることもあります。

無線アクセスポイント、無線ステーションを再起動する

主装置に接続された内蔵無線アクセスポイント、無線アクセスポイント、無線ステーションを本商品のWEBから個別に再起動することができます。

1 「メンテナンス」ページにある項目
「運用状態」をクリックする

2 「無線端末接続状態表示」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 再起動したい内蔵無線アクセス
ポイント、無線アクセスポイント、
無線ステーションを選択する

接続状態が「接続中」で表示されているときの
み選択できます。

4 「再起動」ボタンをクリックする

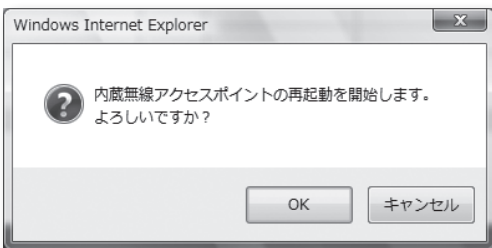
5 確認画面が表示されたら、「OK」
をクリックする

無線端末接続状態表示

内蔵無線アクセスポイント					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
RA-ME-3AC9	AP	192.168.1.199	00022EA03ACA	4.00	接続中

増設無線アクセスポイント、無線ステーション					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
WL-AP2-00D2	AP	192.168.1.195	0020C12D00D3	4.00	接続中

再起動



お知らせ

- 無線アクセスポイント、無線ステーションの詳細については添付のCD-ROMに収録している「Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント(a/b/g)・無線ステーション 取扱説明書」をご参照ください。

再起動するには

アナログゲートウェイボックス、ISDNゲートウェイボックスを再起動する

STOP お願い

本商品に接続されたアナログゲートウェイボックス、ISDNゲートウェイボックスを個別に再起動することができます。アナログ回線1/2、ISDN回線を使用中に再起動すると通話が切断されます。通話状態を確認の上、再起動してください。

1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする2 「ゲートウェイボックス状態表示」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 再起動したいアナログゲート
ウェイボックス／ISDNゲート
ウェイボックスの「再起動」ボタ
ンをクリックする4 確認画面が表示されたら、「OK」
をクリックする

ゲートウェイボックス状態表示

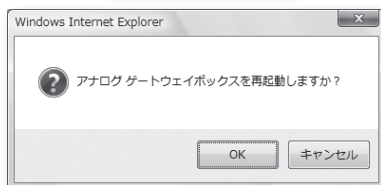
アナログゲートウェイボックス

名称	IPアドレス	MACアドレス	接続状態
RACSIA-ACO	192.168.1.189	00:02:2B:A0:4A:4E	接続中

ISDNゲートウェイボックス

名称	IPアドレス	MACアドレス	接続状態
RACSIA-ICO	192.168.1.188	00:02:2B:A0:3C:AF	接続中

再起動



システムの日時を変更するには

システムの日時を変更することができます。
設定された日時は、電話機のディスプレイに表示し、発信履歴や着信履歴などに記録します。

IP多機能電話機の操作で変更する

管理者電話機に指定されたIP多機能電話機の操作で変更することができます。「管理者電話機を変更するには」(☛P115)設定メニューから「カレンダー・時計設定」を選択してください。(☛基本編「7. ご参考に」→「IP多機能電話機設定メニュー一覧」参照)

Webブラウザで変更する

Webブラウザで変更することができます。

1 「メンテナンス」ページにある項目
「環境設定」をクリックする

2 「日付時刻設定」ボタンを
クリックする

3 正しい日時を指定する

4 「設定」ボタンをクリックする

日付時刻設定

2008 ▼ 年 06 ▼ 月 07 ▼ 日 03 ▼ 時 16 ▼ 分

設定



ワンポイント

- パターンAのひかり電話サービスを利用している場合は設定不要です。定期的に受信する日時情報に自動で更新されます。(☛基本編「1. お使いになる前に」→「ご利用になれる各種サービス」)

Webブラウザのログインパスワードを変更するには

Webブラウザでログインするときに入力するパスワードを変更することができます。

パスワードを変更する

1 『メンテナンス』ページにある項目
『環境設定』をクリックする

2 「システム管理者パスワード設定」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 パスワードを入力する

パスワードを変更するには、現在のパスワードの入力も必要です。

新しいパスワードは半角英数字8文字以内で設定します。

4 「設定」ボタンをクリックする

システム管理者パスワード設定

現在のパスワード	<input type="text" value="admin"/>
新しいパスワード	<input type="text" value="pass "/>

設定



ワンポイント

- 新しいパスワードを入力せずに「設定」ボタンをクリックしたときは、パスワードなしとして設定され、パスワードを入力せずログインできるようになります。
- お買い求め時、パスワードは "admin" に設定されています。
- ユーザ名は "admin" で、変更することはできません。

設置場所が変更になった場合は

本商品は、設置したエリア（NTT東日本エリア／NTT西日本エリア）が正しく設定されていない場合、正常に動作しません。

そのため、設置するエリアが変わった場合は、正しく設定し直す必要があります。

NTT東日本エリア：北海道、東北、関東、甲信越地区

NTT西日本エリア：東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区

設置場所が変更になった場合は、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

設置エリア(NTT東日本／NTT西日本)を変更する

新しい設置場所でのひかり電話回線のご契約内容を確認の上、本商品を接続してから以下の手順に従ってください。

1 『メンテナンス』ページにある項目
『環境設定』をクリックする

2 「設置エリア設定」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 設置エリアを選択する

設置エリア設定

- NTT東日本エリア
北海道、東北、関東、甲信越地区
- NTT西日本エリア
東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区

4 「設定」ボタンをクリックする

設定

5 本商品を再起動する

本商品を再起動すると、新しい設置場所での
ご契約内容が本商品に設定されます。「再起
動するには」(●P166)



お知らせ

☎ひかり電話契約チャネル数は再起動により自動設定されません。以前の設置場所と異なる場合は、正しく設定し直す必要があります。「契約チャネル数を変更したときは」(●P124)

設置場所が変更になった場合は

設置エリア(NTT東日本／NTT西日本)を変更せずに設置場所を変更する

設置場所が変わっても、エリア(NTT東日本エリア／NTT西日本エリア)が変わらない場合やご契約内容に変更がない場合は、設定は不要です。

新しい設置場所でのひかり電話回線のご契約内容を確認の上、本商品を接続し、そのまま電源を入れるか再起動してください。

設定内容を確認するには

設定されているデータの内容を項目別にまとめて確認することができます。
 電話機能設定データ(外線/内線/グループ/着信鳴動/回線ボタン/詳細)
 ネットワーク設定データ(WAN/LAN/詳細/無線/ゲートウェイボックス)
 メンテナンス設定データ(環境設定)

設定内容を確認する

1 「メンテナンス」ページにある項目
「データ管理」をクリックする

2 「システム設定データ確認」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 確認したい項目をクリックする

次の画面に切り替わります。

システム設定データ確認

電話機能設定データ	ネットワーク設定データ
外線	WAN/LAN
内線	詳細
グループ	無線
着信鳴動	ゲートウェイボックス
回線ボタン	メンテナンス設定データ
詳細	環境設定



お知らせ

●表示されたウィンドウは、確認後必ず閉じてください。

設定データをバックアップ／リストアするには

主装置に設定されているシステムデータをファイルにしてパソコンに保存(バックアップ)したり、そのファイルを本商品に復元(リストア)することができます。

設定データをバックアップする

1 「メンテナンス」ページにある項目
「データ管理」をクリックする

2 「システムデータバックアップ/
リストア」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「バックアップファイル作成」
ボタンをクリックする

4 「OK」ボタンをクリックする

バックアップ処理画面に切り替わり、確認画面が表示されるまで待ちます。

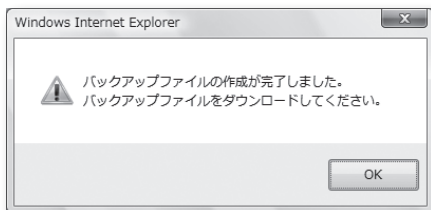
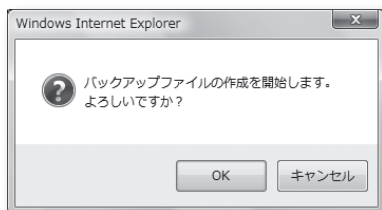
5 「OK」ボタンをクリックする

6 「バックアップファイルダウン
ロード」ボタンをクリックする

7 パソコンに保存する

システムデータ バックアップ／リストア

バックアップファイル作成



バックアップファイルダウンロード

ワンポイント

●ダウンロードしたデータはパソコンで編集することはできません。



お知らせ

- 「バックアップファイル作成」とは、本商品に現在設定されているシステムデータファイルを作成することです。
- パソコンに保存するには、バックアップファイルを作成してから、ダウンロードを行ってください。

設定データをリストアする

リストアが完了すると本商品は自動で再起動します。リストアする前に、ご使用中の電話機などがいないかをお確かめください。

1 『メンテナンス』ページにある項目『データ管理』をクリックする

2 「システムデータバックアップ／リストア」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「参照」ボタンをクリックする

リストアするバックアップファイルを選択します。

4 「バックアップファイルリストア」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

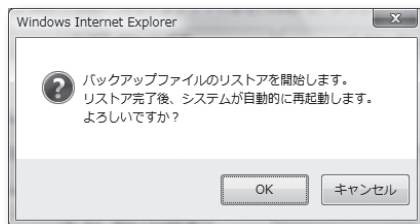
5 「OK」ボタンをクリックする

切り替わる画面の指示に従ってトップページに移動してください。

システムデータ バックアップ／リストア

参照...

バックアップファイルリストア



お知らせ

- リストアすると本商品のデータがすべて書き換わりますのでご注意ください。

お買い求め時の設定に戻すには

設定データをお買い求め時のものに戻すことができます。

IPアドレスのみ初期化する

リセットスイッチを押したまま電源を入れ、4秒以上経過後に離すとIPアドレスとサブネットマスク、DHCPサーバで払い出す情報のみをお買い求め時のものに戻すことができます。

お買い求め時は下記の設定になっています。

- ・ IPアドレス「192.168.1.1」
- ・ サブネットマスク「255.255.255.0」
- ・ DHCP払い出し範囲「192.168.1.100から100個」

すべての設定データを初期化する

1 『メンテナンス』ページにある項目『データ管理』をクリックする

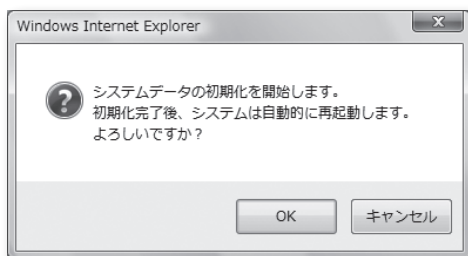
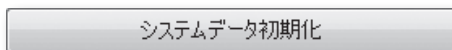
2 「システムデータ初期化」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「初期化」ボタンをクリックする

4 「OK」ボタンをクリックする

切り替わる画面の指示に従ってトップページに移動してください。



ワンポイント

●データを初期化すると、設置エリア (NTT東日本／NTT西日本) の設定は最初にお買い求めいただいたときの設置エリアが設定されます。



お知らせ

●トップページが正常に表示されなかった場合は、時間をあけて再度アクセスしてください。

内蔵無線アクセスポイントを初期化する

本商品に接続されている内蔵無線アクセスポイントのみを初期化することができます。

初期化すると内蔵無線アクセスポイントが自動的に再起動します。使用している無線機器がないか確認の上、行ってください。

1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする

2 「無線端末接続状態表示」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 内蔵無線アクセスポイントを選択
する

接続状態が「接続中」の内蔵無線アクセスポイントのみ選択できます。

4 「初期化」ボタンをクリックする

5 確認画面が表示されたら、「OK」
をクリックする

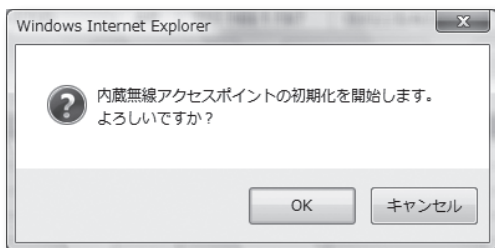
無線端末接続状態表示

内蔵無線アクセスポイント					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
RA-ME-3AC9	AP	192.168.1.199	00022EAC9ACA	4.00	接続中

増設無線アクセスポイント、無線ステーション

名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
WL-AP2-00D2	AP	192.168.1.195	0020C12D00D3		接続中

初期化



お知らせ

- その他の機能や動作については、添付のCD-ROMに収録している「Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション 取扱説明書」をご参照ください。

バージョンを確認するには

現在運用している本商品のソフトウェアのバージョンを確認することができます。
また、再起動することによりバージョンアップできる状態（ファームウェアのダウンロードが完了している状態）のときは、そのバージョンも確認できます。

バージョンを確認する

1 「メンテナンス」ページにある項目「ファームウェア」をクリックする

2 「バージョン表示」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 各バージョンを確認する

新しいバージョンがあるときは、再起動後適用バージョン欄に表示されます。
IPコードレス電話機／無線アクセスポイント／無線ステーション／アナログゲートウェイボックス／ISDNゲートウェイボックスは、「ダウンロード」ボタンをクリックしてバージョンアップファイルをパソコンにダウンロードすることができます。

バージョン表示

バージョン情報		
	バージョン	
	運用中	再起動後適用
システム	02.00	
システムに含まれるファームウェアバージョン情報		
種別	バージョン	
	運用中	再起動後適用
電話機能	02.00	
ネットワーク機能	02.00	
IP多機能電話機	02.00	
IPコードレス電話機	02.00	ダウンロード
無線アクセスポイント(a/b/g)	04.00	ダウンロード
無線ステーション	02.00	ダウンロード
アナログゲートウェイボックス	01.00	ダウンロード
ISDNゲートウェイボックス	01.00	ダウンロード



お知らせ

- 「再起動後適用」欄にバージョンが表示されている場合は、再起動した後に「運用中」のバージョン欄に「ダウンロード」ボタンが表示されます。
- IP多機能電話機、IPコードレス電話機、アナログゲートウェイボックス、ISDNゲートウェイボックスは、本商品に接続して起動することで自動的にバージョンアップされます。
- 無線アクセスポイント(a/b/g)は、v3.00以上のバージョンの製品が接続された場合は、自動的にバージョンアップされます。
- IPコードレス電話機のバージョンアップを手動で行う場合は、「IPコードレス電話機 取扱説明書」をご参照ください。
- 無線アクセスポイント・無線ステーションのバージョンアップを手動で行う場合は、「無線アクセスポイント(a/b/g)・無線ステーション 取扱説明書」をご参照ください。

ファームウェアを更新するには

システムの最新プログラムをネットワークなどからダウンロードしてバージョンアップすることができます。

ファームウェア自動更新設定を変更する

1日1回、新しい重要ファームウェアがあるか自動でチェックします。ある場合は自動で更新して再起動し、本商品に反映させます。

お買い求め時は「自動更新」に設定されていますが、これを変更することができます。

1 「メンテナンス」ページにある項目
「環境設定」をクリックする2 「ファームウェア更新設定」ボタン
をクリックする3 重要ファームウェア更新方法を
選択する

「自動更新しない(ユーザ通知のみ)」を選択した場合、新しいファームウェアがある場合は、管理者電話機のディスプレイに通知し、自動更新は行いません。

「自動更新しない」を選択した場合は、自動でのダウンロードおよび通知は行いません。

4 ファームウェア自動更新時刻を
設定する

もし新しいファームウェアがあった場合、この時刻に更新し、本商品を自動で再起動します。

5 自動再起動開始時刻を設定する

手動更新により新しいファームウェアをダウンロード後、再起動していない場合、この時刻に本商品を自動で再起動します。

6 「設定」ボタンをクリックする

ファームウェア更新設定

重要ファームウェア更新 自動更新する

ファームウェア自動更新時刻 04 時 00 分

自動再起動開始時刻 02 時 00 分

設定



お知らせ

- ひかり電話をご利用ではない場合は、「ユーザ通知」およびファームウェア自動更新を行うことができません。ローカルファームウェア更新を行ってください。「ローカルファイルを使ってファームウェア更新を行う」(P184)

ファームウェアを更新するには

ファームウェア更新(自動/手動)をする

新しいファームウェアがあるかどうか自動的に1日1回定期的にチェックし、ある場合はダウンロードします。手動で更新チェックを行い、随時ダウンロードすることもできます。

1 「メンテナンス」ページにある項目「ファームウェア」をクリックする

2 「ファームウェア更新」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「ファームウェア更新(自動/手動)」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

4 「バージョンチェック」ボタンをクリックする

ファームウェア更新情報を確認します。「バージョンチェック」ボタンの右側に「ダウンロード開始」ボタンが表示されなかった場合は、更新できる新しいバージョンはありません。

5 「ダウンロード開始」ボタンをクリックする

ダウンロードと更新処理が終わるまで数分間かかります。
ファームウェア更新情報の欄に「ファームウェアの更新が完了しました。再起動後に適用されます。」と表示されれば完了です。
また、自動再起動時刻も表示されます。

ファームウェア更新

ファームウェア更新(自動/手動)

バージョンチェック

ダウンロード開始



ワンポイント

- 新しいファームウェアは、再起動後に適用されます。

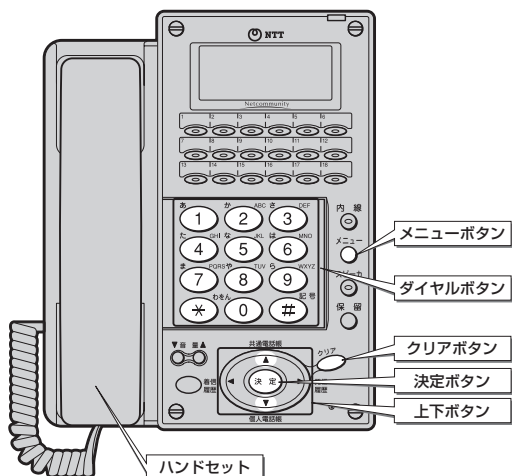


お知らせ

- ひかり電話をご利用ではない場合は、「ユーザ通知」およびファームウェア自動更新を行うことができません。ローカルファームウェア更新を行ってください。「ローカルファイルを使ってファームウェア更新を行う」(P184)

IP多機能電話機の操作により更新する

管理者電話機に指定されたIP多機能電話機の操作でファームウェアを更新することができます。「管理者電話機を変更するには」(P115)



更新チェックを行う

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

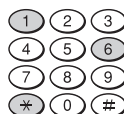
機能メニュー
1: ユーザ 状態変更
2: 他ユーザ 状態表示
3: 不在着信転送設定

メニュー



2 更新チェックの番号 (* 6 1) をダイヤルボタンで押す

更新チェック
運用バージョン: 01.00
最新バージョン: 01.10
ダウンロード可能ファイルあり



運用方法
メンテナンス

ファームウェアを更新するには

ファームウェアのダウンロードを行う

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

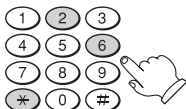
機能メニュー
1: ユーザ状態変更
2: 他ユーザ状態表示
3: 不在着信転送設定



2 更新チェックの番号[*][6][2]をダイヤルボタンで押す

ファームウェアダウンロードを実行してよいか確認する画面が表示されます。

ファームウェアダウンロード
ダウンロード開始します



3 ダウンロードが完了したら、主装置の再起動を行う

ダウンロードに成功した場合、管理者IP多機能電話機のディスプレイには「重要ファームウェアダウンロード済み」または「ファームウェアダウンロード済み」と表示されます

12月16日(火) 1:35PM
10 営業部
ファームウェアダウンロード済み

IP多機能電話機の操作により主装置を再起動する

ファームウェアダウンロード完了後、管理者電話機に指定されたIP多機能電話機の操作で再起動することができます。「管理者電話機を変更するには」(▶P115)

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

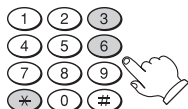
機能メニュー
1: ユーザ状態変更
2: 他ユーザ状態表示
3: 不在着信転送設定



2 更新チェックの番号[*][6][3]をダイヤルボタンで押す

システムの再起動を実行してよいか確認する画面が表示されます。

システムを再起動します
よろしいですか?
1: はい
0: いいえ



3 確認実行の番号[1]をダイヤルボタンで押す



ワンポイント

- 再起動中は、IP多機能電話機のディスプレイに「主装置再起動中」と表示されます。

主装置再起動時刻を設定する

手動ダウンロード完了後に自動で再起動する時刻を、一時的にメニューから変更することができます。

1 ハンドセットを置いたまま、メニューボタンを押す

機能メニュー

- 1: ユーザ 状態変更
- 2: 他ユーザ 状態表示
- 3: 不在着信転送設定

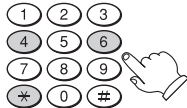
メニュー



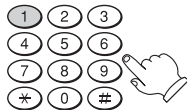
2 主装置再起動の番号[*][6][4]をダイヤルボタンで押す

再起動時刻設定

02時00分



3 確認実行の番号[1]をダイヤルボタンで押す

再起動時刻設定
主装置再起動時刻の
設定完了しました

お知らせ

- 新しいファームウェアは、再起動後に適用されます。
- 「重要ファームウェアあり」、「ファームウェアあり」、「重要ファームウェアダウンロード済み」および「ファームウェアダウンロード済み」の各表示については管理者電話機のみに表示されます。
- 管理者電話機やWebブラウザからの更新チェック、または自動更新チェックによって新しいファームウェアがあった場合、管理者電話機のディスプレイに「重要ファームウェアあり」「ファームウェアあり」が表示されます。
- 「重要ファームウェアあり」「ファームウェアあり」が表示されていない状態では、ファームウェアダウンロード操作を行うことはできません。
- 「重要ファームウェアダウンロード済み」および「ファームウェアダウンロード済み」が表示されていない状態では、メニュー操作による本商品の再起動はできません。
- 手動ダウンロードが完了するとシステムに登録した時間に再起動を行います。
- ファームウェア更新完了後の再起動は、外線の使用状況を監視しています。外線が1分間使われなかった場合に開始されます。
- 再起動時刻設定で設定された時刻は、手動によるファームウェアダウンロード操作後の自動再起動時刻として使用されます。
- 管理者電話機のメニューからの再起動は、外線通話がない場合にのみ行うことができます。
- ファームウェア更新時の再起動後、IP多機能電話機等の接続装置のファームウェアの更新も同時に行われるときは、接続装置のファームウェア更新に時間がかかります。

STOP お願い

- ファームウェア更新のダウンロード中は、電源やLANケーブルを絶対に外さないでください。故障の原因になります。

ファームウェアを更新するには

ローカルファイルを使ってファームウェア更新を行う

本商品のファームウェアファイルがパソコン内にある場合、指定してアップロードすることができます。

1 『メンテナンス』ページにある項目
『ファームウェア』をクリックする

2 「ファームウェア更新」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 「ローカルファームウェア更新」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

4 「参照」ボタンをクリックする

アップロードするファイルを選択します。

5 「ファームウェアアップロード」
ボタンをクリックする

ファームウェア更新

ローカルファームウェア更新

参照...

ファームウェアアップロード



ワンポイント

- アップロード完了後、本商品を再起動する必要があります。

STOP お願い

- ファームウェア更新中は電源やLANケーブルを絶対に外さないでください。故障の原因になります。

電話機や無線端末の接続状況を確認するには

電話機や無線端末の接続状況をWebブラウザで確認することができます。

内線電話機の接続状況を確認する

1 「メンテナンス」ページにある項目
「運用状態」をクリックする

2 「内線電話機状態表示」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 電話機の状態を確認する

「更新」ボタンをクリックすると、最新の情報
に表示し直すことができます。

内線電話機状態表示

内線 番号	電話機種別	内線名称	状態	内線番号自動通付		
				割り 可能	MACアドレス	割り 解放
10	IP多機能電話機	田中	接続中	×	000C-10000000	<input type="checkbox"/>
11	IPコードレス電話機	鈴木	接続中	×	000C-10000000	<input type="checkbox"/>
12	IP多機能電話機	中村	処理中	×	000C-10000000	<input type="checkbox"/>
13	IP多機能電話機	武田	未接続	○		<input type="checkbox"/>
14	IP多機能電話機	高橋	接続中	×	000C-10000000	<input type="checkbox"/>



ワンポイント

●「状態」に表示される状態については、次の通りです。

状態	状況
未接続	RACSIA主装置に接続されていない状態 (状態別転送設定で圏外に設定されている転送設定が有効)
処理中	登録処理中
接続中	RACSIA主装置に接続が完了した状態 (状態別転送設定で圏内に設定されている転送設定が有効、圏内に転送設定がなく呼出に反応がない場合は、 圏外の転送設定が有効)

電話機や無線端末の接続状況を確認するには

無線端末の接続状況を確認する

1 「メンテナンス」ページにある項目「運用状態」をクリックする

2 「無線端末接続状態表示」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 無線端末の状態を確認する

無線端末接続状態表示

内蔵無線アクセスポイント					
名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
RA-ME-3AC9	AP	192.168.1.199	00022BA03ACA	4.00	接続中

増設無線アクセスポイント、無線ステーション

名称	種別	IPアドレス	MACアドレス	バージョン	接続状態
WL-AP2-00D2	AP	192.168.1.195	0020C12D00D3	4.00	接続中

ワンポイント

●ブラウザから内蔵無線アクセスポイントの自動登録を開始するには

この画面で「接続中」の内蔵無線アクセスポイントを選択して「自動登録開始」ボタンをクリックすることにより、無線機器の自動登録を開始することができます。(本商品背面の「登録」スイッチを3秒以上押し続けたときと同様になります。)但し、「登録」スイッチで自動登録を既に開始している場合は行わないでください。

●「接続状態」に表示される状態については、次の通りです。

接続状態	状況
未接続	RACSA主装置に接続されていない状態
処理中	登録処理中
取得中	無線アクセスポイントからのデータ転送取得中
取得待ち	無線アクセスポイントからのデータ転送取得待ち
同期中	無線アクセスポイントへのデータ転送中
同期待ち	無線アクセスポイントへのデータ転送待ち状態
更新中	バージョンアップ実施中
更新待ち	バージョンアップ待ち状態
接続中	RACSA主装置への接続が完了した状態

※「設定自動同期処理」と「無線自動バージョンアップ処理」は、すべて合わせて同時に1つの処理しかできないので「取得待ち」「同期待ち」「更新待ち」と表示される場合があります。

●お買い求め時、内蔵無線アクセスポイントの名称は、" RA-ME-□□□□ " (□部分は無線MACアドレスの下位4桁) に設定されています。無線MACアドレスは本商品背面のシールに記載されています。

●無線アクセスポイントを初めて接続すると、無線アクセスポイントの登録情報が記録されます。この情報は、「接続状態」が未接続の場合に消去することができます。消去する場合は、アクセスポイントの電源をOFFにして「接続状態」を未接続にしてから削除したい無線アクセスポイントの情報を選択して「削除」ボタンをクリックしてください。

ゲートウェイボックスの接続状態を
確認するには

ゲートウェイボックスの接続状態をWebで確認することができます。

ゲートウェイボックスの接続状態を確認する

- 1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする

- 2 「ゲートウェイボックス状態表示」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

- 3 ゲートウェイボックスの状態を
確認する

「更新」ボタンをクリックすると、最新の情報
に表示し直すことができます。

ゲートウェイボックス状態表示

アナログ ゲートウェイボックス

名称	IPアドレス	MACアドレス	接続状態
RAC\$IA-ACO	192.168.1.189	00:02:2B:A0:4A:4E	接続中

ISDN ゲートウェイボックス

名称	IPアドレス	MACアドレス	接続状態
RAC\$IA-ICO	192.168.1.189	00:02:2B:A0:3C:AF	接続中



お知らせ

- 主装置とゲートウェイボックスの接続が完了すると「接続状態」に接続中と表示されます。

ログ情報(動作履歴)を確認するには

内線電話機などの動作履歴をWebブラウザで確認することができます。

全動作履歴を表示する

1 「メンテナンス」ページにある項目
「運用状態」をクリックする

2 「動作履歴表示」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

3 「全動作履歴」ボタンをクリック
する

4 表示内容を確認する

動作履歴表示

全動作履歴



電話関連動作履歴を表示する

1 「メンテナンス」ページにある項目「運用状態」をクリックする

2 「動作履歴表示」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「電話関連動作履歴」ボタンをクリックする

4 表示内容を確認する

動作履歴表示

電話関連動作履歴



本商品のIPアドレスがわからなくなった 場合には

本商品のIPアドレスとDHCPサーバで払い出す情報のみをお買い求め時のものに戻すことができます。「IPアドレスのみ初期化する」(➡P176)

IPアドレス割付状態(DHCP状態)を確認するには

DHCPサーバ機能を有効にしている場合、各機器へのIPアドレス割付状態を確認することができます。

またアクセスサービス種別で、フレッツ 光ネクストを利用している場合にLAN側に接続されたルータに払い出されたIPv6のプレフィックス内容を確認することができます。

DHCP サーバ(IPv4)によるIPアドレス割付状態を確認する

1 「メンテナンス」ページにある項目
「運用状態」をクリックする

2 「DHCP割付状態表示 (IPv4)」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 確認する

DHCP割付状態表示(IPv4)

DHCP割付最大可能個数:100個 全て選択/解除

No.	IPアドレス	MACアドレス	ホスト名	状態	リース終了時間	削除
1	192.168.1.192	08002008000000000000000000000000	RACSIA-ICO	リース中	2009/06/11 18:47	<input type="checkbox"/>
2	192.168.1.194	08002008000000000000000000000000	ibuser-PC	リース中	2009/06/11 18:51	<input type="checkbox"/>
3	192.168.1.193	08002008000000000000000000000000	IP-KT	リース中	2009/06/11 23:29	<input type="checkbox"/>
4	192.168.1.191	08002008000000000000000000000000	WL-AP2	リース中	2009/06/11 23:48	<input type="checkbox"/>
5	192.168.1.190	08002008000000000000000000000000	WL-AP2	リース中	2009/06/11 23:49	<input type="checkbox"/>
6	192.168.1.196	08002008000000000000000000000000	WL-ST1	リース中	2009/06/12 10:41	<input type="checkbox"/>
7	192.168.1.188	08002008000000000000000000000000	RACSIA-ICO	リース中	2009/06/12 22:47	<input type="checkbox"/>
8	192.168.1.197	08002008000000000000000000000000	RACSIA-ACO	リース中	2009/06/12 23:21	<input type="checkbox"/>



ワンポイント

- 「状態」には、IPアドレスのリース状態が以下のように表示されます

リース中	割り当てたIPアドレスが有効期限内の状態
リース終了	リース期限が切れた、もしくはIPアドレスが返却された状態
重複	リース更新時に同じIPアドレスをもつ機器が存在していたため、リース更新できなかった状態 (このとき、「リース終了時間」には重複状態となった時間を表示します)

- 削除欄で選択してから「削除」ボタンをクリックすると、選択したMACアドレスに対するDHCPの割り付けを解除します。使用していないIPアドレスを削除することにより、再度割り付けることができます。

DHCP サーバ(IPv6)によるIPアドレス割付状態を確認する

1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする

2 「DHCP割付状態表示 (IPv6)」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

DHCP割付状態表示(IPv6)

3 確認する

プレフィックス	MACアドレス	状態	リース終了時間	削除
2408:40:319f:1000::/52	08:00:2b:00:00:00	リース中	2009/05/10 04:54	



お知らせ

- DHCP IPv6サーバで払い出し可能な台数は1台です。

ネットワーク情報を確認するには

LANやWANの接続先情報やそれぞれの送受信バケットをWebブラウザで確認することができます。

LAN / WANの接続状態を確認する

1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする

2 「ネットワーク情報表示」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「接続先情報」ボタンをクリック
する

次の画面に切り替わります。

4 確認する

詳細情報のリンクをクリックするとさらに詳しい情報を表示することができます。

ネットワーク情報表示

接続先情報

LAN接続状態			
IPアドレス	サブネットマスク		
192.168.1.1	255.255.255.0		

WAN接続状態			
接続先名	IPアドレス	サブネットマスク	詳細情報
ひかり 電話用ネットワーク(フレッツ 光ネクスト)	192.168.1.1	255.255.255.0	詳細 詳細
インターネット 接続	200.1.1.1	255.255.255.0	—
フレッツ-VPN接続	—	—	—
フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続	—	—	—
リモートマネジメント 接続	—	—	—

ワンポイント

- WAN側の接続状態は、IPアドレスとサブネットマスクが表示されている場合は、PPPoEによるインタフェース等の接続中の情報が表示されます。
- 詳細情報の「詳細」をクリックするとさらに詳しい情報が表示されます。



お知らせ

- 認証情報に誤りがあるときやPPPoEの空きセッションがないなど接続できない場合は、IPアドレスが表示されません。「ネットワーク」ページの「WAN」で設定内容などを確認してください。

ネットワーク情報を確認するには

パケット統計情報を確認する

送受信したパケット数を統計情報として確認することができます。

1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする

2 「ネットワーク情報表示」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「パケット統計情報」ボタンをク
リックする

4 確認する

「更新」ボタンをクリックして最新の情報に更
新することができます。
「クリア」ボタンをクリックしてリセットする
ことができます。

ネットワーク情報表示

パケット統計情報

パケット統計情報

接続先名	受信			送信		
	累計	失敗	破棄	累計	失敗	破棄
LAN	2682	0	0	2742	0	0
ひかり電話用ネットワーク (Bフレッツ)	0	0	0	13	0	0
インターネット	0	0	0	0	0	0
フレッツ・VPN	0	0	0	0	0	0
フレッツ・スクウェア	0	0	0	0	0	0
リモートマネジメント	0	0	0	0	0	0

パケット統計情報をクリアする場合は、クリアボタンを押してください。



ワンポイント

●表示するパケット数は、電源を入れた後、または前回「クリア」ボタンをクリックした後の累計値です。

ネットワーク詳細情報を確認する

ネットワークの各種情報（デフォルトルート、IPルーティング情報、DNSサーバアドレス）をWebブラウザで確認することができます。

1 「メンテナンス」ページにある項目
「運用状態」をクリックする

2 「ネットワーク情報表示」ボタン
をクリックする

3 「ネットワーク詳細情報」ボタン
をクリックする

4 確認する

ネットワーク情報表示

ネットワーク詳細情報

デフォルトルート

IPアドレス	経路先
—	—

IPルーティング情報

IPアドレス	サブネットマスク	経路先
192.168.1.0	255.255.255.0(24)	LAN

DNSサーバアドレス

プライマリDNSサーバ\IPアドレス	セカンダリDNSサーバ\IPアドレス
—	—

システム情報をファイルとして パソコンに保存するには

電話機能やネットワークに関するシステムの情報を1つのファイルにしてダウンロードすることができます。

システム情報をダウンロードする

1 『メンテナンス』ページにある項目
『運用状態』をクリックする

2 「システム情報ダウンロード」
ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「システム情報ファイル作成」
ボタンをクリックする

ダウンロードするためのファイルを作成しま
す。
次の画面に切り替わります。

4 「OK」ボタンをクリックする

作成処理画面に切り替わり、確認画面が表示
されるまで待ちます。

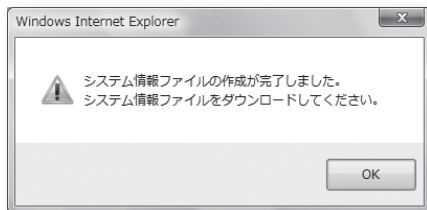
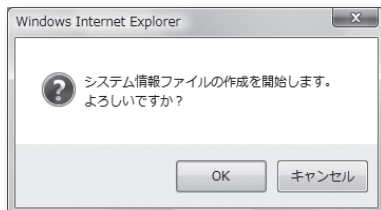
5 「OK」ボタンをクリックする

6 「システム情報ファイルダウン
ロード」ボタンをクリックする

手順3で作成したファイルをパソコンにダウ
ンロードします。

システム情報ダウンロード

システム情報ファイル作成



システム情報ファイルダウンロード

WAN側ネットワークを手動操作で
接続／切断するには

インターネットやフレッツ・VPNの接続／切断を手動で行うことができます。

WAN側ネットワークを接続／切断する

1 「メンテナンス」ページにある項目
「手動操作」をクリックする

2 「WAN側ネットワーク接続／切
断」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 接続したいネットワークの
「接続」ボタンをクリックする

「接続」ボタンをクリックすると選択したネット
ワークのPPPoE接続を開始します。

「状態」に接続中と表示されている場合は、「切
断」ボタンが表示され、クリックすると選択
したネットワークのPPPoEを切断します。

WAN側ネットワーク接続／切断

接続先名	IPアドレス	サブネットマスク	状態	
インターネット接続	—	—		接続
フレッツ・VPN接続	—	—		接続
フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続	—	—		接続
リモートマネジメント接続	—	—		接続

接続



お知らせ

- 手順3では、「ネットワーク」ページの「WAN」で設定されているネットワークが表示されます。（インターネット接続、フレッツ・VPN 接続、フレッツ・スクウェア接続／フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト接続、リモートマネジメント接続）
- この画面で「切断」ボタンをクリックした場合は、自動接続の設定が「あり」に設定されていても、システムを再起動するか、手動で接続操作するまでWAN側ネットワークは接続されません。
- 接続された場合、IPアドレスとサブネットマスクの情報が表示されます。
- 認証情報に誤りがあるときやPPPoEの空きセッションがないときは、「接続」ボタンをクリックしても接続できません。「ネットワーク」ページの「WAN」で設定内容などを確認してください。

WAN側のIPアドレスを再取得するには

フレッツ・光プレミアムで運用されている場合は、WAN側IPアドレスを取得し直すことができます。

WAN側のIPアドレスを再取得する

1 『メンテナンス』ページにある項目
『手動操作』をクリックする

2 「WAN側ネットワーク接続／切
断」ボタンをクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「再取得」ボタンをクリックする

外線通話中の場合は、通話終了後に再取得処
理が開始されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

WAN側ネットワーク接続／切断

接続先名	IPアドレス	サブネットマスク	状態	
ひかり電話オフィスタイプ	192.168.0.211 (無期限)	255.255.255.0(24)	接続中	再取得
インターネット接続	—	—		接続
フレッツ・VPN接続	—	—		接続
フレッツ・スクウェア接続	—	—		接続
リモートマネジメント接続	—	—		接続

再取得



お知らせ

- WAN側IPアドレスの再取得は、フレッツ・光プレミアムでひかり電話オフィス契約で接続した場合のみ、利用できる機能です。

ひかり電話を手動操作で接続するには

本商品のVoIPランプが赤点灯し、IP多機能電話機とIPコードレス電話機に「IP電話未接続」が表示されている場合、手動操作で接続を開始してひかり電話サービスをご利用可能な状態にすることができます。また、接続中は、切断することができます。

手動操作で接続する

1 『メンテナンス』ページにある項目
『手動操作』をクリックする

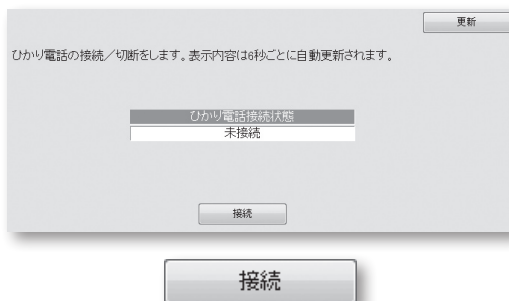
2 「ひかり電話接続／切断」ボタン
をクリックする

次の画面に切り替わります。

3 「接続」ボタンをクリックする

すでに接続済みの場合は、「切断」ボタンが表示されます。

ひかり電話接続／切断



ワンポイント

●ひかり電話サービスが正常に接続されていないとき、IP多機能電話機とIPコードレス電話機のディスプレイに「IP電話未接続」と表示されます。



お知らせ

●切断するときは外線でお話している電話機がないか確認してください。お話している電話機がある場合、通話は切断されます。

●接続中の状態で切断操作を行うと、30分後に自動的に再接続され、ひかり電話サービスがご利用可能な状態になります。

他の機器の接続確認を行うには

主装置よりIP多機能電話機等LAN側のIPアドレスを指定して制御用データを送り、正しい返答が得られるかによってその機器の接続を調べることができます。

PINGを送信する

1 「メンテナンス」ページにある項目
「手動操作」をクリックする

2 「接続確認(PING送信)」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 接続確認先IPアドレスを
入力する

4 送出回数を選択する

回数を指定しない場合は「継続して送信する」を選択します。

5 「接続確認を開始」ボタンを
クリックする

送出回数を指定した場合は、指定回数終了後に結果が表示されます。

「継続して送信する」を指定した場合は、「接続確認を停止」ボタンをクリックしてください。

画面に表示されるテスト結果に「0% packet loss」という表示があれば、接続の確認ができています。

この表示がなければ、接続の確認ができていません。

接続確認(PING送信)

接続確認先

送信回数

5回

接続確認を開始



ワンポイント

- 「接続確認を停止」ボタンをクリックして、途中でPING送信をやめることができます。

パケットモニタを行うには

LAN / WANで送受信されているパケットをプロトコルなどの条件を指定し、結果をファイルにしてパソコンにダウンロードすることができます。

ファイルにしてパソコンにダウンロードする

1 『メンテナンス』ページにある項目
『手動操作』をクリックする

2 「パケットモニタ」ボタンを
クリックする

次の画面に切り替わります。

3 送信元ホスト名を入力する

ホストを指定せずにすべてモニタする場合は
何も入力せずに次へ進みます。

4 送信先ホスト名を入力する

ホストを指定せずにすべてモニタする場合は
何も入力せずに次へ進みます。

5 対象プロトコルを選択する

UDPのみ、すべて、TCPのみ、TCP/UDP
のみから選択します。

6 ポート番号を入力する

すべてのポートをモニタする場合は、何も入
力せずに次へ進みます。

7 モニタ対象インタフェースを選
択する

8 パケットモニタ方式「ファイルに
出力する(テキスト形式)」を選択
する

9 モニタパケット数を選択する

10 「パケットモニタを開始」ボタ
ンをクリックする

パケットモニタ

送信元ホスト名

送信先ホスト名

対象プロトコル

UDPのみ

ポート番号

モニタ対象インタフェース

LAN

パケットモニタ方式

ファイルに出力する(テキスト形式)

モニタパケット数

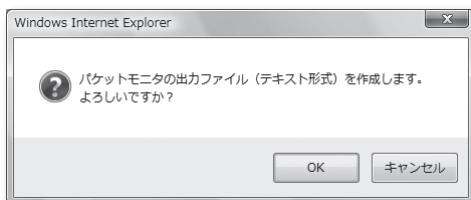
10個

パケットモニタを開始

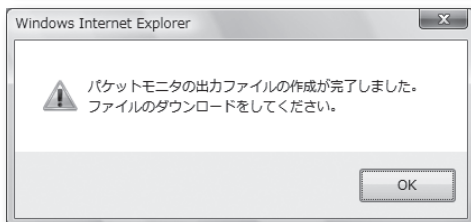
パケットモニタを行うには

11 「OK」ボタンをクリックする

パケットモニタファイル作成処理画面に切り替わり、確認画面が表示されるまで待ちます。



12 「OK」ボタンをクリックする



13 「ファイルダウンロードする」 ボタンをクリックする

作成したファイルをパソコンにダウンロードします。

ファイルをダウンロードする



お知らせ

- 手順8で「ファイルに出力する (専用形式)」を選択した場合は、TCPダンプ形式で出力します。内容をご覧になるには、対応のツールをご使用ください。

ゲートウェイボックスを接続するには

本商品では、ひかり電話以外にもISDN回線やアナログ外線を受容することのできるゲートウェイボックスを接続することができます。

接続できるゲートウェイボックス

本商品には、下記のゲートウェイボックスを接続することができます。

名称	概要
アナログゲートウェイボックス	アナログ回線を2回線と単体電話機を2台接続できるゲートウェイボックス
ISDNゲートウェイボックス	ISDN回線を1回線収容できるゲートウェイボックス

RACISIA主装置とゲートウェイボックスの接続方法は、基本編「1. お使いになる前に」→「機器を接続するには」をご参照ください。

ゲートウェイボックスを増設した場合は、以下の設定を行う必要があります。

- 「アナログ回線の契約電話番号を設定する」(●P150)
- 「ISDN回線の契約電話番号を設定する」(●P154)
- 「電話機にフレキシブルボタンを設定するには」(●P97)
- 「指定した電話機だけ着信音を鳴らすには」(●P52)

STOP お願い

- ゲートウェイボックスを接続する場合は、必ずRACISIAのLAN側ネットワークアドレスと同じネットワークに接続してください。
- ゲートウェイボックスのIPアドレス等のネットワーク設定や音質に関する設定は、RACISIA主装置で一括設定を行いますので、ゲートウェイボックスを接続した状態でRACISIA主装置のWEB設定から行ってください。



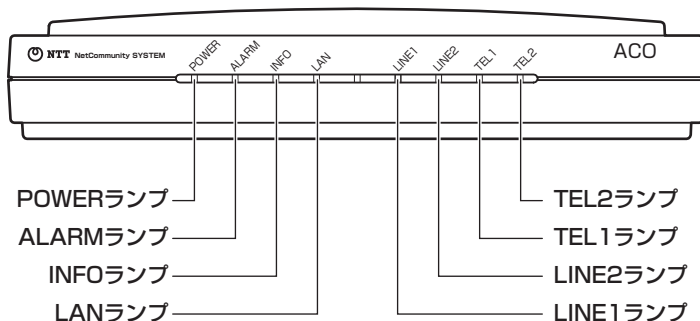
お知らせ

- RACISIA主装置に接続されたゲートウェイボックスのソフトウェアのバージョンが、RACISIA主装置に格納されているゲートウェイボックスのプログラムバージョンと異なる場合、自動的にバージョンアップを行う機能があります。
- RACISIA主装置にゲートウェイボックスを1度接続が完了すると、アナログゲートウェイボックス、ISDNゲートウェイのLANのMACアドレスを自動的に記録します。このため、接続するゲートウェイボックスを故障等で別なものに変更する場合には、「接続するゲートウェイボックスを変更する場合は」(●P211)をご参照ください。
- RACISIA v1.00からv2.00へバージョンアップしてゲートウェイボックスを増設する場合は、さらに単体電話機の接続設定が必要です。「単体電話機の接続設定を行う」(●P159)
- ゲートウェイボックスがRACISIA主装置に接続完了した場合、ゲートウェイボックスのINFOランプが点灯になります。
- ゲートウェイボックスは、初期値でDHCPクライアントが有効になっています。
- RACISIA主装置に接続されたゲートウェイボックスの状態は、RACISIA主装置のWEB設定の「ネットワーク」→「ゲートウェイボックス」で確認することができます。「ゲートウェイボックスの接続状況を確認するには」(●P187)
- ISDN回線から発信した場合の発信者番号通知については、本商品では網の契約ではなく、本商品の設定によって決まります。初期値は、「通知する」に設定されていますので通知しない設定にするときは、設定を変更してください。
- トップページに表示されるアナログ回線1/2の表示は、アナログ回線1/2の「利用する」「利用しない」の設定にかかわらず、アナログゲートウェイボックスの接続が完了した時点で、「利用できます」と表示されます。「アナログ回線の契約電話番号を設定する」(●P150)
- トップページに表示されるISDNゲートウェイボックスの表示は、ISDN回線の「利用する」「利用しない」の設定にかかわらず、ISDNゲートウェイボックスの接続が完了して回線が接続されている時点で、「利用できます」と表示されます。「ISDN回線の契約電話番号を設定する」(●P154)

ゲートウェイボックスを接続するには

アナログゲートウェイボックスの各部の名称とはたらき

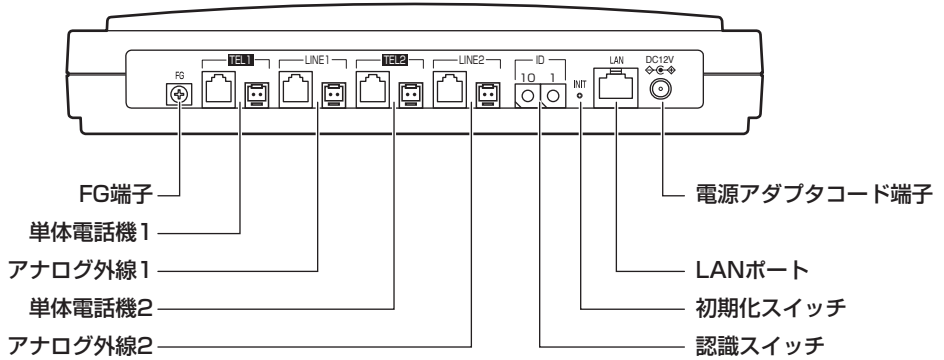
【前面】



● ランプ表示

名称	表示	状態	説明
POWERランプ	POWER	電源ON/OFFの状態を示します。	消灯：電源オフ 点灯：電源オン
ALARMランプ	ALARM	装置のALARM状態を示します。	消灯：通常動作状態 点灯：主装置発見処理中 点滅：装置異常
INFOランプ	INFO	装置の活性状態を示します。	点灯：装置の通常状態 高速点滅：装置の起動中 低速点滅：ファームウェアダウンロード中
LANランプ	LAN	LANの状態を示します。	消灯：LANリンクできない状態 点灯：LANリンク中 データ受信なし 100Mbps接続時：緑点灯 10Mbps接続時：オレンジ点灯 点滅：LANリンク中 データ受信あり
LINE1ランプ	LINE1	アナログ外線1の使用状態を示します。	消灯：対応回路が空き状態 点灯：対応回路が使用状態
LINE2ランプ	LINE2	アナログ外線2の使用状態を示します。	消灯：対応回路が空き状態 点灯：対応回路が使用状態
TEL1ランプ	TEL1	単体電話機1の使用状態を示します。	消灯：単体電話機1が空き状態 点灯：単体電話機1が使用状態
TEL2ランプ	TEL2	単体電話機2の使用状態を示します。	消灯：単体電話機2が空き状態 点灯：単体電話機2が使用状態

【背面】

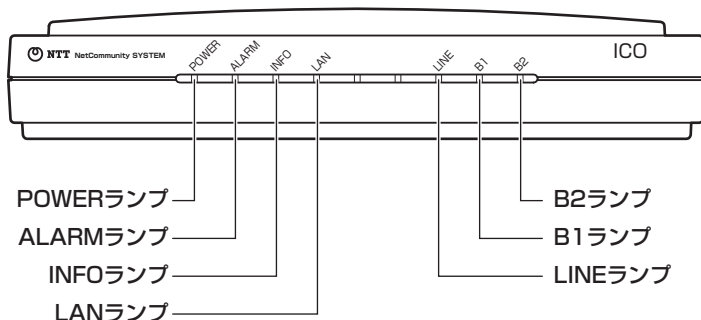


名称	表示	説明
LANポート	LAN	RACSLA主装置やHUBのLANポートと接続します。
電源アダプタコード端子	DC12V	当社指定の電源アダプタを接続します。
初期化スイッチ	INIT	電源投入時、約15秒間押し続けると設定を初期化します。
認識スイッチ	ID	「09」に設定することでゲートウェイボックスのネットワーク設定を一時的に固定IPアドレス(192.168.1.11/255.255.255.0)にして動作させる場合に変更します。
アナログ外線1	LINE1	アナログ外線1を接続します。
アナログ外線2	LINE2	アナログ外線2を接続します。
単体電話機1	TEL1	アナログ通信機器(電話機、FAXなど)を接続します。(PB方式)
単体電話機2	TEL2	
FG端子	FG	アース線を接続するための端子です。

ゲートウェイボックスを接続するには

ISDNゲートウェイボックスの各部の名称とはたらき

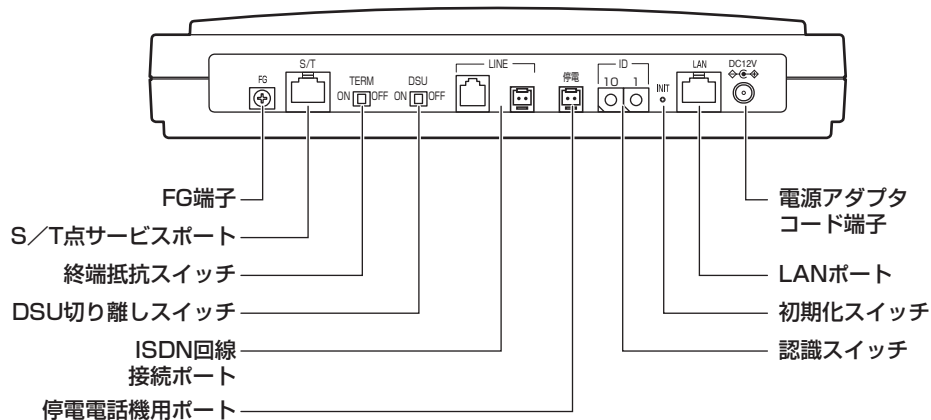
【前面】



●ランプ表示

名称	表示	状態	説明
POWERランプ	POWER	電源ON/OFFの状態を示します。	消灯：電源オフ 点灯：電源オン
ALARMランプ	ALARM	装置のALARM状態を示します。	消灯：通常動作状態 点灯：主装置発見処理中 点滅：装置異常
INFOランプ	INFO	装置の活性状態を示します。	点灯：装置の通常状態 高速点滅：装置の起動中 低速点滅：ファームウェアダウンロード中
LANランプ	LAN	LANの状態を示します。	消灯：LANリンクできない状態 点灯：LANリンク中 データ受信なし 100Mbps接続時：緑点灯 10Mbps接続時：オレンジ点灯 点滅：LANリンク中 データ受信あり
LINEランプ	LINE	ISDN回線の同期状態を示します。	消灯：同期未確立状態 点灯：同期確立状態
B1ランプ	B1	B1回線の使用状態を示します。	消灯：対応回路が空き状態 点灯：対応回路が使用状態
B2ランプ	B2	B2回線の使用状態を示します。	消灯：対応回路が空き状態 点灯：対応回路が使用状態

【背面】



名称	表示	説明
LANポート	LAN	RACSLIA主装置やHUBのLANポートと接続します。
電源アダプタコード端子	DC12V	当社指定の電源アダプタを接続します。
初期化スイッチ	INIT	電源投入時、約15秒間押し続けると設定を初期化します。
認識スイッチ	ID	「09」に設定することでゲートウェイボックスのネットワーク設定を一時的に固定IPアドレス(192.168.1.10/255.255.255.0)にして動作させる場合に変更します。
停電電話機用ポート	停電	使用できません。
ISDN回線接続ポート	LINE	ISDN回線(U点)を接続します。
DSU切り離しスイッチ	DSU	外部DSUをお使いの時は、スイッチを「OFF」側に設定し、内部DSUを切り離します。
終端抵抗スイッチ	TERM	終端抵抗を設定するスイッチです。通常は「ON」にしてください。
S / T点サービスポート	S / T	外部DSUをお使いのときは、内部DSUを切り離してISDN回線(S/T点)を接続します。 内部DSUを使用している場合は給電検出を行わないISDN通信機器が接続可能です。ただし、停電時にご利用になれません。
FG端子	FG	アース線を接続するための端子です。

ゲートウェイボックスを接続するには

DHCPでの運用中に固定IPアドレスで動作させるには

ゲートウェイボックスは、初期値としてDHCPクライアントで動作する設定になっています。設定を変えることで固定IPアドレスで運用することができます。設定変更後にゲートウェイボックスを再起動する必要があります。

1 「ネットワーク」ページにある項目
「ゲートウェイボックス」をクリックする

2 変更するゲートウェイボックス
の「設定」ボタンをクリックする

「設定」ボタンは、接続状態が接続中の場合に
押すことができます。

処理中と表示されている場合は、しばらく時
間をおいてから「更新」ボタンをクリックして
確認してください。

3 DHCPクライアントの「利用しな
い」を選択する

4 IPアドレスを入力する

5 サブネットマスクを選択する

6 デフォルトルートを入力する

7 「設定」ボタンをクリックする

8 変更したゲートウェイボックス
の「再起動」ボタンをクリックす
る

設定

DHCPクライアント	<input type="radio"/> 利用する	<input checked="" type="radio"/> 利用しない
IPアドレス	192 . 168 . 1 . 189	
サブネットマスク	255.255.255.0 (24)	
デフォルトルート	192 . 168 . 1 . 1	

設定

DHCPサーバのない環境で固定IPアドレスに変更して動作させるには

DHCPサーバが運用されていない環境で、ゲートウェイボックスのIPアドレスを固定IPアドレスにするために、ゲートウェイボックスのアドレスを一時的に固定IPアドレスに変更して、ゲートウェイボックスのブラウザにアクセスしてIPアドレスの変更を行います。

1 ゲートウェイボックスのIPアドレスを一時的に固定IPアドレスにする

手順は、「ゲートウェイボックスを一時的に固定IPで動作させる場合は」(●P213)を参照してください。

2 パソコンのIPアドレスをゲートウェイボックスと同一ネットワーク上のIPアドレスに変更する

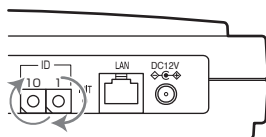
3 ゲートウェイボックスのブラウザにアクセスする

手順は、「ゲートウェイボックスのブラウザにアクセスするには」(●P212)を参照してください。

4 手順1で変更した認識スイッチ左側10は「0」、右側1を「0」に戻す

5 左側に表示される「設定メニュー」をクリックする

6 「■システム設定」の「ネットワーク設定」をクリックする



ゲートウェイボックスの背面

<p>RACSIA-ACO メインメニュー</p> <p>設定メニュー 詳細表示 状態表示 動作ログ ソフトウェアバージョンアップ 再起動</p>	<p>設定上の注意</p> <p>各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定ボタン」をクリックして下さい。 データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。ブラウザでのhttp://www.scepterの接続は、必ず「有効」にしてご利用下さい。</p>
<p>RACSIA-ACO 設定メニュー</p> <p>メインメニューに戻る</p> <p>■システム設定 ネットワーク設定</p> <p>設定データの初期化 設定データの保存</p>	<p>設定上の注意</p> <p>各設定項目において、データの登録/変更/削除を行った場合は、必ず「設定ボタン」をクリックして下さい。 データ設定中、「元に戻す」ボタンをクリックすることにより設定を取り消すことが出来ます。設定データ保存を行うことにより、設定されたデータが保存され有効になります。ブラウザでのhttp://www.scepterの接続は、必ず「有効」にしてご利用下さい。</p>

ゲートウェイボックスを接続するには

7 表示される「ネットワーク設定」画面でDHCP使用「しない」を選択し、「IPアドレス」、「ネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力して「設定」ボタンをクリックする

ネットワーク設定	
DHCP使用	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.199"/>
ネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.1"/>

設定

8 左側に表示される「設定データ保存」をクリックする

RACSIA-ACO
設定メニュー
メインメニューに戻る

■システム設定
ネットワーク設定
設定データ初期化

設定データ保存

9 左側に表示される「メインメニューに戻る」をクリックする

RACSIA-ACO
設定メニュー
メインメニューに戻る

■システム設定

10 左側に表示される「再起動」をクリックする。

RACSIA-ACO
メインメニュー

設定メニュー
時計表示
状態表示
動作ログ
プログラムバージョンアップ
再起動

再起動

11 右側画面に表示される「再起動」ボタンをクリックする

接続するゲートウェイボックスを変更する場合は

RACIA主装置へのゲートウェイボックスの接続が一度完了すると、アナログゲートウェイボックス、ISDNゲートウェイのLANのMACアドレスを自動的に記録します。故障等で他のゲートウェイボックスを接続する場合は、事前に登録されているMACアドレスの解放が必要になります。

1 『ネットワーク』ページにある項目『ゲートウェイボックス』をクリックする

2 変更するゲートウェイボックスの「MAC解放」ボタンをクリックする



MAC解放

3 「OK」ボタンをクリックする



ワンポイント

●対象のゲートウェイボックスの電源を切った後も約5分間は接続状態が「接続中」のままの表示になります。対象のゲートウェイボックスの電源を切った後に「再起動」ボタンをクリックすることで接続状態を「未接続」にすることができます。

お知らせ

●主装置に登録されているMACアドレスを解放する場合は、接続状態が「未接続」の状態でのみ行うことができます。そのため、必ず解放しようとしているMACアドレスのゲートウェイボックスの電源を切ってください。

ゲートウェイボックスを接続するには

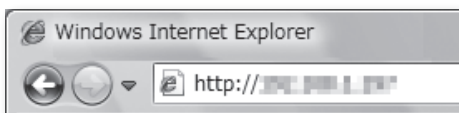
ゲートウェイボックスのブラウザにアクセスするには

1 パソコンのブラウザを起動する

2 WebブラウザのアドレスにアクセスしたいゲートウェイボックスのIPアドレスを入力して「Enter」キーを押す

3 ユーザ名、パスワードを入力する

ユーザ名は「admin」です。パスワードは、お買い求め時は「admin」に設定されています



お知らせ

- 一時的に固定IPアドレスに設定した場合のアドレスについては「ゲートウェイボックスを一時的に固定IPで動作させる場合は」(P213) 参照。DHCPクライアントの場合は、「ネットワーク」のページにある項目「ゲートウェイボックス」から確認してください。

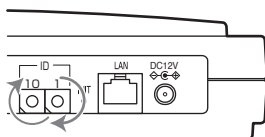
ゲートウェイボックスを一時的に固定IPで動作させる場合は

ゲートウェイボックスに設定したIPアドレスが分からなくなった場合は、認識スイッチで一時的に固定IPアドレスにすることでアクセスすることができます。

1 変更するゲートウェイボックスの電源アダプタをはずす

給電HUBを利用している場合は、LANケーブルを外してください。

2 変更するゲートウェイボックスの認識スイッチ左側10は「0」、右側1を「9」に変更する



ゲートウェイボックスの背面

3 変更するゲートウェイボックスの電源アダプタを接続する

給電HUBを利用している場合は、LANケーブルを接続してください。

認識スイッチを「0」|「9」に変更するとIPアドレスの設定が下記ようになります。

名称	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトルート
アナログゲートウェイボックス	192.168.1.11	255.255.255.0	192.168.1.1
ISDNゲートウェイボックス	192.168.1.10	255.255.255.0	192.168.1.1



お知らせ

- ゲートウェイボックスを一時的に固定IPで動作させたときは、ゲートウェイボックスに接続する設定用パソコンのIPアドレスがゲートウェイボックスと同一ネットワーク上の設定である必要があります。

ゲートウェイボックスを接続するには

初期化スイッチによりゲートウェイボックスの設定を初期化するには

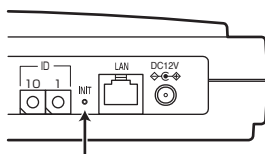
ゲートウェイボックスに設定したIPアドレスが分からなくなった場合は、初期化スイッチでゲートウェイボックスのIPアドレスなどのネットワーク設定を初期値に戻すことができます。

1 変更するゲートウェイボックスの電源アダプタをはずす

給電HUBを利用している場合は、LANケーブルを外してください。

2 ゲートウェイボックスの背面にある初期化スイッチ (INIT) を押しながらか電源を入れ、15秒経過後にはなす

IPアドレスなどのネットワーク設定が初期化されます。
給電HUBを利用している場合は、LANケーブルを接続してください。



初期化スイッチ

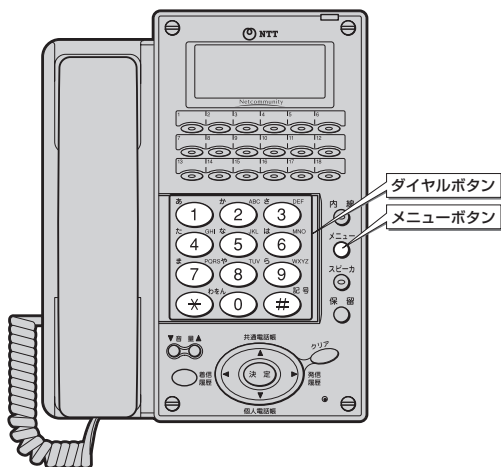
ゲートウェイボックスの背面

IP多機能電話機を接続するには

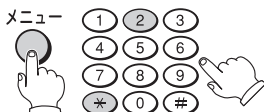
RACSIA主装置とIP多機能電話機の接続方法は、基本編「1. お使いになる前に」→「機器を接続するには」をご参照ください。

内線番号を指定してログインする

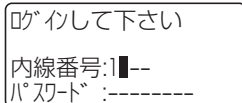
内線番号自動割付機能を「無効」に設定している場合や、自動割付対象の内線番号がすべて使用中の場合は、接続後、内線番号を指定してログインする必要があります。



1 メニュー*②の順にボタンを押す

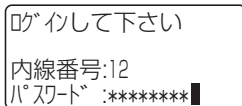


2 内線番号を入力して決定を押す



割り付けることができる内線番号は、システムデータの内線番号一覧に設定されている番号のみです。
 (「使用する内線番号を追加/変更/削除するには」
 (●P105))

3 内線番号を入力して決定を押す



パスワードが設定されていない場合は、そのまま決定を押します。ログインが完了すると、待ち受け画面になります。

お知らせ

- ログイン操作をしても、「ログイン失敗」や「通話できません」と表示される場合は
 内線番号やパスワード、ネットワーク関連の設定や電話機と本商品の間のケーブルやHUBの接続を確認してください。
- 本商品の電源を入れてから数分間はログインできません。しばらく待ってからログイン操作してください。
- 複数の電話機からのログインが集中すると、ログインできない場合があります。他の電話機とタイミングをずらしてログインしてください。

IPコードレス電話機を接続するには

RACSLA主装置とIPコードレス電話機の接続方法は、基本編「1. お使いになる前に」→「機器を接続するには」をご参照ください。



お知らせ

- RACSLA主装置に接続されたIPコードレス電話機のソフトウェアのバージョンが、RACSLA主装置に格納されているIPコードレス電話機のプログラムバージョンと異なる場合、自動的にバージョンアップを行う機能があります。バージョンアップにかかる時間は、約10分です。
- IPコードレス電話機のバージョンアップは、RACSLAのシステムで同時に最大3台までしか行うことができないので、IPコードレス電話機の台数が多い場合には、すべてのバージョンアップが完了するまでに時間がかかります。

無線アクセスポイントを接続するには

RACSIA主装置と無線アクセスポイントの接続方法は、基本編「1. お使いになる前に」→「機器を接続するには」をご参照ください。



お知らせ

- 無線アクセスポイントを接続する場合は、必ずRACSIA主装置のLAN側ネットワークアドレスと同じネットワークに設定し、接続してください。
- 無線アクセスポイントに関する基本的な設定は、RACSIA主装置のWEBブラウザから行うことができますので、無線アクセスポイントを接続した状態で行ってください。
- RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイント、無線ステーションを確認する
「電話機や無線端末の接続状況を確認するには」(●P185)
- RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイント、無線ステーションを再起動する
「無線アクセスポイント、無線ステーションを再起動する」(●P167)
- RACSIA主装置に接続された内蔵無線アクセスポイントを初期化する
「内蔵無線アクセスポイントを初期化する」(●P177)
- RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイントの設定を行う
「無線アクセスポイントの設定を行うには」(●P144)
- RACSIA主装置に無線アクセスポイントを接続した場合、次のような自動的に動作する機能があります。
 - ・「無線アクセスポイントを自動バージョンアップするには」(●P218)
 - ・「RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントと設定自動同期をするには」(●P219)

無線アクセスポイントを 自動バージョンアップするには

無線アクセスポイントの自動バージョンアップ機能は、RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイント(内蔵、増設)のバージョンが、「メンテナンス」→「ファームウェア」→「バージョン表示」に表示された「無線アクセスポイント(a/b/g)」と異なる場合、自動的に同じバージョンになる機能です。



お知らせ

- 無線アクセスポイントの自動バージョンアップは、1台ごとに行われますので、複数の無線アクセスポイントがある場合は、すべてのバージョンアップが完了するまでに時間がかかります。
- 無線アクセスポイントの自動バージョンアップが終わった場合には、自動的に無線アクセスポイントが再起動されるため、再起動が完了するまで無線通信ができない状態が発生する場合があります。
- RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイントの設定を、内蔵無線アクセスポイントの設定と同期する機能があります。「RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントと設定自動同期をするには」(P219)

RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントと設定自動同期をするには

RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイントの設定を、RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントの設定と同じ設定値にする機能です。ただし、この機能は接続された無線アクセスポイントのハードウェア、ソフトウェアのバージョンが下記に示すものと同じ場合に限りです。

無線アクセスポイントの種別	カナ品名	ソフトウェアバージョン
Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント(a/b/g)	VP-WL-AP-<2>	v3.00以降

内蔵無線アクセスポイントの設定に自動同期する項目

	5GHz帯	2.4GHz帯
無線機能	○	○
SSID	○	○
SSID隠蔽	○	○
チャンネル周波数	○	○
暗号化	暗号化タイプ	○
	WEPキー	○
	暗号化キー	○
ACL機能	○	○
ACLアドレステーブル	○	



お知らせ

- 設定自動同期機能は、初期値で「有効」になっています。既に設定済みの無線アクセスポイントを接続する場合は、必ず無線アクセスポイントの設定をバックアップをとってから接続してください。
- 設定自動同期機能は、RACSIA主装置内蔵無線アクセスポイントの接続後に接続された無線アクセスポイントが対象となります。
- RACSIA主装置に接続された無線アクセスポイントのソフトウェアのバージョンが、RACSIA主装置に格納されている無線アクセスポイントのプログラムバージョンと異なる場合、自動的にバージョンアップを行う機能があります。「無線アクセスポイントを自動バージョンアップさせるには」(P218)

RACCSIA主装置内蔵無線アクセスポイントとの設定自動同期機能を停止するには

増設無線アクセスポイントを接続すると設定自動同期機能により、主装置の内蔵無線アクセスポイントと同じ設定になります。増設無線アクセスポイントを別な設定にして運用するときは、設定自動同期機能を停止する必要があります。「RACCSIA主装置内蔵無線アクセスポイントと設定自動同期をするには」(←P219)

1 「ネットワーク」ページにある項目「無線」をクリックする

2 増設無線アクセスポイント、無線ステーションの一覧から自動同期を停止したい無線アクセスポイントを選択し、「無線設定」ボタンをクリックする

3 「無線設定」ボタンをクリックする

4 「内蔵無線アクセスポイントと設定を自動同期する」のチェックを外す

5 「設定」ボタンをクリックする

設定が完了すると無線アクセスポイントは自動的に再起動されます。

無線設定

無線設定

内蔵無線アクセスポイントと設定を自動同期する

設定

WLAN携帯電話機を接続するには

WLAN携帯電話機をRACSIAに接続した場合、次のような機能を提供します。

- ・内線電話機として発信/着信/保留転送が利用できる。
- ・WLAN携帯電話機で利用できるプレゼンス状態をRACSIAのユーザ状態に連動させ、状態ごとに転送を行うことができます。



お知らせ

●WLAN携帯電話機として2009年6月現在利用可能な端末は、次の通りです。

- ・ FOMA N906iL onefone
- ・ FOMA N902iL

●WLAN携帯電話機から外線へ発信する場合、設定によって2通りの方法があります。

(←基本編「4. WLAN携帯電話器を使う」→「WLAN携帯電話機やVoIPアダプタを使う」を参照)

●WLAN携帯電話機を利用する場合、必ず「WLAN携帯電話機ご利用時について」をお読みください。

●プレゼンス機能はFOMA N906iL onefoneが対応しています。

WLAN携帯電話機でプレゼンス機能を利用するには

WLAN携帯電話機でプレゼンス機能を利用する為には、事前に以下の項目について設定する必要があります。

- ・プレゼンスサーバのIPアドレスをRACSIA主装置のIPアドレスに設定する
- ・表示したい他のユーザをWLAN携帯電話機の電話帳のSIPアドレスに「内線番号@RACSIA主装置IPアドレス」で設定する
- ・WLAN携帯電話機のプレゼンスグループに表示したいユーザを電話帳から選択して登録する必要があります。

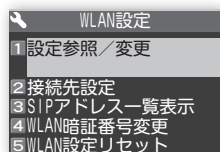
WLAN携帯電話機にプレゼンスサーバの設定を行う

※以下の操作手順はFOMA N906iL onefoneを記載しています。

メニューボタンを押して、「各種設定」→「WLAN設定」から行います。

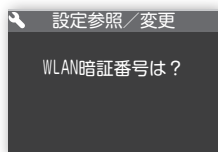
プロフィール設定を行います。

1



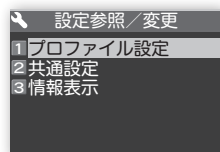
「1 設定参照/変更」を押します。

2



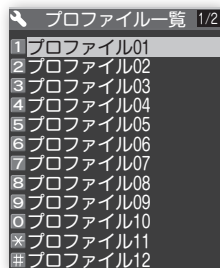
WLAN暗証番号を入力し（初期値：0000）、「確定」を押します。

3



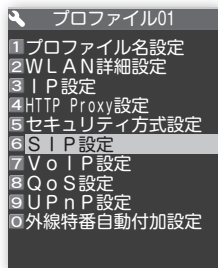
「1 プロファイル設定」を選択します。

4



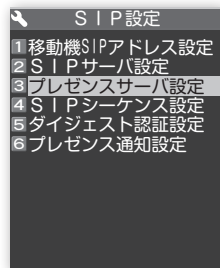
「1 プロファイル01」を選択します。

5



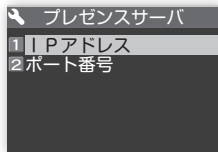
「6 SIP設定」を選択します。

6



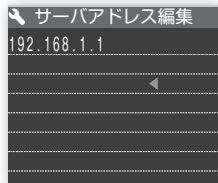
「3 プレゼンスサーバ設定」を選択します。

7



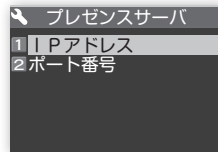
「1 IPアドレス」を選択します。

8



「192.168.1.1」を入力して「確定」を押します。

9



「確定」キー→
「確定」キー→
「CLR」キー→
「CLR」キー→
「完了」を押下します。



お知らせ

- RACSIA主装置では、プレゼンス機能を提供しますが、下記のような機能制約があります。
RACSIA主装置ではプレゼンス端末に対して他ユーザの状態を自動的に通知しません。そのためWLAN携帯電話機で他ユーザのプレゼンスを確認する場合は、WLAN携帯電話機の機能メニューから更新操作を行う必要があります。
- プレゼンス機能はFOMA N906iL onefoneが対応しています。
- WLAN携帯電話機の電話帳の登録方法やプレゼンスグループへの登録方法は、各種WLAN携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。

WLAN携帯電話機ご利用時について

<お使いになる前に>

- ・ 本商品に接続してご利用される場合は、WLAN携帯電話機のIPアドレスは手動設定（固定IPアドレス割付）にしてください。
- ・ WLAN携帯電話機の外線特番自動付加の設定は「OFF」に設定してください。「ON」に設定してしまうと、他内線呼び出すことができなくなるため、本商品に接続した全ての端末の内線番号の変更が必要となる場合があります。
- ・ WLAN携帯電話機の無線LAN設定完了時にWLAN携帯電話機画面上にて「11g使用時は14chでの接続はできません」と確認表示されますが、そのまま「OK」を押してください。

<ご利用にあたっての注意事項>

■ 操作に関する注意事項

- ・ WLAN携帯電話機のメッセージ機能はご利用することができません。
- ・ WLAN携帯電話機から他の内線電話機へ非通知発信はできません。
- ・ WLAN携帯電話機がFOMAネットワークと無線LAN（WLAN）の両方に接続して利用される場合、端末の設定により発信方法が異なる場合があります。詳しくは、WLAN携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。

■ 無線LAN（WLAN）通話エリアに関する注意事項

- ・ 動作中（着信・発信・保留・内線通話など）にWLANエリア圏外に出た場合、動作中の機能などに支障をきたす場合がございます。エリア内でご利用願います。
- ・ WLAN携帯電話機で保留した後でWLAN圏外状態になり、その後WLAN圏内に復帰した場合でも、保留した通話が切断されることがあります。
- ・ 着信が圏外転送された場合、本商品に着信してから約30秒以内にWLAN携帯電話機がWLAN圏内に復帰した際に一瞬鳴動し、着信履歴が記録される場合があります。

■ 着信動作等に関する注意事項

- ・ WLAN携帯電話機の使用中（通話中、発信中、着信中）に同一システム内において別の着信が入った場合、最初の通話を終了してWLAN携帯電話機を待ち受け状態にし、「#」「#」「通話ボタン」を操作することにより、その別の着信に応答して通話することができます。
- ・ WLAN携帯電話機が保留転送を行い、保留先と転送先の通話が開始するとき、転送先端末で一瞬保留音が再生されます。
- ・ WLAN携帯電話機では呼出状態転送機能*1はご利用できません。
- ・ ほかの電話機で操作した共通保留、パーク保留に対してWLAN携帯電話機で応答することはできません。
- ・ 不在着信転送先がWLAN携帯電話機に設定されている場合、WLAN携帯電話機には発信者の電話番号または内線番号のみ表示されます。

■ 本商品の設定に関する注意事項

- ・ ご購入時、緊急番号からの着信はWLAN携帯電話機へ着信しない設定になっています。緊急番号からの着信に対してWLAN携帯電話機を鳴動させたい場合は、「緊急番号からの着信時にSIP端末を鳴動させるには」(●P62)をご参照ください。
- ・ WLAN圏外の場合、個別着信することができません。このような時に他の電話に転送したい場合は、本商品のデータ設定画面の「電話機能>内線>詳細設定>状態別転送設定」にて圏外転送の設定をしてください。

*1 通話を一度保留して、転送先の相手を呼び出し、相手が応答する前に転送する機能です。

発信

機能	機能概要	参照ページ
個別形外線発信	外線ボタン(IK)を押して、電話をかけることができます。	(※1)
索線形外線発信	外線ボタン(SK)を押して、電話をかけることができます。	P42
NK外線発信	外線ボタン(NK)を押して、電話をかけることができます。	P43
PBX形外線発信	外線ボタンを押さずに電話をかけることができます。(0発信)	(※1)
オフフック外線自動捕捉	ハンドセットをあげるだけで外線を捕捉することができます。	P63
内線個別呼出	収容した電話機を内線番号で呼び出すことができます。	(※2)
信号/音声呼出切替	電話機を音声で呼び出すことができます。 また、呼び出した後に切り替えることもできます。	(※2)
内線グループ音声呼出	複数の電話機を一齐に音声で呼び出すことができます。(ページング)	(※3)
オンフックダイヤル	ハンドセットをあげずに電話をかけることができます。	(※1)
プリセットダイヤル	相手の電話番号をダイヤルしてから内線/外線ボタンを押して電話をかけることができます。	(※1)
発信履歴(履歴発信)	外線でかけた相手の電話番号を記録し、簡単にかけ直すことができます。	(※4)
ワンタッチダイヤル	よく使う機能やダイヤルをボタンに記憶させることができます。	(※5)
電話帳	よくかける相手の名前や電話番号を登録することができます。	(※6) P87
追加ダイヤル	ワンタッチボタンに登録した電話番号とダイヤルを押して入力した番号を組み合わせることができます。	-
発信ID通知	電話をかけた相手にこちらの電話番号(発信者番号)を通知することができます。	P47
発信規制	特定の電話番号への発信を規制することができます。	P50
赤外線電話帳発信	赤外線機能を使って携帯電話の電話帳を使って電話をかけることができます。	(※7)

- ※1：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話をかけるには(外線発信)」
 ※2：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「内線でお話するには(内線通話)」
 ※3：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「複数の電話機を一齐に音声で呼び出すには(ページング)」
 ※4：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「同じ相手にかけ直すには(再ダイヤル)」
 ※5：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ワンタッチボタンに登録するには」
 ※6：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話帳に登録するには」
 ※7：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「携帯電話機の電話帳を使うには」

着信・応答

機能	機能概要	参照ページ
外線放送着信	電話を複数の電話機に着信させることができます。	—
着番号ダイヤルイン	相手がかけてきた電話番号によって着信音を鳴らす電話機を変えることができます。	P54
発番号ダイヤルイン	電話をかけてきた相手によって着信音を鳴らす電話機を変えることができます。	P59
個別形外線着信	外線ボタン(IK)を押して、電話に出ることができます。	(※1)
索線形外線着信	外線ボタン(SK)を押して、電話に出ることができます。	(※1)
NK外線着信	外線ボタン(NK)を押して、電話に出ることができます。	(※1)
任意回線応答	外線ボタンを押すことにより、どの着信に応答するか選択することができます。	(※1)
着信自動応答	ハンドセットをあげるだけで、電話に出ることができます。	(※1) P63
代理応答	着信していない電話機から代わりに応答することができます。	(※2)
音声ページング応答	一斉に音声で呼び出されている電話機でハンドセットをあげて応答することができます。	(※3)
内線ハンズフリー応答	内線からの呼び出しに対して、ハンドセットをあげずに音声応答することができます。	(※4)
通話中着信	お話し中の電話機を内線で呼び出すことができます。	P74
着信音識別	内線や外線からの着信を着信音で識別することができます。	—
着信鳴動端末指定	電話がかかってきたとき、着信音を鳴らす電話機を指定することができます。	P56
着信音色切替	電話をかけてきた相手などによって着信音を変えることができます。	P70 P71 P72 P73
着信音量調節	着信音のボリュームを調節することができます。	(※5)
着信履歴	電話をかけてきた相手の電話番号を記録します。	(※6)
鳴動同期	複数の電話機で同じ着信音などを鳴らすとき、周期を揃えた音を鳴らします。	—
緊急番号呼び返し着信	110番などの緊急番号からかかってきたときは、緊急着信します。	P61
オートコールバック	特定の相手からの着信を自動で折り返し発信することができます。	P65

※1：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話がかかってきたときは（外線着信）」

※2：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「別の電話機で応答するには（代理応答）」

※3：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「複数の電話機を一斉に音声で呼び出すには（ページング）」

※4：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ハンドセットを置いたままお話しするには（ハンズフリー通話）」

※5：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「音量を調節するには」

※6：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「着信履歴から電話をかけるには」

通話

機能	機能概要	参照ページ
スピーカ受話	ハンドセットをあげずに相手の声を聞くことができます。	(※1)
ハンズフリー通話	ハンドセットをあげずにお話しすることができます。	(※1)
通信中ダイヤル	通話中にダイヤルを押して、相手にプッシュ信号を送ることができます。	—
受話音量調節	ハンドセットから聞こえるボリュームを調節することができます。	(※2)
RTPパケット揺らぎ吸収制御	LANネットワークの負荷が高いときでも、自動で補正して音声を送ります。	—
最大通話数設定機能	無線の負荷が高くなりすぎないように制限することができます。	—
ハンドオーバー/ローミング	IPコードレス電話機をもって移動したときは、常に最適な無線APを探し、自動で切り替わります。	—

※1：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ハンドセットを置いたままお話しするには（ハンズフリー通話）」

※2：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「音量を調節するには」

保留・転送

機能	機能概要	参照ページ
共通保留・転送	他の電話機から応答できるように通話を保留して転送することができます。	(※1)
個別保留・転送	他の電話機から応答できないように通話を保留して転送することができます。	(※2)
パーク保留・転送	パーク保留ボタンを使って通話を保留して転送することができます。	P80
外/内線呼の外線への転送	保留した通話を外線へ転送することができます。	(※3) P82
ベージング転送	通話を保留した後、一斉に音声で呼び出し、応答した電話機へ転送することができます。	(※3)
呼出状態転送	通話を保留した後、転送先を呼び出したまま転送することができます。	(※3)
オンフック転送	通話を保留した後、転送先とお話してから転送することができます。	(※3)
状態別転送	電話機のユーザ状態を「不在」や「食事中」にセットし、かかってきた電話を転送することができます。	(※4) P119
圏外転送	圏外状態のときにかかってきた電話を転送することができます。	P120
長時間保留警報音送出	通話を保留している状態が一定時間以上続いたとき、音でお知らせすることができます。	P84
保留音送出	保留したときは、待たせている相手に保留音を鳴らします。	P83

※1：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話を取りつぐには」

※2：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「相手の方へ待っていただくには（保留）」

※3：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「保留した通話を転送するには」

※4：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「不在のときに電話がかかってきたときは（不在転送）」

表示

機能	機能概要	参照ページ
カレンダー・時計表示	設定された日時をディスプレイに表示します。	P169
ダイヤルモニタ	入力したダイヤルをディスプレイで確認することができます。	—
自己内線番号表示	内線番号と設定されている名称をディスプレイに表示します。	P110
フレキシブルボタン登録内容表示	フレキシブルボタンに何が設定されているか確認することができます。	P104
状態表示	ユーザ状態を「不在」や「食事中」にセットしたときは、ディスプレイに表示します。	(※1)
通話時間表示	外線でお話したときは、通話時間を電話機のディスプレイに表示します。	(※2)
発信者情報表示 (ナンバー・ディスプレイ)	電話がかかってきたとき、相手の電話番号をディスプレイに表示します。	(※3)
転送元番号表示	電話が転送されてきたときは、かけてきた相手の電話番号と、どの電話機からの転送なのかをディスプレイで確認することができます。	—
無線状態表示	無線ステーションの受信電波状況を5段階で表示することができます。	—
ボタンランプ表示	点滅や点灯により、ボタンの使用状態を確認することができます。	(※4)
着信ランプ表示	着信音が鳴っているとき、着信ランプも点滅します。	(※4)
キータッチトーン	ダイヤルを押したことを音で確認することができます。	P116
受話器外し警告音	ハンドセットが外れたままになっているとき、音でお知らせします。	—

※1：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「ユーザ状態をセットするには」

※2：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話をかけるには（外線発信）」

※3：●基本編「2. IP多機能電話機を使う」→「電話がかかってきたときは（外線着信）」

※4：●基本編「1. お使いになる前に」→「各部の名称とはたらき」

ネットワーク

機能	機能概要	参照ページ
主装置共用	本商品のLAN側と同じネットワークアドレスであれば、別拠点でも内線電話機を接続して使うことができます。	—
DHCPサーバ機能	LAN側ネットワーク上のIP端末に対し、IPアドレスなどを自動的に割り付けることができます。	P135
Proxy DNS	DNSの問い合わせパケットを受信したとき、DNSサーバの代理で応答を返すことができます。	P137
ルーティング	パケットの送信先、送信元から適切なルートを自動検索して送信します。	—

無線

機能	機能概要	参照ページ
無線端末の自動登録	無線通信に必要なデータを無線端末の簡単な操作で設定することができます。	P186

保守・運用

機能	機能概要	参照ページ
時計・カレンダー設定	ひかり電話サービスから定期的受信する日時情報に自動で更新します。	P169
システムモード切替	システムモード（昼モード/夜モード）を切り替え、モード別に着信先を変えることができます。	P121
システムデータのバックアップ/リストア	設定データをバックアップしてパソコンに保存、または復元することができます。	P174
初期化	すべての設定データをお買い求めのものに戻すことができます。本商品のIPアドレスのみを戻すこともできます。	P176
ファームウェア更新	システムのファームウェア（ソフトウェアプログラム）を自動で更新します。手動で更新することもできます。	P179
運用状態表示	各種ログ情報をWebブラウザで確認することができます。	P188
システム情報ダウンロード	バージョン情報や、各種ログ情報などをWebブラウザでダウンロードすることができます。	P196
フレキシブルボタンサイン	外線ボタンやワンタッチボタンなどの配置を変えることができます。	P97 P104
電話機ポータビリティ	電話機の場所を移動した場合でも、移動前と同じ設定のまま使うことができます。	P215
ヘルスチェック機能	データ設定された電話機が正常に接続されているか定期的に確認します。	-
接続確認（PING機能）	本商品からPING（ICMP echo-request）を送出し、応答状況を確認することができます。	P200
パケットモニタ	ネットワーク上に流れるパケットをモニタリングすることができます。	P201
SIP端末定義設定	接続するSIP端末について、サポートしている機能や動作モードにあわせて動作パターンを定義することができます。	P62
電話機種別自動識別機能	接続された電話機の種別を判断し、設定データに自動反映することができます。	-
ゼロコンフィグ機能	回線をWANポートに接続し、収容する電話機を接続して電源を入れるだけで基本的な電話機能を使うことができます。	-
内線番号自動割り付け	電話機を接続し、電源を入れるだけで使われていない内線番号を自動的に割り付けることができます。	P111
内線電話機自動バージョンアップ	ファームウェアが更新された状態で、異なるファームウェアバージョンのIP多機能電話機、IPコードレス電話機が接続されたとき、自動的にバージョンアップを行うことができます。	-

アルファベット

- CSV形式**…………… テキストファイルとしてパソコンで編集可能なカンマで区切られたデータ形式です。本商品では電話帳データをCSV形式のテキストファイルでインポート／エクスポートすることができます。
- DHCPサーバ**…………… IPアドレスを動的に割り振ることができるネットワーク上の機器のことです。DHCPサーバ機能を有効にすることで、本商品をDHCPサーバにすることができます。
- DKボタン**…………… 内線番号を指定したフレキシブルボタンです。その内線電話機を簡単に呼び出したり、ランプ表示によりその電話機の状態を確認することもできます。
- IKボタン**…………… チャンネルと一対一で割り付けられる外線ボタンです。
- NKボタン**…………… 電話番号（契約番号とダイヤルイン追加番号）ごとに割り付ける外線ボタンです。
- PHボタン**…………… パーク保留ボタンです。同じ番号のパーク保留ボタンをもつ電話機同士で電話をとることができる。
- SKボタン**…………… 契約した全てのチャンネルを一つに集約した外線ボタンです。

五十音

【ア行】

- インポート**…………… パソコン上のプログラムファイルを本商品に書き込むことです。
- エクスポート**…………… 本商品のデータをパソコンのプログラムファイルとしてダウンロードすることです。
- オートコールバック**…………… 外線からの着信を自動的にこちらから折り返し発信できる機能です。
- オフフック外線自動捕捉**…………… 外線ボタンを押さずにハンドセットをあげるだけで外線を捕捉する機能です。

【カ行】

- 例外転送**…………… 外線での通話を保留し、別の外線の相手に転送することです。
- 外線ボタン配置パターン**…………… 電話機グループごとに設定可能な外線／パーク保留／マイクボタンの配置パターンです。これらが配置されていないボタンにはフレキシブルボタンを電話機ごとに設定することができます。
- 管理者電話機**…………… システムモード切替などの特殊な操作をすることができる電話機です。IP多機能電話機の中から1台指定することができます。
- キータッチトーン**…………… ダイヤルを押したときの確認音です。
- 共通電話帳**…………… すべての電話機で共有して使うことのできる電話帳です。このほかに電話機ごとに使うことのできる個人電話帳があります。

- 緊急着信…………… 110番などからの着信です。ダイヤルイン設定などには従わず、すべての内線電話機に緊急着信鳴動を行います。
- 桁間タイマ…………… ダイヤルを押されてから発信となるまでの時間です。
- 圏外転送…………… 電話機が圏外のかかかってきた個別着信を自動的に他の内線電話機や外線へ転送する機能です。
- 個別着信…………… 1台の電話機への着信です。他の電話機で外線ボタンを押して応答することはできません。

【サ行】

- システムモード…………… 昼モードと夜モードがあり、それぞれで着信先を変えることができます。システムモードの切り替えは、時間による自動切替と、管理者電話機からの操作による手動切替の二種類あります。
- 自動割付対象内線…………… 内線番号自動割付機能を有効にしている場合に割り付けることのできる内線番号のことです。
- 状態名称…………… 「会議中」や「食事中」などのユーザ状態の名前です。
- 信号呼出…………… 着信音を鳴動させる内線呼出方法です。これ以外に声で直接呼び出す音声呼出があります。
- 設置エリア…………… 本商品を設置するエリア（NTT東日本／NTT西日本）です。ひかり電話回線を使うために正しく設定する必要があります。

【タ行】

- ダイヤルイン…………… 回線契約以外にも電話番号を契約し、相手がかけてきた番号によって直接特定の内線電話機を呼び出したりすることができます。（着番号ダイヤルイン）
- 着番号…………… 相手の方がかけてきた電話番号です。ダイヤルインを契約していない場合は、常に「着番号＝契約電話番号」となります。
- チャンネル…………… 一つの発信、着信、通話ごとに一つのチャンネルを使います。空いているチャンネルがない場合は、話中音で発信者にお知らせします。ひかり電話一契約で同時に使用できるチャンネルの数はご契約内容により異なります。
- 通話中着信…………… お話中の内線電話機を他の内線電話機から呼び出すことができる機能です。
- デフォルトルート…………… インターネットへ接続している機器への経路です。本商品以外の機器（ルータ）を使ってインターネット接続するときは経路先IPアドレスを指定する必要があります。
- 電話機グループ…………… すべての内線電話機は必ず四つの電話機グループのいずれかに所属します。電話機グループごとに回線ボタン配置パターンを設定することができます。また、グループを指定してその所属するすべての電話機を一斉に呼び出すこともできます。

【ナ行】

- 内線番号自動割付…………… 電話機を接続するだけで自動的に内線番号を割り付けて使うことができる機能です。

用語の説明

【ハ行】

- パーク保留**…………… 同じ番号のパーク保留ボタンをもつ電話機同士で電話を取りつぐことができます。
- バックアップ**…………… すべてのシステムデータをパソコンにファイルとして保持しておくことができます。
- 発信規制**…………… 特定の電話番号へ電話をかけられなくすることができる機能です。
- 発信者番号通知**…………… 電話をかけたとき、相手にこちらの電話番号を通知する／しないを選択することができます。ダイヤルインを契約している場合は、それらの番号を通知することもできます。
- 発信号（発ID）**…………… 電話をかけてきた相手の電話番号です。発信号が通知された着信はディスプレイにその番号を表示してお知らせします。
- 発信号ダイヤルイン**…………… 電話をかけてきた相手ごとに直接特定の外線電話機を呼び出したりすることができます。
- 非鳴動着信自動応答**…………… 着信音が鳴っていない電話機でも、外線ボタンが点滅して着信しているときはハンドセットをあげるだけで応答することができます。
- ファームウェア**…………… 本商品のシステムプログラムです。インターネットからダウンロードして常に最新のファームウェアで本商品を使うことができます。
- フレキシブルボタン**…………… 外線／パーク保留／マイクボタンが配置されていないボタンにワンタッチやDKボタンを割り付けることができます。
- 放送着信**…………… 複数の外線電話機への外線着信です。着信しているどの電話機からも外線ボタンを押して応答することができます。

【ヤ行】

- ユーザ状態**…………… 「不在」や「会議中」などの状態をセットして他の電話機にお知らせしたり、状態ごとに着信を転送設定したりすることができます。

【ラ行】

- リース時間**…………… DHCPサーバ機能によって割り付けるIPアドレスの有効期間です。この期間内にクライアントからリース更新がなされなかったときはそのIPアドレスを解放します。
- リストア**…………… パソコンにバックアップしていたシステムデータを本商品に復元することです。

アルファベット・数字

DHCPサーバ機能	135,136,191,192
DKボタン	44
DNSサーバアドレス	128,137,195
IKボタン	42,43
IPアドレス	134,136,137,176,190,198
NKボタン	43
PHボタン	230
PING	200
SKボタン	42

五十音

【ア行】

インポート	96
エクスポート	91
オートコールバック	65
オフフック外線自動捕捉	63
音声呼出	75

【カ行】

外転送	82
外線ボタン配置パターン	97
外線着信音	71
管理者電話機	115
キータッチトーン	116
共通電話帳	87
緊急着信	61
グループ別発信者番号通知	48
契約チャンネル数	124
高度な設定	161,162,163,164
個別着信	54,59

【サ行】

再起動	166,167,168
削除ダイヤル	51
サブネットマスク	134,176
システム情報	196
システム設定データ確認	173
システムモード	121
状態別転送	119
状態名称	118
初期化	177
設置エリア	171

【タ行】

ダイヤルイン番号	54,56,59,125,155
着信あり表示	69
着信音変更	70
長時間保留警報	84

通話中着信	74
データ保存	8
データ保存ボタン	7,8
デフォルトルート	138
電話機グループ	100,108
電話機グループ名称	109
動作履歴	188

【ナ行】

内線番号自動割付	111
内線別発信者番号通知	49
内線ホットライン	44
内蔵無線アクセスポイント	177,219
内線名称	113
内線呼出音	70
内線呼出方式	75
日時変更	115
ネットワーク情報	193

【ハ行】

パーク保留	80
バージョン	178
パケット	194,201
バックアップ	174
発信規制	50
発信者番号通知	47
非鳴動着信自動応答	64
昼モード/夜モード	121
ファームウェア	179
不在転送	119
フレキシブルボタン	97
ヘルプボタン	7
保留音	83

【マ行】

マイクボタン	77
鳴動電話機指定	53,55,57
無線アクセスポイント (a/b/g)	144
無線ステーション	167

【ヤ行】

ユーザ状態	117
-------	-----

【ラ行】

リストア	175
ログインパスワード	114,170
ログ情報	188

【ワ行】

ワンタッチボタン	102
----------	-----

(1) Linux and GNU Software

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.

These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law:

that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).

Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent

notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your

cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License.

However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these

terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is

restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY

搭載されているソフトウェアの著作権と 使用許諾に関する情報

COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of

author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

(2) PostgreSQL

PostgreSQL Database Management System
(formerly known as Postgres, then as Postgres95)

Portions Copyright (c) 1996-2003, PostgreSQL Global Development Group

Portions Copyright (c) 1994, The Regents of the University of California

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose, without fee, and without a written agreement is hereby granted, provided that the above copyright notice and this paragraph and the following two paragraphs appear in all copies.

IN NO EVENT SHALL THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, INCLUDING LOST PROFITS, ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE AND ITS

DOCUMENTATION, EVEN IF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE SOFTWARE PROVIDED HEREUNDER IS ON AN "AS IS" BASIS, AND THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA HAS NO OBLIGATIONS TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

(3) Apache

Apache License Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such

搭載されているソフトウェアの著作権と 使用許諾に関する情報

Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

(a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

(b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

(c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

(d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions.

Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the

following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

(4) PHP

The PHP License, version 3.0

Copyright (c) 1999 - 2002 The PHP Group. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, is permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "PHP" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact group@php.net.
4. Products derived from this software may not be called "PHP", nor may "PHP" appear in their name, without prior written permission from group@php.net. You may indicate

that your software works in conjunction with PHP by saying "Foo for PHP" instead of calling it "PHP Foo" or "phpfoo"

5. The PHP Group may publish revised and/or new versions of the license from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

Once covered code has been published under a particular version of the license, you may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such covered code under the terms of any subsequent version of the license published by the PHP Group. No one other than the PHP Group has the right to modify the terms applicable to covered code created under this License.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>".

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PHP DEVELOPMENT TEAM ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PHP DEVELOPMENT TEAM OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the PHP Group.

The PHP Group can be contacted via Email at group@php.net.

For more information on the PHP Group and the PHP project, please see <<http://www.php.net/>>.

This product includes the Zend Engine, freely available at <<http://www.zend.com/>>



当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

©2009 NTEAST・NTTWEST



本2961-2（2009.6）
WIB-トリセツ-〈ME〉〈1〉